Panasonic

DVD ホームシアターサウンドシステム
取扱説明書

品番 SC-HT120

このたびは、DVD ホームシアターサウンドシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

DVDビデオのリージョン番号について

DVDビデオには、発売地域ごとにディスクと機器に割り当てられた**リージョン番号**があります。
本機の番号は**「2」**です。
本機は、**「2」**（または**「2」**を含むもの）と**「ALL」**が表示されたディスクの再生が可能です。

など

保証書別添付

上手に使って上手に節電

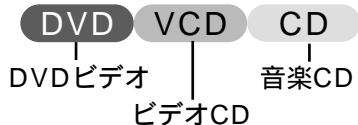
本書の読みかた

本書で用いている記号について

■ ディスク記号について

ディスクの種類によって、使える機能が異なります。

DVD VCD CD

DVDビデオ　ビデオCD　音楽CD

- ディスクによっては、これらの記号が付いている操作でも、できないものがあります。
- DVD、ビデオCDのなかには、ディスク側の制約により、本書の記載どおりに動作しないものがあります。ディスクのジャケットなども合わせてご参照ください。

■ GUIから使える機能（DVDのみ）

リピートやマーカーなど、GUIから操作できる機能を右の絵表示で表しています。

表示例）

映画に適した画質にする

■ 故障かな！？で困ったとき

「故障かな！？」の内容に関係する項目を絵表示で表しています。

表示例）

一時的に消音する (ミューティング)

説明文中に出てくるボタンについて

本体の[▶]とリモコンの[再生▶]、本体の[■]とリモコンの[停止■]など同じ記号を使っているボタンは同じ働きになります。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

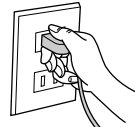
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

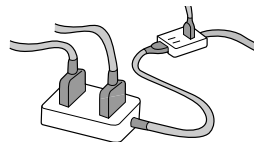
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

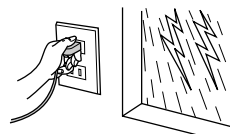
電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

- 感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造したりしない

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。
- 本機上面・後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

不安定な場所に設置しない

- **上に大きなもの重いものを載せない**
- **取扱説明書に記載されている以外の方法で壁などへ取り付けない**

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

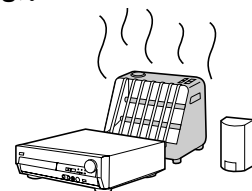
- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

スピーカーは付属のものを接続する

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

使用方法

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

ディスク挿入口の奥には手を入れない

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

機器に乗らない

- 倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

電池について

電池は正しく取り扱う

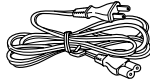
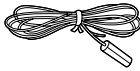
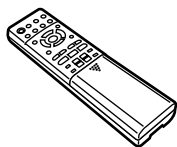
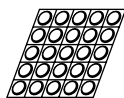
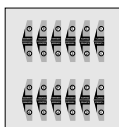
- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使い方をしない

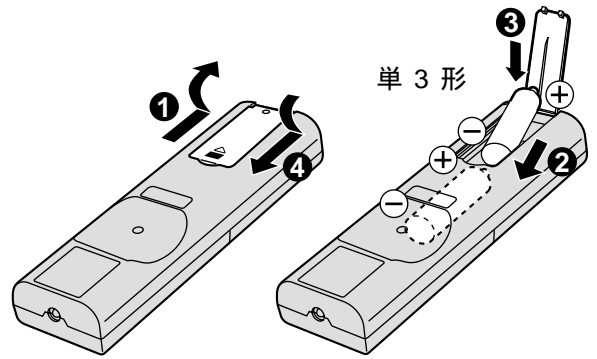
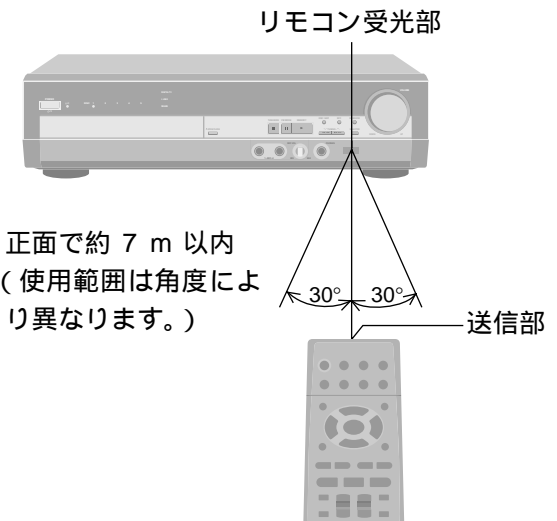
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない。**
- **被覆のはがれた電池は使用しない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品

設置・接続のまえに、まず付属品を確かめてください。

- □ 電源コード ....1 本
  （品番：RJA0012-1A）
- □ AM ループアンテナ ....1 個
  （品番：RSA0033）
- □ FM 簡易型アンテナ ....1 本
  （品番：RSA0007）
- □ FM アンテナアダプター ....1 個
  （品番：RFE0014）
- □ ビデオコード ....1 本
  （品番：RJL1P016B15A）
- □ オプティカルデジタルケーブル ......1 本
  （品番：RJL1X011B15）
- □ i.LINKケーブル ....1 本
  （品番：K1HA04DB0002）
- □ リモコン ....1 個
  （品番：EUR7502X9A）
- □ リモコン用単 3 形乾電池 ....2 個
- □ スピーカー用ゴム足 .....1シート (25 個)
  （品番：RFA0631A-K）
  ※買い替え時のサービス供給品は 1 シート (4 個) です。
- □ スピーカー用シール ......1 シート (2 組)
  ※ 1 組を予備として、お使いください。サービス供給品はありません。

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
カッコ（　）内は買い替え時の品番です。

リモコンの準備

乾電池の入れかた

リモコンの使いかた

使用上のお願い

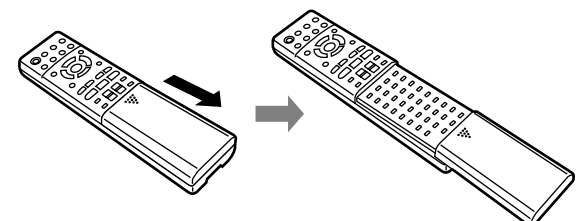
- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部とリモコンの先端のほこりに注意。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。

故障防止のために

- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

リモコンのふたの開けかた

ディスクについて

本機で再生できるディスク

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

CD-R/RWについて

本機は、CD-DAフォーマットまたは、ビデオCDフォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ※された音楽用CD-RとCD-RW再生に対応しています。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※音楽用CD-R/RWの再生対応機器で再生できるよう処理すること

DVD-Rについて

DVDビデオレコーダー「DMR-E20」（当社製）でDVD-Rディスク（当社製）に録画し、ファイナライズしたDVD-Rは「DVDビデオ」として再生できます。

ただし、使用するディスクや記録状態により、再生できない場合があります。

本機で再生できないディスク

- リージョン番号に「2」または「ALL」の含まれない DVD ビデオ
- DVD オーディオ
- PAL 方式で記録されたディスク
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- +RW
- CD-ROM
- VSD
- CDV
- CD-G
- CVD
- SACD
- SVCD
- フォト CD

など

DVDビデオのロゴについて

■リージョン番号について

など

リージョン番号とは、発売地域ごとに ディスクと機器に割り当てられた番号です。**本機のリージョン番号は「2」です。**

- **本機は「2」(または「2」を含むもの) と「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。**

■ 映像に関する表記

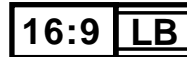
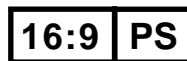
- **字幕**
- **アングル**

（数字は収録されている字幕/アングルの数です。）

- **収録されている画面サイズ（横縦比）**

（表示される画面サイズは、テレビの設定によっても変わります。）

4：3の標準サイズ

LB　4：3の標準サイズ
[上下に黒帯が入っている画面（レターボックス）]

16:9 LB　16：9のワイドサイズ
画面サイズが4：3のテレビではレターボックスで再生される

16:9 PS　16：9のワイドサイズ
画面サイズが4：3のテレビではパン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生される

■ 音声に関係する表記

- **音声**（数字は収録されている音声の数です。）

2

カラオケディスクについて

DVD：カラオケ用のDVDにはいくつかの種類があります。

●カラオケ用の成分が各チャンネルに分けて記録されているディスク

音声番号 1	
1ch	ステレオ伴奏 (左)
2ch	ステレオ伴奏 (右)
3ch	ガイドメロディー
4ch	模範歌唱 1
5ch	模範歌唱 2

⇒16 ～18ページの方法で操作してください。

（本機では、ガイドメロディーは再生できません。）

●カラオケ用の音声とボーカル入りの音声が別々に記録されているディスク

[音声]を押して切り換えます。⇒22ページ

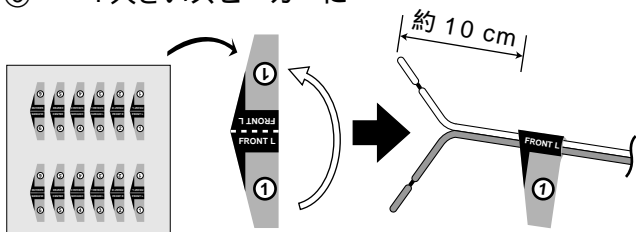
●ボイスミュートを使ってカラオケを楽しめるディスクもあります。⇒18ページ

ビデオCD：⇒16、17 または18ページの方法で操作してください。

Step 1 2 3 4 スピーカーとの接続

※別添チラシ“スピーカーの設置・接続早見表”もご覧ください。

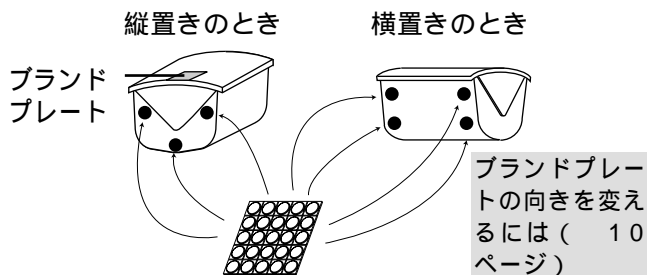
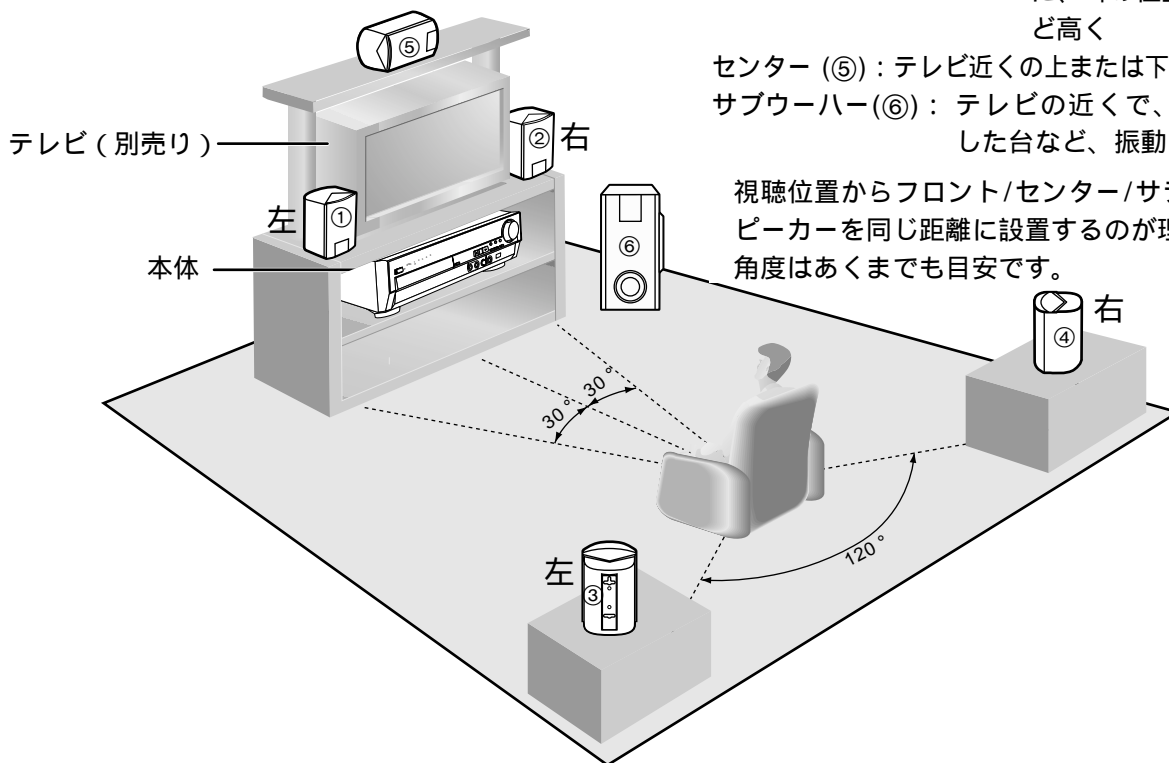
1 スピーカーコードにシールを貼る

シールを貼っておくと、本機と接続するときに便利です。
小さいスピーカーは 5 つとも同じ大きさ、同じ性能です。
①～⑤：小さいスピーカーに
⑥　　：大きいスピーカーに

2 スピーカーにゴム足を貼る

振動による移動や転倒を防ぎます。
●壁に取り付けたいときは（⇒ 右ページ）

3 スピーカーを設置する

設置例）

テレビ（別売り）
本体
⑤
②右
左①
⑥
④右
左③
30°
30°
120°

各スピーカーを左図の位置になるように設置してください。

フロント左右 (①, ②)：テレビの左右

サラウンド左右 (③, ④)： 視聴位置の左右（やや後ろ）に、耳の位置より 1 m ほど高く

センター (⑤)：テレビ近くの上または下

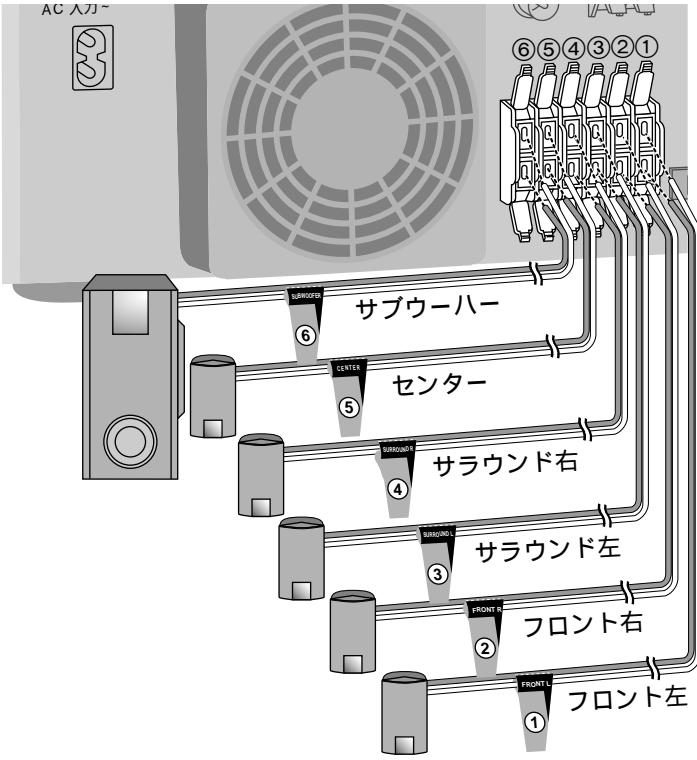
サブウーハー(⑥)： テレビの近くで、床やしっかりした台など、振動しにくい場所

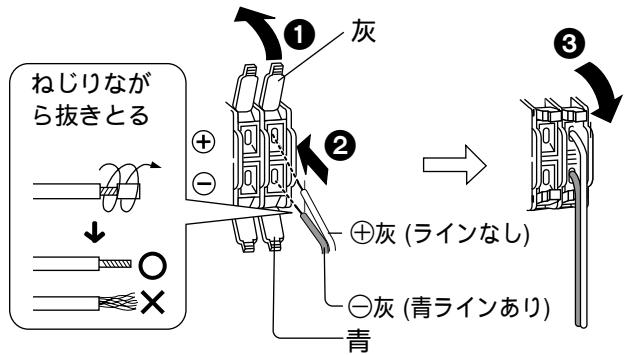
● 視聴位置からフロント/センター/サラウンドの各スピーカーを同じ距離に設置するのが理想です。なお、角度はあくまでも目安です。

落下の危険がありますので、必ず水平な場所にぐらつきなどのないように設置してください。それ以外の場所への設置は、落下防止などの十分な安全対策を行ってください。

お知らせ

● センタースピーカーを直接テレビの上に設置すると、振動によりテレビの画面が乱れることがあります。ラックや棚などに設置してください。
● サラウンドスピーカーを設置する場所がないときは、フロントスピーカーに並べて設置することもできます。(バーチャルリアサラウンド⇒ 40 ページ)
● スピーカーネットの取り外しはできません。

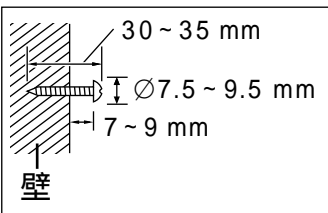
4 スピーカーと本機を接続する

同じ番号どうし、端子のレバーと同じ色のコードを接続します。

- **左、右と⊕、⊖を正しく**接続する。
- 芯線は、ショートしないよう**奥までしっかり**差し込む。
- 誤った接続をすると故障の原因になります。

サブウーハーは ⊕赤　⊖黒

お願い

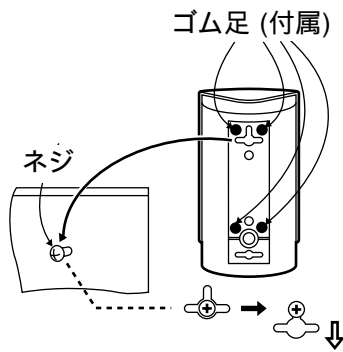
スピーカーコードの配線処理は確実に行ってください。スピーカーコードの長さに余裕があるときは、束ねてひもでくくるなどして、邪魔にならないようにしてください。

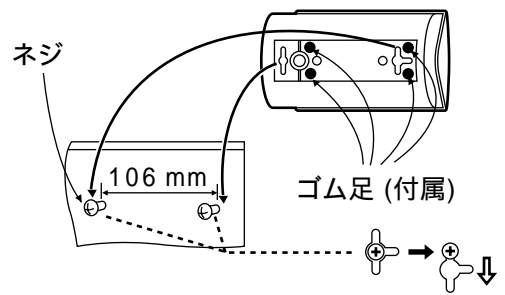
壁に取り付ける

ネジ (市販)を取り付ける

お願い

壁に、5 kg 以上の重量を支えられる強度が必要です。
くわしくは施工者の方などにご相談ください。

ゴム足 (付属) はネジを引っかける穴に沿って穴をふさがないように 4 ヶ所に貼ってください。

縦向きに取り付ける

横向きに取り付ける

スピーカースタンドに取り付ける

このねじ穴にスタンドを取り付けます。

スピーカースタンド (市販)

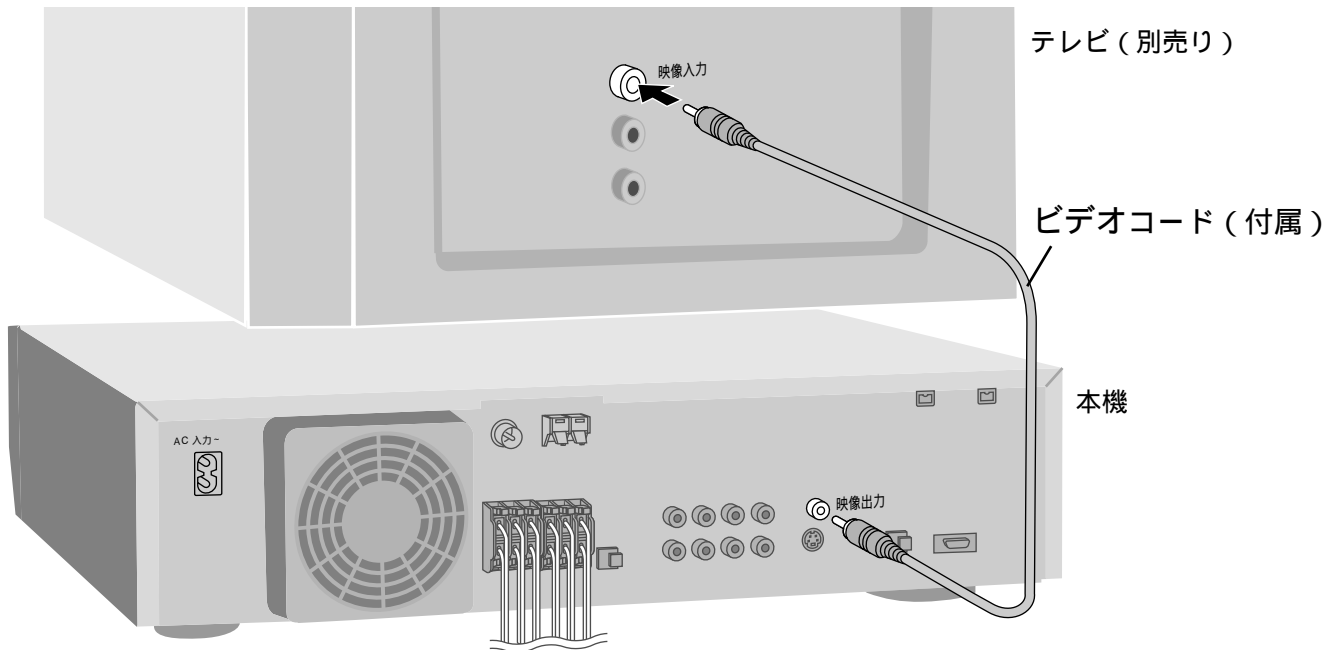
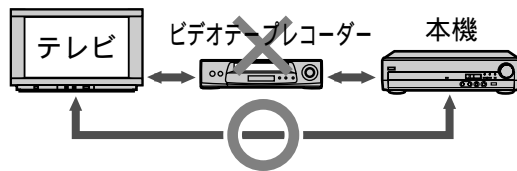
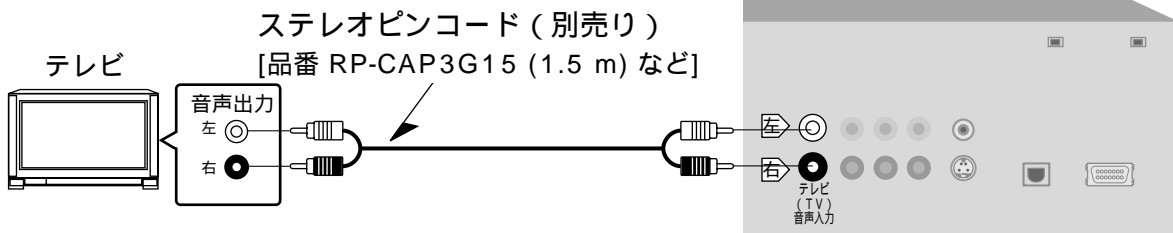
お願い

スピーカースタンドをお買い求めの際は、下記の点をご確認ください。

- スピーカーを取り付けるためのネジの径および長さ、ネジとネジとの間隔が左図のようになっていること。
- 5 kg 以上の重量に耐えうる強度を持っていること。
- スピーカーの位置を高くしても、安定した設置が可能であること。

Step2へ

テレビとの接続

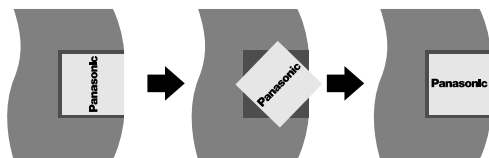
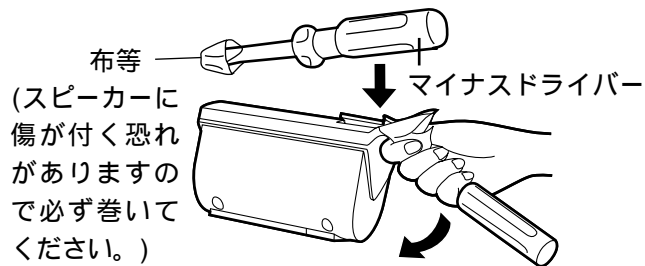
i. LINK対応のテレビと接続するには（⇒55 ページ）

本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。ビデオデッキなどを通すと、再生時に画面が乱れることがあります。

テレビの音声を本機のスピーカーで楽しむには

接続後、[SELECTOR]を押して入力を切り換える。（⇒49ページ）

お知らせ

光出力端子が付いているテレビは、光入力端子へ接続することができます。（⇒46ページ）

■ こんなこともできます

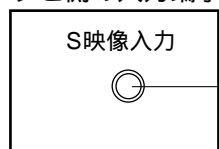
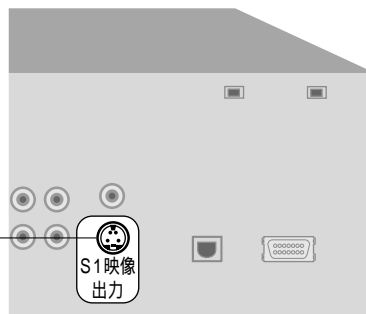
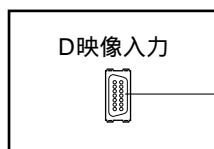
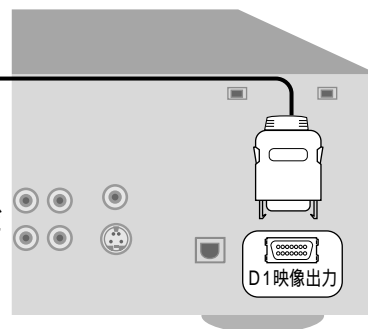
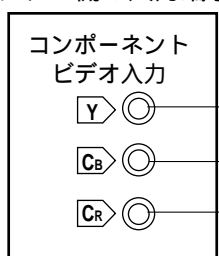
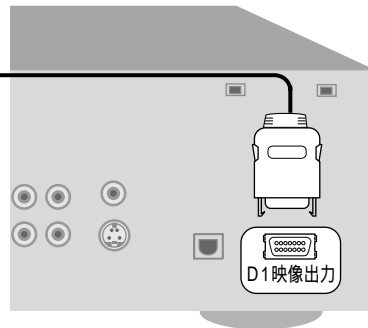
小さいスピーカーを横に向けて設置するときは、Panasonic のブランドプレートを水平になるように回転させることができます。

(スピーカーに傷が付く恐れがありますので必ず巻いてください。)

① ブランドプレートの下にマイナスドライバーを差し込みプレートを浮かす。
② その状態のまま、手で回転させる。

別売り品の品番は、2001年8月現在のものです。品番は変更されることがあります。

より良い映像を楽しむには

下記の映像入力端子を持つテレビに接続する場合は、ビデオコードのかわりに下記のいずれかの接続をすると、より鮮明な画像が得られます。(下図は一例です。)

S映像入力端子と接続する

S 映像コード(別売り)
[品番 RP-CVS0G10 (1 m) など]
- ステレオピンコードとS映像コードが1つになったもの
  [別売り:品番 RP-CVS3G10 (1 m) など]もあります。

D映像入力端子と接続する

D端子ケーブル(別売り)
[品番 RP-CVDG15 (1.5 m)]など

コンポーネントビデオ入力端子と接続する

D端子ピンケーブル(別売り)
[品番 RP-CVCDG15 (1.5 m)]など

お願い

- 接続した端子に合わせて、テレビ側で入力を切り換えてください。
- DVDに対応していない、ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。(映像方式が異なりますので、画面が乱れたり、映らないことがあります。)

お知らせ

- テレビにより、コンポーネントビデオ入力の表示が異なる場合は(Y、PB、PRやY、B-Y、P-Yなど)、同じ色の端子どうしを接続してください。
- 本機はD1/D2/D3映像入力端子に接続できますが、機能の一部が制限されます。

Step3へ

アンテナ、電源コードとの接続

FM 簡易型アンテナ

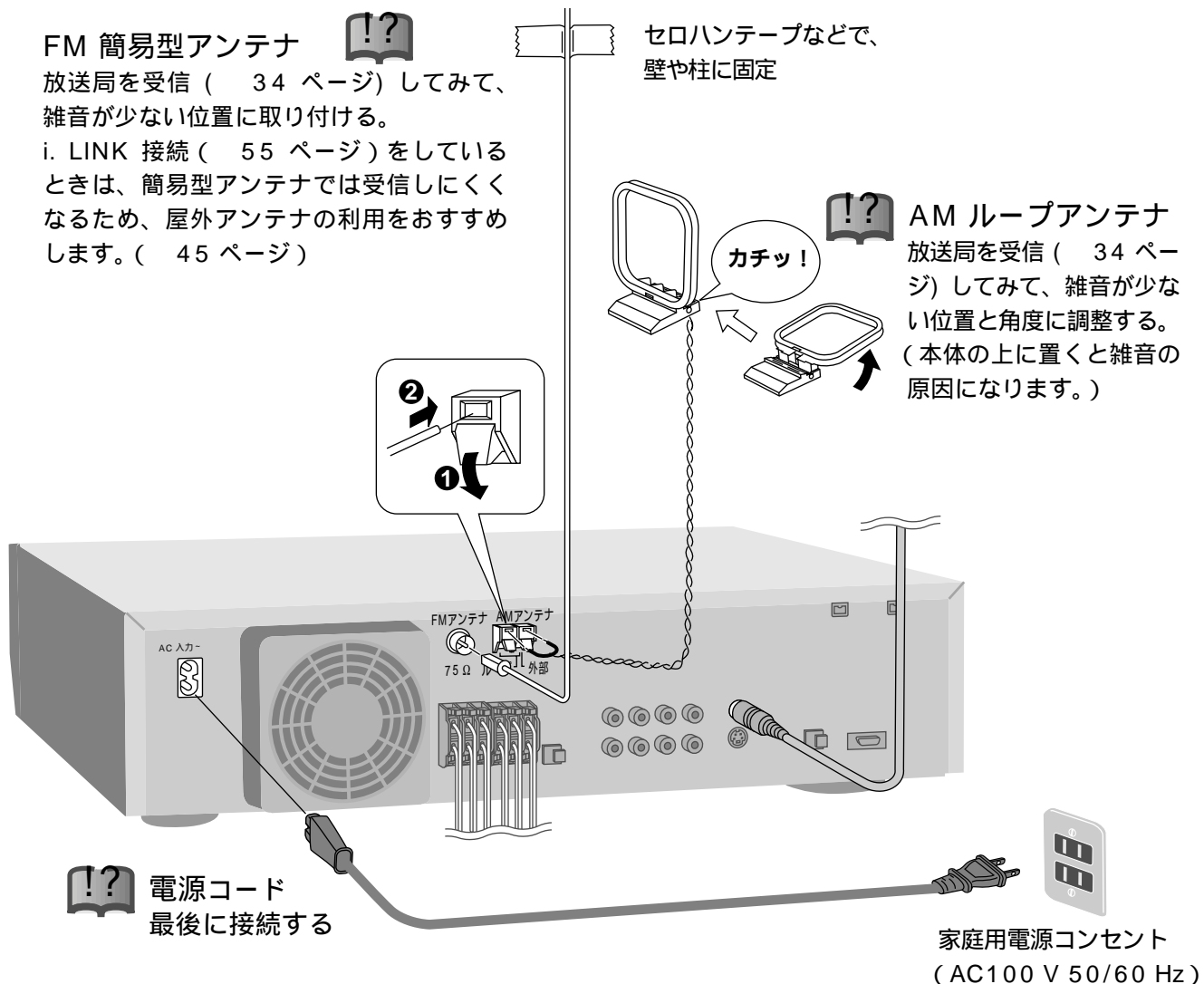
放送局を受信（⇒ 34 ページ）してみて、雑音が少ない位置に取り付ける。
i. LINK 接続（⇒55 ページ）をしているときは、簡易型アンテナでは受信しにくくなるため、屋外アンテナの利用をおすすめします。（⇒45 ページ）

AM ループアンテナ

放送局を受信（⇒ 34 ページ）してみて、雑音が少ない位置と角度に調整する。
（本体の上に置くと雑音の原因になります。）

電源コード

最後に接続する

家庭用電源コンセント
（AC100 V 50/60 Hz）

お願い

- 付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- i. LINK 接続をしていないときは、他の機器への影響やスタンバイ時の消費電力を小さくするために、i. LINK設定を「切」にしてください。（⇒57 ページ）

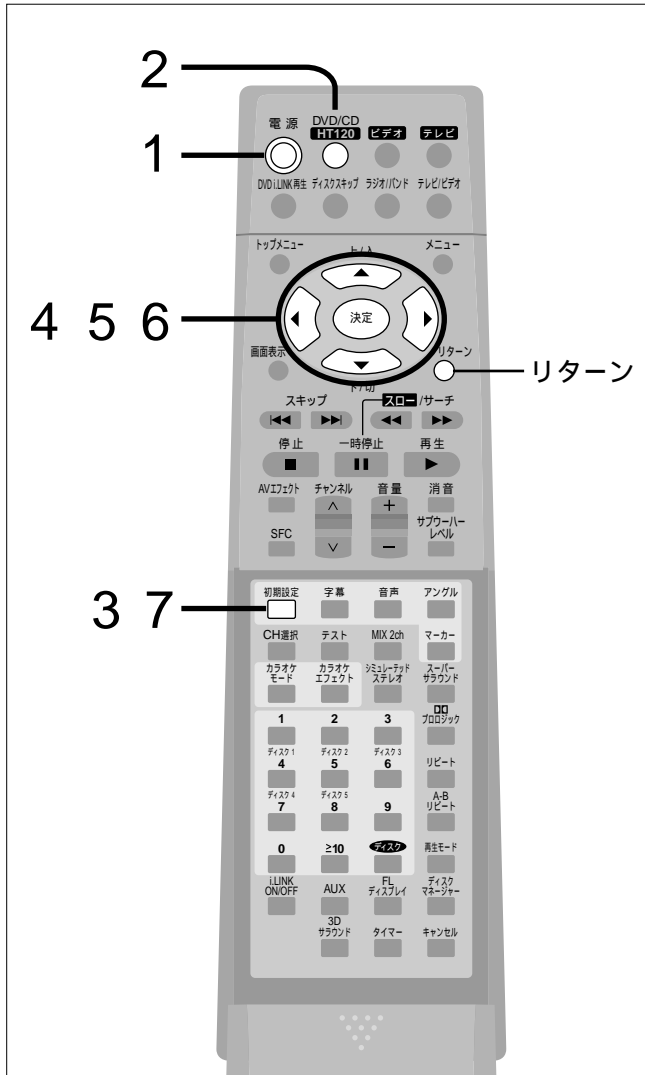
長期間使用しないときは

節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし再使用時には、放送局の設定など各種メモリーの再設定が必要です。
（電源スイッチを切った状態でも、微少電力を消費しています。）

Step4へ

Step 1 2 3 4

テレビに合わせて設定する

準備
- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 2 など)

■ 標準サイズのテレビでワイドサイズのソフトを映した画面について

4：3 パン＆スキャン
映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。

4：3 レターボックス
画面の上下に黒い帯を入れて、4：3の画面で16：9の映像を再現します。

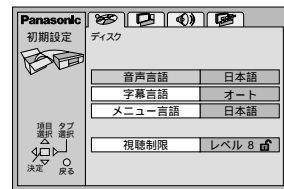
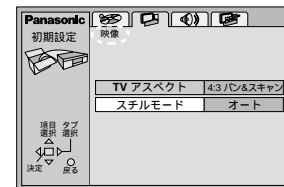
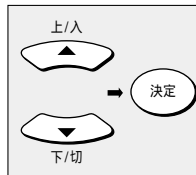
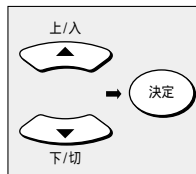
お知らせ
DVDの画面横縦比はディスクによってさまざまです。

1 電源 押して **電源を入れる**

2 DVD/CD HT120 押して **“ DVD/CD ”を選ぶ**

3 初期設定 押して **初期設定画面を表示する**

4 押して **“ 映像 ”を選ぶ**

5

押して **“ TVアスペクト ”を選ぶ**

6 上/入 決定 下/切 押して **テレビ画面の横縦比を選ぶ**

- **4：3 パン＆スキャン**（⇒左記）**（工場出荷時）**
- **4：3 レターボックス**（⇒左記）
- **16：9** ワイドサイズのテレビ

7 初期設定 押して **設定を終了する**

■ ひとつ前の画面に戻るには
[リターン]を押す

準備完了！さあ、映画や音楽、カラオケなどを楽しみましょう。

映画や音楽を楽しむ

DVD VCD CD

準備

- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 2 など)
- [POWER ⏻/I] を押して、本機の電源を入れる。

お知らせ

DVD では、複数のディスクの連続再生はできません。
ビデオ CD、音楽CD を連続再生するには
(ディスクマネージャー ⇒30 ページ)

DISC 1 2 3 4 5

POWER ⏻/I

ディスクランプ

TUNE MODE ■

DVD/CD HT120

ディスクスキップ

メニュー

トップメニュー

リターン

上/入

決定

下/切

再生 ▶

音量 ＋ −

スキップ |◀◀ ▶▶|

停止 ■

1 ディスク1　2 ディスク2　3 ディスク3
4 ディスク4　5 ディスク5　6
7　8　9
0　≧10　ディスク

お知らせ

この表示がテレビ画面に出た場合は、本機かディスクがその操作を禁止していることを示しています。

1

SELECTOR

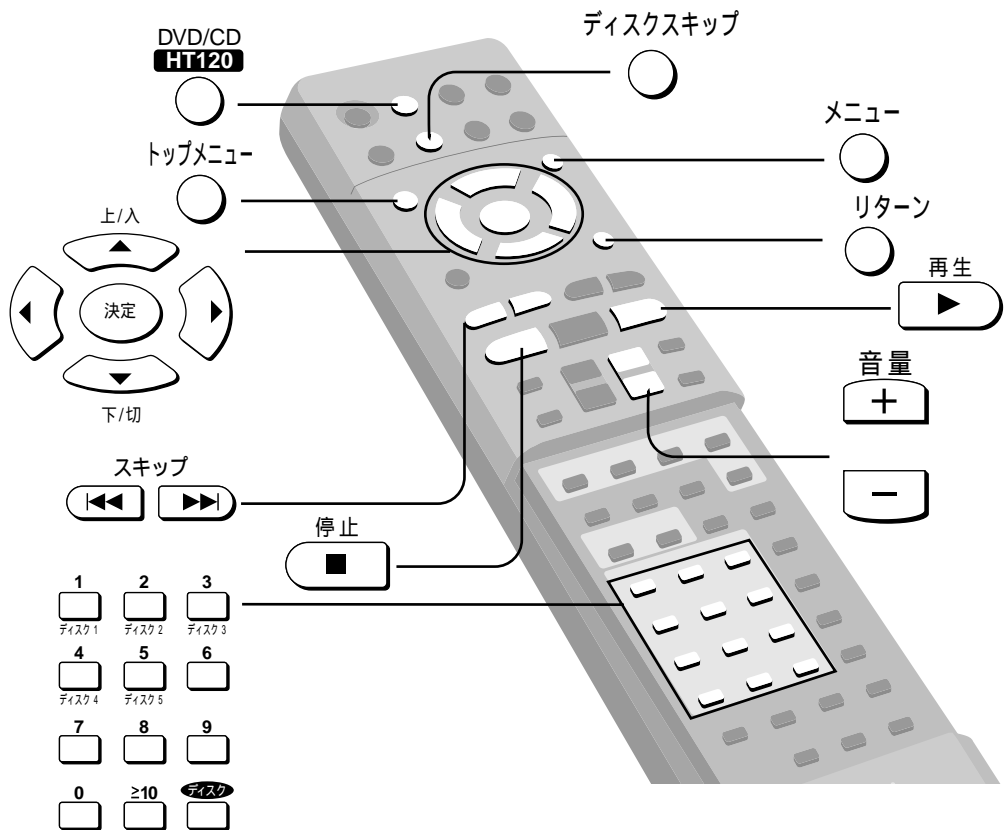
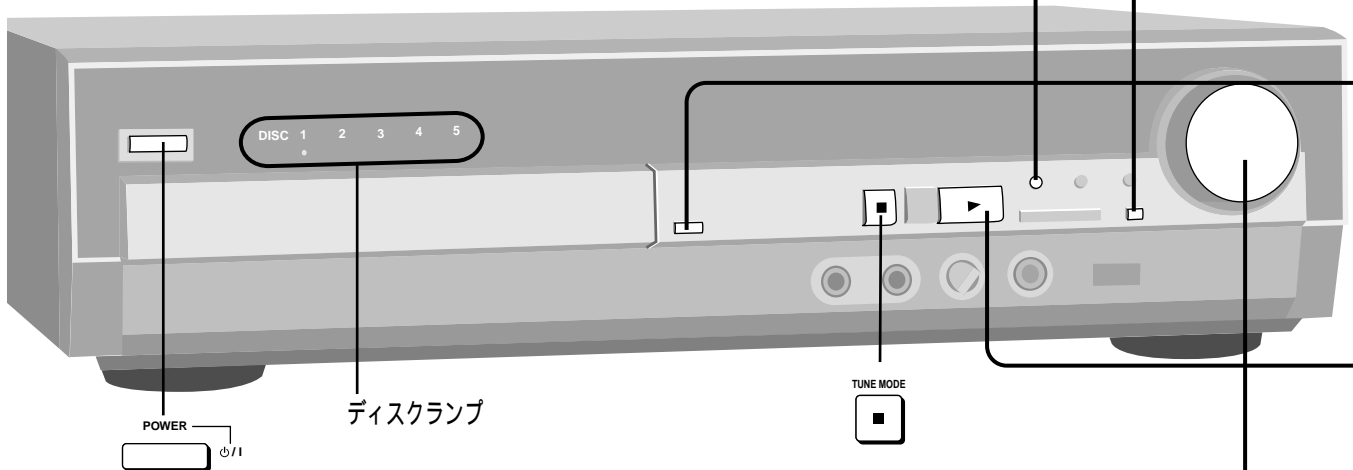
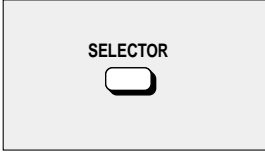
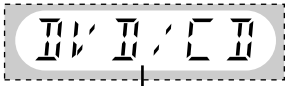
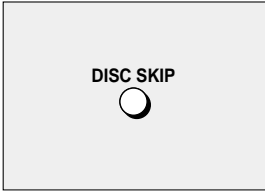
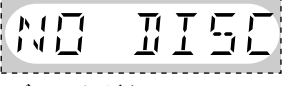
押して
“DVD/CD”を選ぶ

リモコンでは
[DVD/CD] を押す。
自動的に電源も入ります。

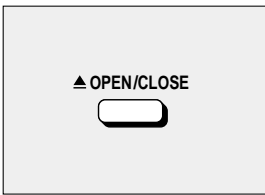
DVD/CD

本体のボタンのみ
押すたびに DVD/CD→FM→AM→TV-ANALOG
↑ ↓
AUX ← VCR ← TV-DIGITAL

2

DISC SKIP

押して
ディスクを選ぶ

押すたびに
1→ 2 → 3 → 4 → 5

NO DISC
ディスクが入っていません

選んだディスクのランプが点灯します。
ディスクが入っている場合は再生が始まります。

リモコンでは
[ディスク] を押してから、[ディスク1]〜[ディスク5] を押す。

3

OPEN/CLOSE

押して
トレイを開け、ディスクを入れる

もう一度押すと、トレイが閉まり、再生が始まります。
取り出すときも、このボタンを使います。

4

手順 3 で再生が始まらないときは
押して
再生を始める

リモコンでは
[再生 ▶] を押す。

5

回して
音量を調整する

リモコンでは
[音量 (+ または−)] を押す。

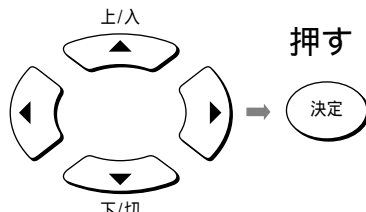
■ テレビにメニューが表示されたら リモコン

(表示例)

押して
項目を選び

押す

または

押して
項目の番号を選ぶ
10 以上のとき
10：[≥10]→[1]→[0]
11：[≥10]→[1]→[1]

- ビデオ CD のときは、数字ボタンでのみ選択できます。

メニューに続きがあるときは
リモコンのスキップ［|◀◀］または［▶▶|］を押す。(ディスクによっては働くボタンが異なることがあります。)

■ 再生を停止するには
(続き再生メモリー⇒20 ページ)

TUNE MODE

押す

リモコンでは
[停止 ■] を押す。

■ 再生中にメニュー画面に戻るには リモコン

トップメニュー (DVD)　メニュー (DVD)　リターン (ビデオCD)
いずれかを押す

カラオケを楽しむ

DVD VCD CD

準備

- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 2 など)
- マイクの音量を最小にする。
- 本機にマイクを接続する。
- [POWER ⏻/I] を押して、本機の電源を入れる。

お知らせ

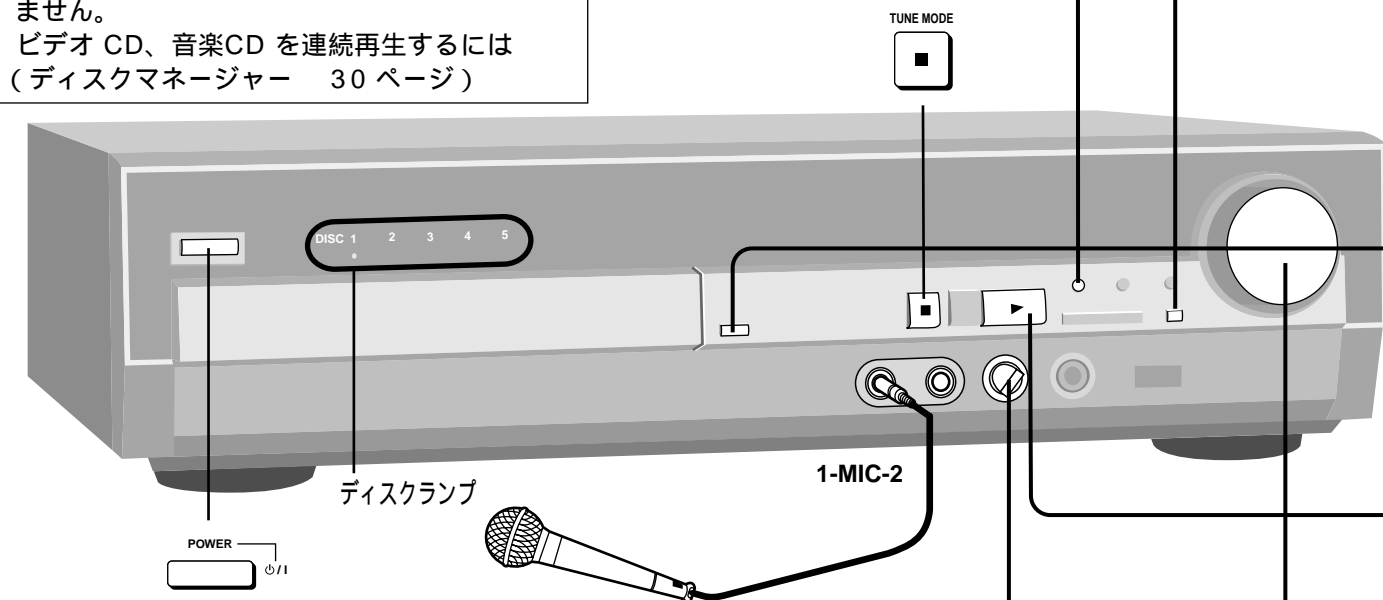
DVD では、複数のディスクの連続再生はできません。
ビデオ CD、音楽CD を連続再生するには
(ディスクマネージャー ⇒30 ページ)

TUNE MODE

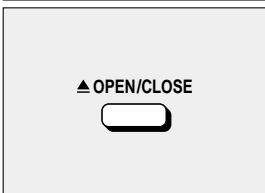
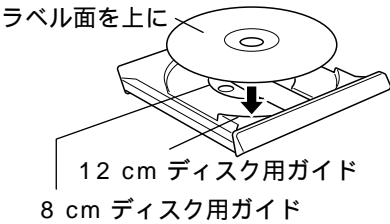
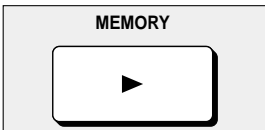
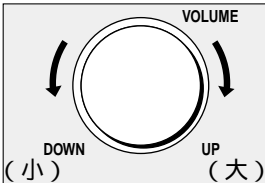
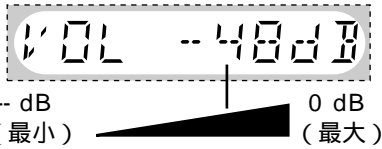
DISC 1 2 3 4 5

ディスクランプ

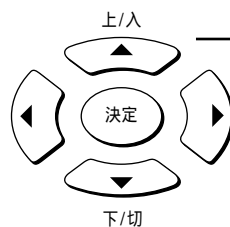
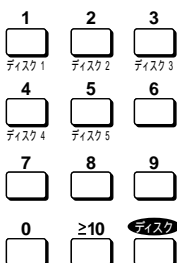
1-MIC-2

POWER ⏻/I

マイク (別売り)
プラグタイプ：モノラル大型（M6）
推奨品：RP-VK90、
RP-VK120 など
ダイナミック型マイクを
お使いください。

DVD/CD
HT120

ディスクスキップ

上/入
決定
下/切

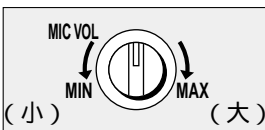
スキップ

1 ディスク1　2 ディスク2　3 ディスク3
4 ディスク4　5 ディスク5　6
7　8　9
0　≧10　ディスク

停止

再生

音量
＋
－

お知らせ

この表示がテレビ画面に出た場合は、本機かディスクがその操作を禁止していることを示しています。

1

SELECTOR

押して

“ DVD/CD ” を選ぶ

リモコンでは

[DVD/CD] を押す。

自動的に電源も入ります。

DV D/CD

本体のボタンのみ

押すたびに DVD/CD→FM→AM→TV-ANALOG

↑ ↓

AUX ← VCR ← TV-DIGITAL

2

DISC SKIP

押して

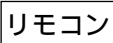
ディスクを選ぶ

選んだディスクのランプが点灯します。

ディスクが入っている場合は再生が始まります。

押すたびに

1→ 2 → 3 → 4 → 5

NO DISC

ディスクが入っていません

リモコンでは

[ディスク] を押してから、[ディスク1]〜[ディスク5] を押す。

3

▲OPEN/CLOSE

押して

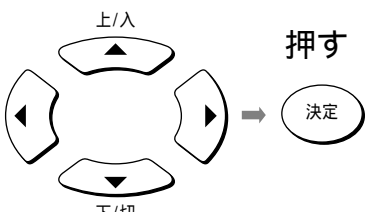
トレイを開け、ディスクを入れる

もう一度押すと、トレイが閉まり、再生が始まります。

取り出すときも、このボタンを使います。

4

手順 3 で再生が始まらないときは

押して

再生を始める

リモコンでは

[再生 ►] を押す。

5

回して

再生の音量を調整する

リモコンでは

[音量 (+ または–)] を押す。

-- dB (最小) 0 dB (最大)

6

歌いながら、回して

マイクの音量を調整する

■ テレビにメニューが表示されたら リモコン

(表示例)

1 演歌 A	4 ポップス A
2 演歌 B	5 ポップス B
3 演歌 C	6 ポップス C

押して

項目を選び

押す

または

押して

項目の番号を選ぶ

10 以上のとき

10：[≥10]→[1]→[0]

11：[≥10]→[1]→[1]

● ビデオ CD のときは、数字ボタンでのみ選択できます。

メニューに続きがあるときは

リモコンのスキップ［|◄◄］または［►►|］を押す。(ディスクによっては働くボタンが異なることがあります。)

■ 再生を停止するには

(続き再生メモリー⇒20 ページ)

TUNE MODE

押す

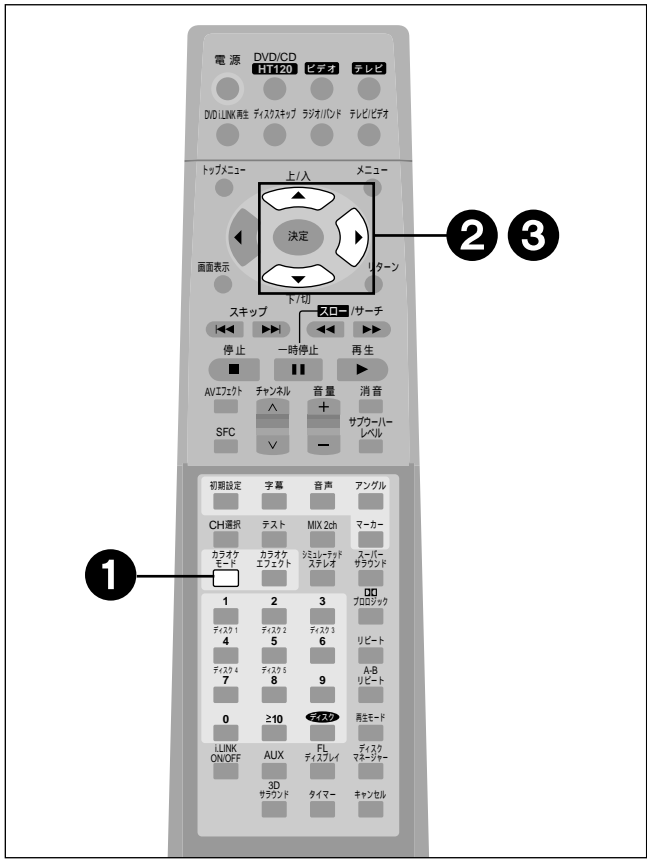
リモコンでは

[停止 ■] を押す。

ボーカルを入／切する

GUI

DVD

模範歌唱（ボーカル）を入／切できるので、カラオケの練習に便利です。

再生中にリモコンの

❶ **[カラオケモード] を押す**

カラオケ GUI 画面がテレビに表示されます。

❷ **[▶] を押す**

❸ **[▲] または [▼] を押して設定をする**

DVD（ソロ)の場合
「切」：ボーカルなし
「入」：ボーカルあり
DVD（デュエット) の場合
「切」：ボーカルなし
「V1+V2」：ボーカル1、2ともあり
「V1」：ボーカル1のみ
「V2」：ボーカル2のみ

■ カラオケ GUI 画面は、しばらくすると消えます。

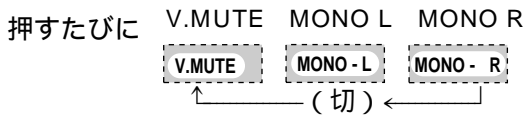
お知らせ

- [カラオケモード]は一部のディスクでは使用できません。

■ ビデオ CD や CD でもできます

再生中にリモコンの [カラオケモード] を押してモードを選ぶ

（本体表示窓）

押すたびに V.MUTE→MONO L→MONO R

V.MUTE (ボイスミュート) (通常の音楽CDなどのとき)
ディスクに収録されているボーカルの音量を小さくします。（完全には消えません）

MONO L、 MONO R (音声多重ディスクのとき)
左チャンネル（L）または右チャンネル（R）の音声だけになります。ボーカルの音が消える方を選んでください。

お知らせ

- 本機にカセットデッキ等を接続(⇒48 ページ)し、カラオケモードを切り換えて、カラオケを楽しむこともできます。
- ソースによっては選べないことがあります。
- ボイスミュートはボーカルの音声を完全に消すものではありません。また、モノラル録音されたディスクでは使用できません。

カラオケにキー調整など効果をかける

DVD VCD CD

カラオケを楽しんでいるとき、音に次の効果をかけることができます。

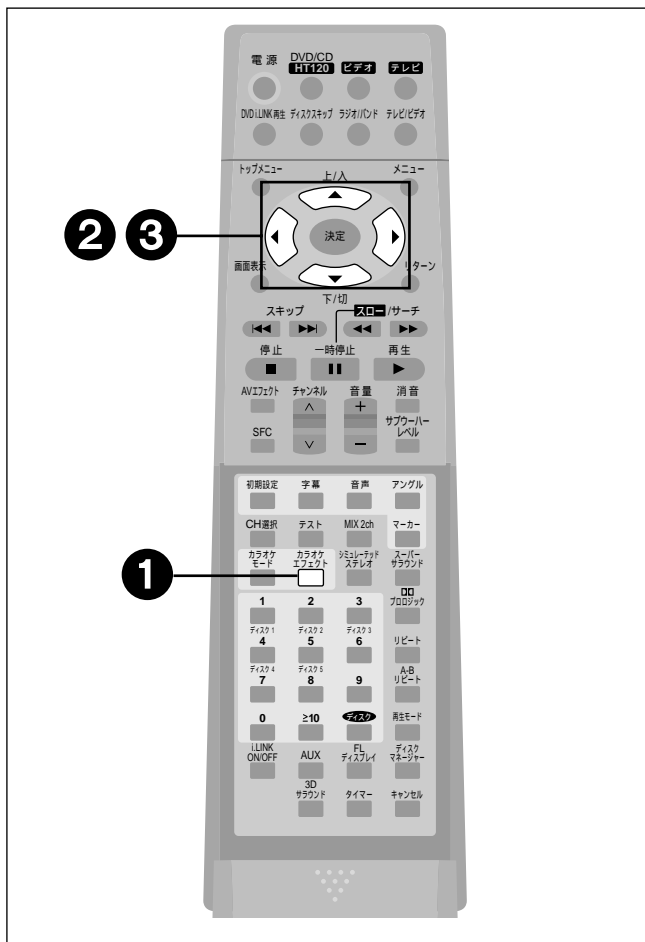
KEYCON（キーコン）
キー (音の高さ) を調整します。

ECHO（エコー）
エコーをかけます。

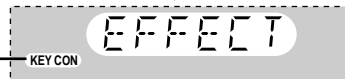
CHORUS（コーラス）
コーラスをしている雰囲気を作ります。

LOUNGE（ラウンジ）
エコーをかけたマイクの音をセンターとサラウンドのスピーカーから出すことによってラウンジで楽しんでいる雰囲気を作ります。

■ カラオケエフェクトを「切」にするには

[カラオケエフェクト] を何度か押して、" KARAOKE " " EFFECT OFF " を表示させる。
" KEYCON " が消えます。
各エフェクトのレベル設定は記憶されています。
再度、カラオケエフェクトを「入」にしたときには、前回の設定 (解除したときの状態) になります。
レベル設定前の状態に戻すには、手順❸で " 0 " または " OFF " を選んでください。

リモコンの

❶ [カラオケエフェクト] を押す

この表示があるとき、カラオケエフェクト「入」です。

❷ 10 秒以内に
[◄] または [►] を押して
調整したい効果を選ぶ

例） KEYCON 0

押すたびに

KEYCON↔ECHO↔CHORUS↔LOUNGE
↑_______________________________↑

もとの表示に戻ったときは、もう一度 [カラオケエフェクト] を押してください。

❸ 各効果の表示中に
[▲] または [▼] を押して
好みのレベルにする

例） KEYCON -1

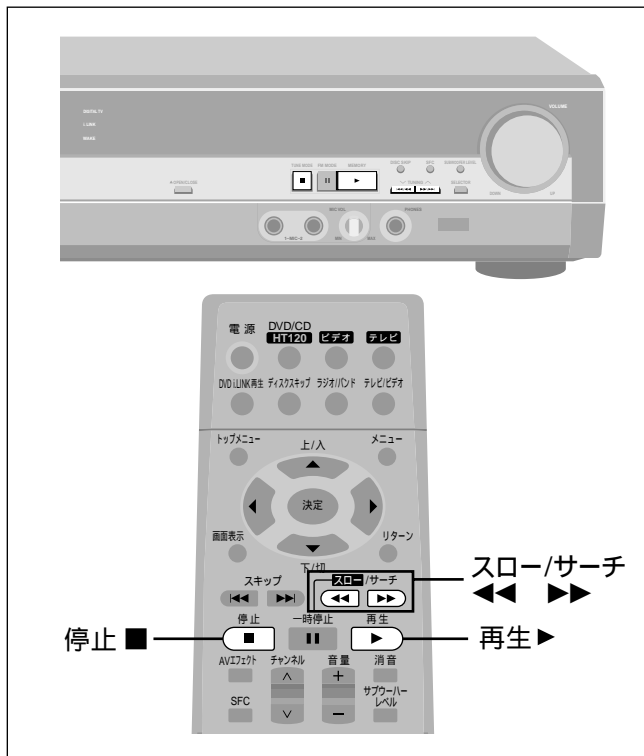
押すたびに

KEYCON のとき
−3↔−2↔−1↔0↔+1↔+2↔+3
ECHO のとき
1↔2↔3↔OFF（切）
CHORUS のとき
1↔2↔OFF（切）
LOUNGE のとき
1↔2↔3↔OFF（切）

数字が大きいほど効果が強くなります。

お知らせ

- 外部機器（カセットデッキなど）でカラオケを楽しむ場合でも、カラオケエフェクトは使えます。
- 複数の効果を同時に使うことができます。ただしエコーとラウンジの効果を同時に使うことはできません。
- カセットデッキを接続して、カラオケの音を録音できます。
  カラオケエフェクトを使って録音した場合、そのテープを再生するときは、エフェクトを「切」にしてください。

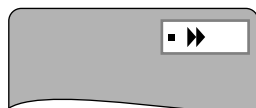
ディスク再生でよく使う機能

早戻し／早送り

DVD VCD CD

再生中に

リモコンでは

スロー／サーチ [◀◀] または [▶▶] を押す

（テレビ画面）

本体では

[|◀◀／◀◀] または [▶▶／▶▶|] を押し続ける

◀◀、|◀◀／◀◀：戻る
▶▶、▶▶／▶▶|：進む

- 押すたびに、5 段階まで速くなります。
- DVD、ビデオ CD のとき
  早送り 1 のときのみ、音声が聞こえます。音声を消すこともできます。(早送り時の音声⇒ 50 ページ)
- 音楽 CD のとき
  どの速さでも音声は聞こえます。
  （ディスクによっては聞こえないものもあります）

■ 通常再生に戻すには

[再生 ▶]を押す。

お知らせ

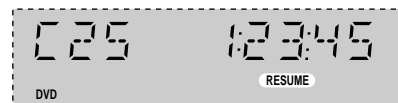
プレイバックコントロール付ビデオ CD をメニュー画面から再生を始めたときこの操作をすると、メニュー画面に戻ることがあります。

止めた位置から再生する (続き再生メモリー)

DVD VCD CD

前に見ていた (聞いていた) 続きから再生できます。
[停止 ■] を押して再生を止めると、“ RESUME ” が点灯します。

本体表示窓

C25 1:23:45
RESUME
DVD

“ RESUME ” が点灯している状態で

[再生 ▶]を押す

前回停止した位置から再生が始まります。

■ 続き再生メモリーを解除するには

“ RESUME ” 点灯中に [停止■] を押す。

お知らせ

- 電源を切っても続き再生メモリーは残ります。ただし、トレイを開けたり、ディスクを換えたりしたときは解除されます。
- 再生しても時間表示が出ないディスクでは、続き再生メモリーが働きません。

止めた位置までのあらすじを見るには (あらすじリプレイ)

DVD

停止した位置までの各チャプターを少しずつ再生して、あらすじを確かめることができます。
“ RESUME ” の点灯中に [再生 ▶] を押すと、テレビ画面に次のメッセージが表示されます。

（テレビ画面）

再生ボタンを押すと、
あらすじリプレイになります。

メッセージが表示されている状態で

[再生▶]を押す

前の各チャプターの冒頭部分が約 5 秒ずつ再生された後、停止した位置から通常再生が始まります。

- [再生 ▶]を押さずに放置しておくと画面が消え、止めた位置から再生が始まります。

お知らせ

- チャプター1 で停止したときは、あらすじリプレイにならない場合があります。
- あらすじリプレイのできない DVD もあります。

場面や曲を飛び越す（スキップ）

DVD VCD CD

DVD のチャプター (⇒ 62 ページ)や、ビデオ CD、音楽 CD のトラック (⇒ 62 ページ) の頭へ飛び、そこから再生します。

再生中に

リモコンでは

スキップ[|◀◀] または [▶▶|] を押す

本体では

[|◀◀／◀◀] または [▶▶／▶▶|] を押す

|◀◀、|◀◀／◀◀：戻る

▶▶|、▶▶／▶▶|：進む

- 押した回数のチャプター/トラックを飛び越します。
- [|◀◀]または[|◀◀／◀◀]を1回押すと、再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。

お知らせ

プレイバックコントロール付ビデオ CD のメニュー再生中にこの操作をすると、メニュー画面に戻ることがあります。

一時停止

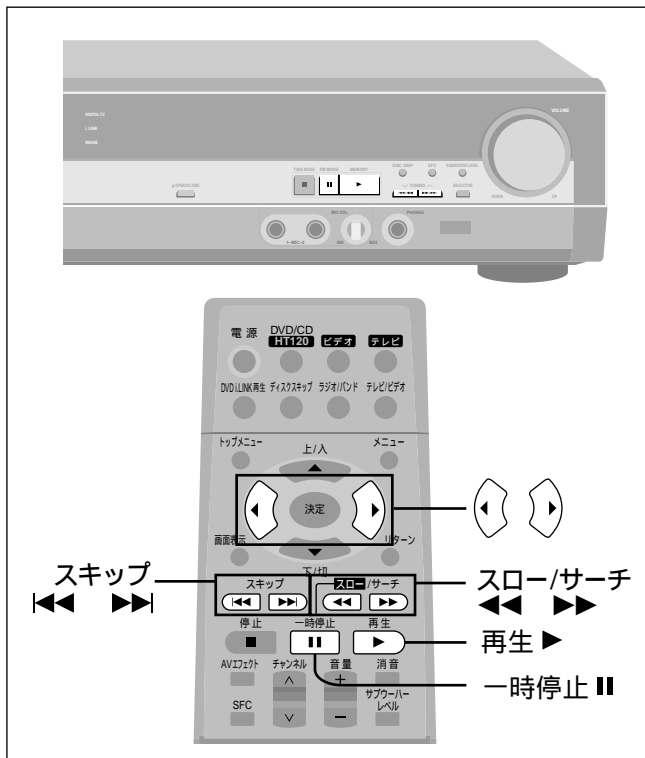
DVD VCD CD

再生中に

[一時停止 ❚❚] を押す

（テレビ画面）

DVD/ビデオ CD の場合

スチル

音楽 CD の場合

一時停止

（本体表示窓）

❚❚ C25

■ 通常再生に戻すには

[再生 ▶]を押す。

スロー再生

DVD VCD

一時停止中に

リモコンでは

スロー／サーチ [◀◀] または [▶▶] を押す

（テレビ画面）

▪ ❚▶

本体では

[|◀◀／◀◀] または [▶▶／▶▶|] を押し続ける

◀◀、|◀◀／◀◀：戻る（DVDのみ）

▶▶、▶▶／▶▶|：進む

押すたびに、5 段階まで速くなります。

■ 通常再生に戻すには

[再生 ▶]を押す。

コマ戻し／コマ送り

DVD VCD

動画を1 コマずつ見ることができます。

一時停止中にリモコンの

[◀] または [▶] を押す

◀：戻る（DVDのみ）

▶：進む

- 押すたびに、1 コマずつ進み／戻ります。
- 押し続けると、連続コマ戻し/コマ送りになります。
- [一時停止 ❚❚] を押しても、コマ送りできます。

■ 通常再生に戻すには

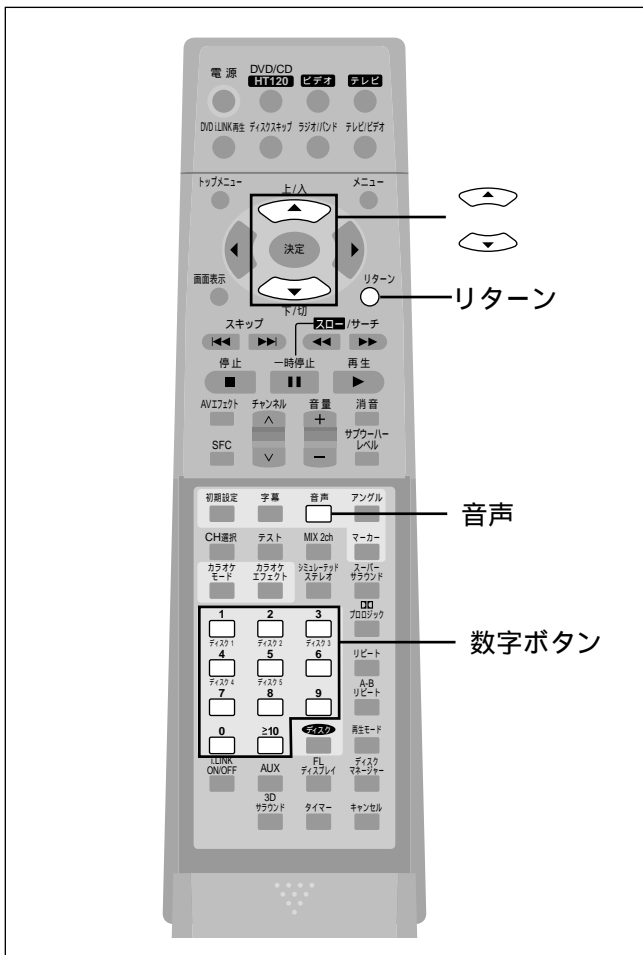
[再生 ▶]を押す。

音声、字幕言語、アングルを変える

音声を変える

GUI

DVD

DVD では、セリフの声が複数の言語で収録されていたり、別の音声方式（ドルビーデジタルと PCM など）が収録されている場合があります。これを再生中に切り換えることができます。

再生中にリモコンの

[音声]を押す

押すたびに切り換わります。

(例)

- 音声が記録されていないときは“ — ”と表示されます。
- [▲、▼] や数字ボタンを押しても切り換わります。

■ 表示を消すには

[リターン]を押す。

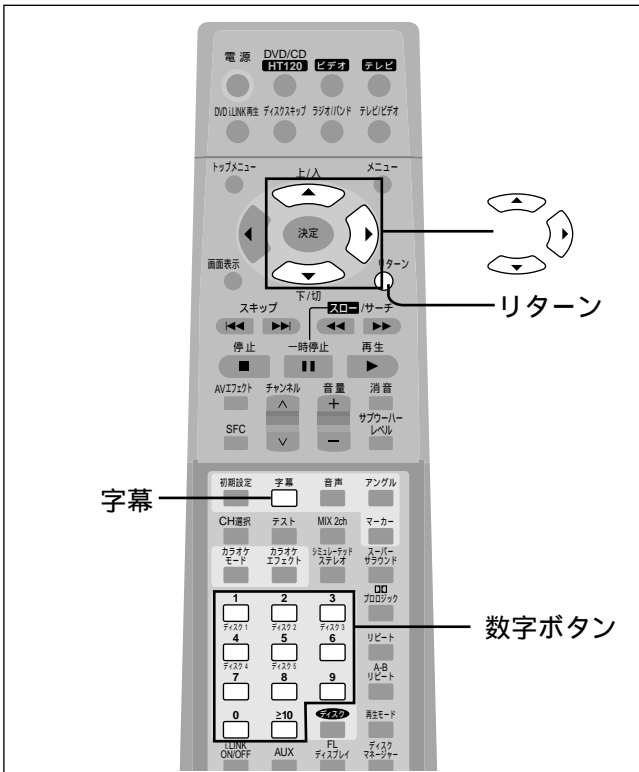
お知らせ

- 希望の音声にならない場合は、ディスクにその音声が収録されていません。
- 始めから好みの言語で聞きたい場合は、初期設定の「音声言語」(⇒ 50 ページ) で変更してください。（電源を入れたときやディスクを入れ換えたときは、その設定が優先されます。設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。ただし、一部のディスクでは異なる場合があります。）
- ディスクによっては、再生中に[音声]を押しても変更できないものもあります。その場合は、[メニュー]あるいは[トップメニュー]を押して、メニュー画面を表示させ、その中で音声言語の設定を行ってください。(⇒ 27 ページ)

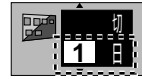
字幕言語を変える

GUI

DVD

複数の字幕言語が収録されている DVD では、再生中に好みの言語を選ぶことができます。

再生中にリモコンの

[字幕]を押す

押すたびに切り換わります。

- 字幕が記録されていないときは“ — — ”と表示
- [▲、▼] や数字ボタンを押しても切り換わります。

変更後は、字幕が切り換わるまで時間がかかることがあります。

■ 字幕を「入」「切」するには

字幕画面を出したあと
1 [▶]を押す
2 [▲、▼]で「入」「切」を選ぶ

■ 表示を消すには

[リターン]を押す。

お知らせ

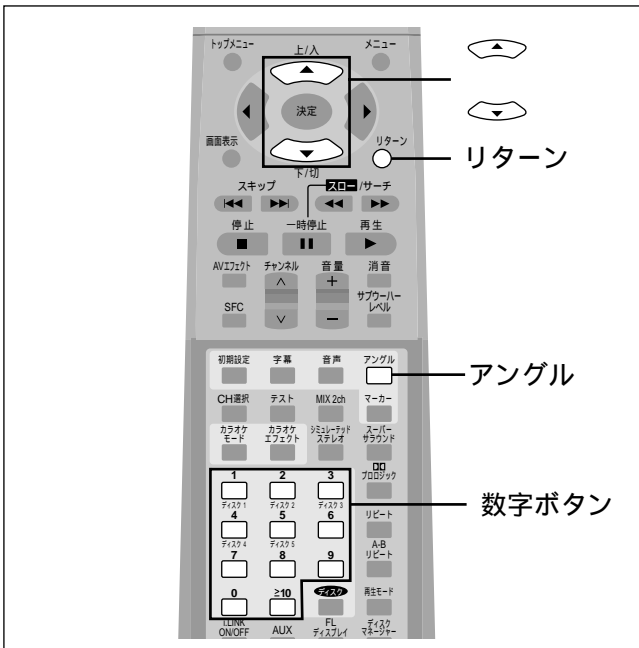
- 希望の言語にならない場合は、ディスクにその言語が収録されていません。
- 始めから好みの言語で見たい場合は、初期設定の「字幕言語」 (⇒ 50 ページ) で変更してください。

(電源を入れたときやディスクを入れ換えたときは、その設定が優先されます。設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。ただし、一部のディスクでは異なる場合があります。)

アングルを変える

GUI

DVD

アングルが収録されている DVD では、1つの場面を角度や視点などを変えて見ることができます。

再生中にリモコンの

[アングル]を押す

押すたびに番号が切り換わります。

- [▲、▼] や数字ボタンを押しても切り換わります。

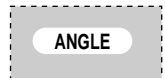
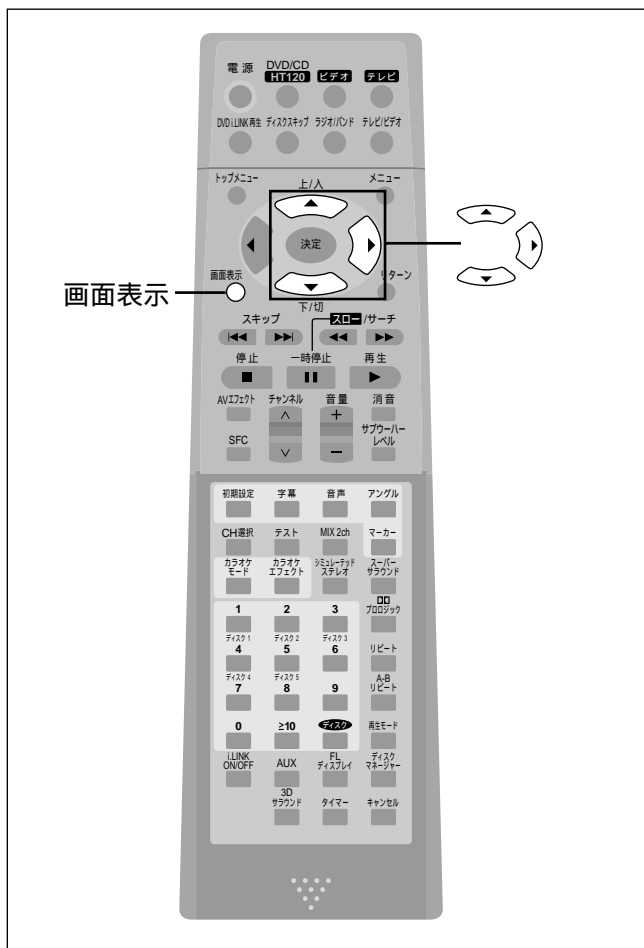
■ 表示を消すには

[リターン]を押す。

お知らせ

(本体表示窓)

ANGLE

- 再生中、アングルがある場所では、本機の表示窓に“ ANGLE ”表示がでます。
- ディスクに複数のアングルが記録されていないと働きません。

映画に適した画質にする

DVD

ぎらつきを抑え、しっとりとしたやさしい映像を実現します。(シネマポジション)
暗部の輪郭を忠実に再現するので、暗い場面でも見えやすくなります。

1 31ページの手順 ❶、❷を行い
映像設定画面を出す

2 [▶] を押す

3 [▲] または [▼] を押して
“ C ”を選ぶ

■ 元の画質に戻すには
手順3で“ N ”を選ぶ。
■ GUI画面を消すには
表示が消えるまで [画面表示] を押す。

セリフの音量を上げる

DVD

迫力ある効果音の入った映画ソフトなどで、セリフを聞き取りやすくします。(ダイアログエンハンサー)
(ドルビーデジタル 3ch 以上で記録され、セリフがセンターチャンネルに入っているDVDで働きます。)

1 31ページの手順 ❶、❷を行い
音声設定画面を出す

2 [▶] を押す

3 [▲] または [▼] を押して
“ 入 ”を選ぶ

■ 元の音量に戻すには
手順3で“ 切 ”を選ぶ。
■ GUI画面を消すには
表示が消えるまで [画面表示] を押す。

いろいろな再生

繰り返し再生する (リピート)

GUI

DVD VCD CD

DVD ではチャプターまたはタイトルを、ビデオ CD と音楽 CD ではディスク全体を繰り返すことができます。また、好みの場所を指定して繰り返すこともできます。(A-B リピート)

好みの場所を繰り返す (A-B リピート)

再生中にリモコンの

1 [A-Bリピート] を押して、開始位置(A)を決める

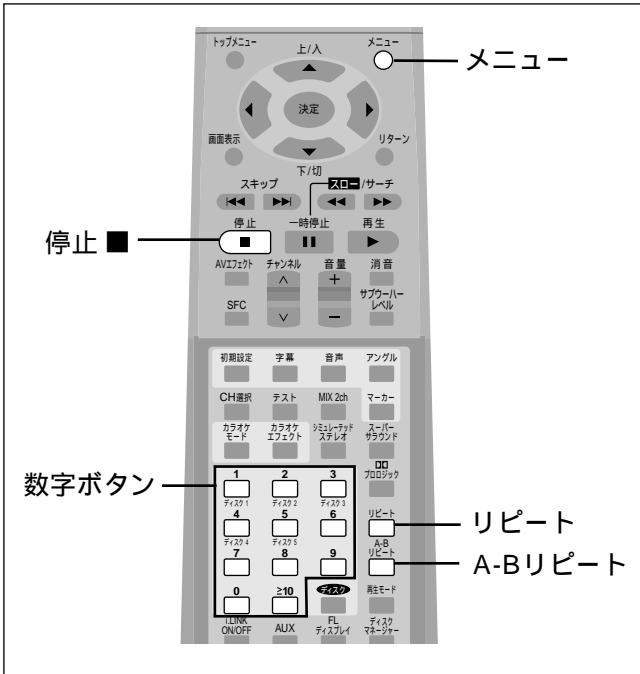
2 [A-Bリピート] を押して、終了位置(B)を決める

再生が始まります。

■ **通常再生に戻すには**

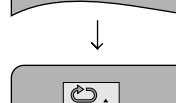
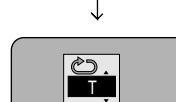
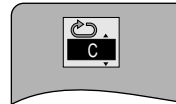
[A-Bリピート] を押す。(“ ＊＊ ” が表示される)

お知らせ

- ディスクによっては、働かないものもあります。
- A-B リピート機能は、同一タイトル (DVD) または、同一トラック (ビデオ CD/音楽 CD) 内でのみ使えます。B点を指定する前に、タイトルまたはトラックが終わったときは、その終点がB点として指定されます。
- AB 間の前後では、字幕が表示されないことがあります。
- 停止するとA-B リピートは解除されます。

再生中にリモコンの

[リピート] を押す

押すたびに

DVD の場合

ビデオ CD※/音楽 CD の場合

※プレイバックコントロール付ビデオCDの場合
1. 再生中、[停止■] を押して、表示窓の“ PBC ”を消す
2. 数字ボタンでトラックを選び、再生を始める
3. [リピート]を押す

- メニュー再生に戻すには、[停止■]を押したあと[メニュー]を押してください。表示窓に“ PBC ”が点灯します。

■ **通常再生に戻すには**

“ ⮌ 切 ” が表示されるまで、または “ ⮌ ” 表示が消えるまで [リピート] を押す。

■ **ビデオ CD /音楽 CD で好みの一曲（トラック）だけを繰り返すには**

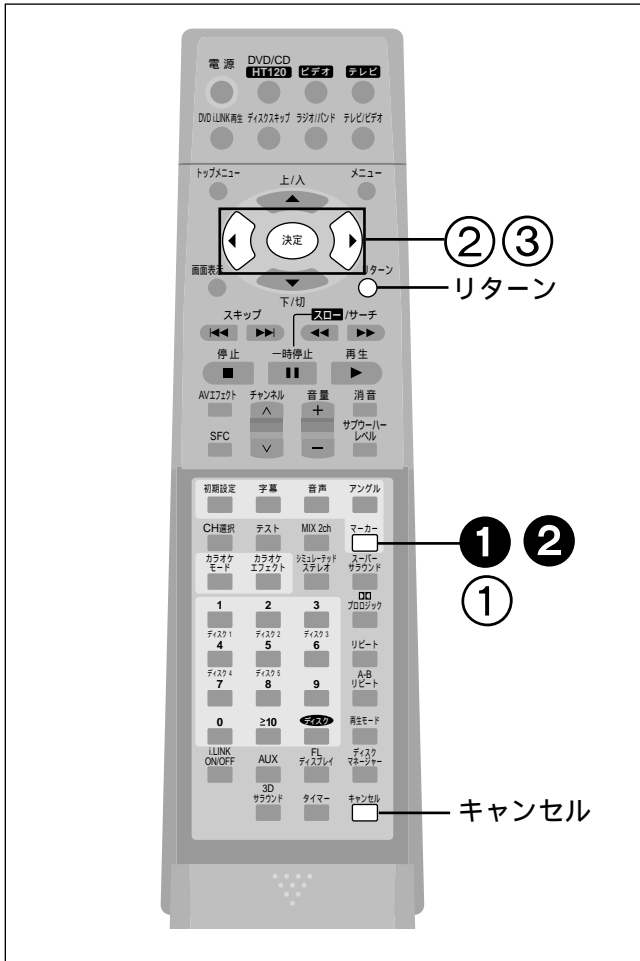
ディスクの再生方法を選ぶ ⇒ 30 ページ

お知らせ

- ディスクによっては、働かないものもあります。
- DVDでは、ディスク全体のリピート再生は選べません。

好みの位置を記憶させる (マーカー)

DVD VCD CD

再び見たい (聞きたい) 位置にマークを付けておくと、頭出しが簡単にできます。マークは 5 つまで付けられます。

お知らせ

- マーカー機能は選択中のディスクでのみ働きます。
- マークを付けた場所によっては、字幕が表示されないことがあります。
- 時間表示の出ないディスクでは使用できません。
- マークを付けられない DVD もあります。また、プレイバックコントロール付ビデオ CD のメニュー再生中には働きません。
- 電源を切ったり、トレイを開けたり、ディスクを入れ換えたり、入力を切り換えたりするとマークは解除されます。

マークを付けるには

再生中にリモコンの

❶[マーカー] を押す

(テレビ画面)

テレビ画面にマーカー表示が出ます。

❷[マーカー] を押す

2ヶ所以上マークを付けるときは

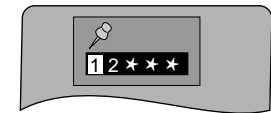
1. [▶] を押してカーソルを移動させる。

2. [マーカー] を押す。

マークを付けた位置から再生するには

リモコンの

①[マーカー] を押す

テレビ画面にマーカー表示が出ます。

②[◀] または [▶] を押してマーク番号を選ぶ

③[決定] を押す

マークの位置から再生が始まります。

■ マーク番号を取り消すには

マーカー表示中に

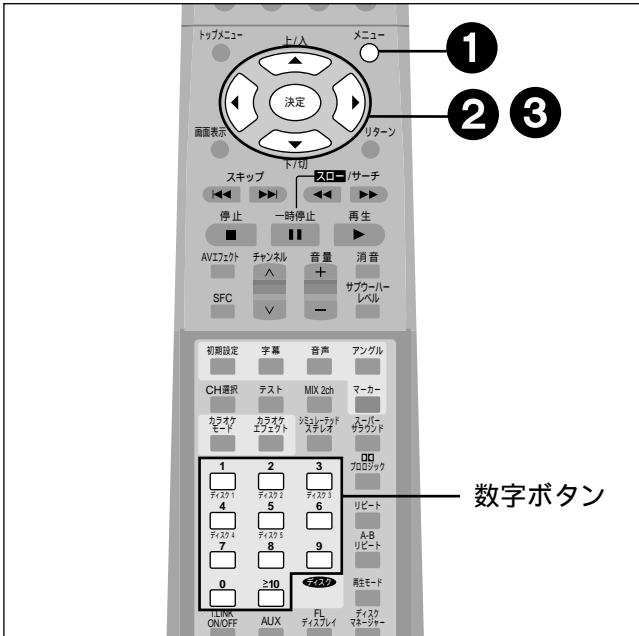
[◀] または [▶] を押して番号を選び、[キャンセル] を押す。

■ マーカー表示を消すには

[リターン] を押す。

メニューを使う

DVD

多くの DVD では、映画のシーンなどを選択できるメニュー画面を設けています。また、メニュー選択で再生するのが基本の DVD もあります。
メニューの選びかたはディスクによって異なりますので、ここでは一般的な操作を説明します。

リモコンの

❶[メニュー] を押して
メニュー画面を出す

（テレビ画面）(例)

1.音声メニュー
2.字幕メニュー
3.アングルメニュー

❷[◀] [▶] [▲] または [▼] を押して
メニューを選ぶ

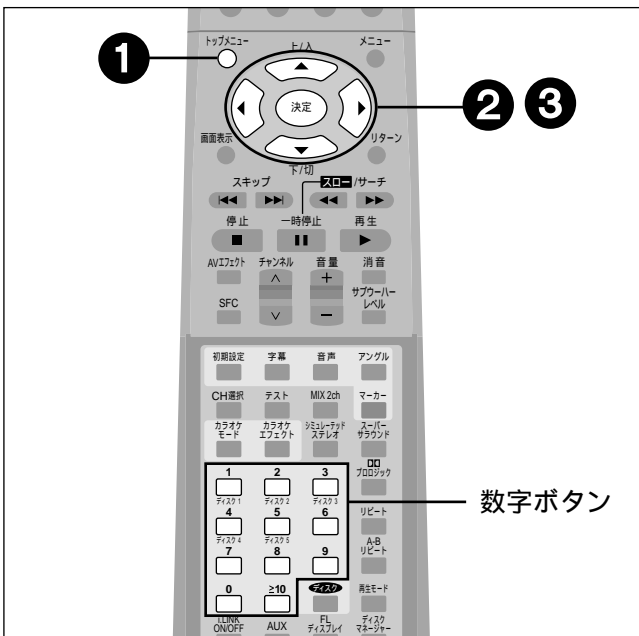
❸[決定] を押す

お知らせ

ディスクによっては、数字ボタン [1]〜[0]、[≥10] で選べるものもあります。

トップメニューを使う

DVD

複数タイトルを持つ DVD では、トップメニューからタイトルを選択して再生することができます。
トップメニューの選びかたはディスクによって異なりますので、ここでは一般的な操作を説明します。

リモコンの

❶[トップメニュー] を押して
メニュー画面を出す

（テレビ画面）(例)

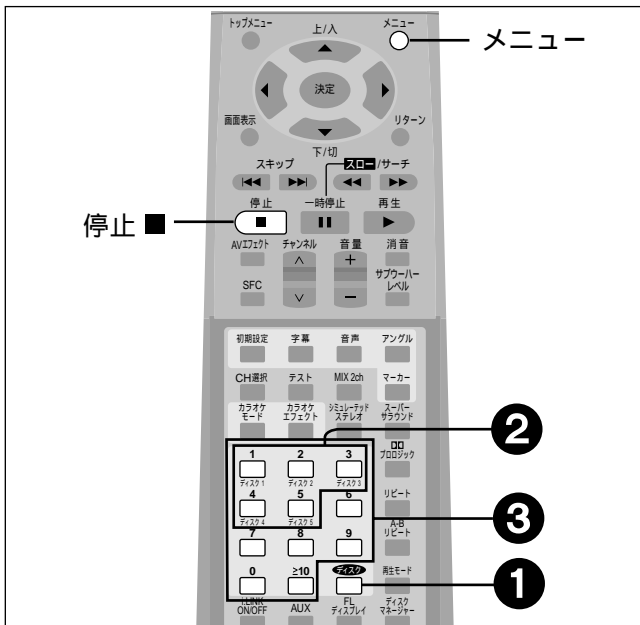
❷[◀] [▶] [▲] または [▼] を押して
タイトルを選ぶ

❸[決定] を押す

お知らせ

ディスクによっては、数字ボタン [1]〜[0]、[≥10] で選べるものもあります。

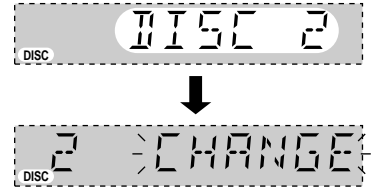
好みのトラックから再生する

VCD　CD

お知らせ

- プレイバックコントロール付ビデオ CD の場合、[停止 ■] を押して“ PBC ”の表示を消さないと、好みのトラックが選べないことがあります。メニュー画面に戻す場合は、[停止 ■] を押してから[メニュー] を押してください。
- この機能が使えないプレイバックコントロール付ビデオ CD もあります。

リモコンの

❶[ディスク] を押す

❷数字ボタン ([1] ～ [5]) を押して ディスクを選ぶ

ディスクが入れ換わり、再生が始まるまでしばらくお待ちください。

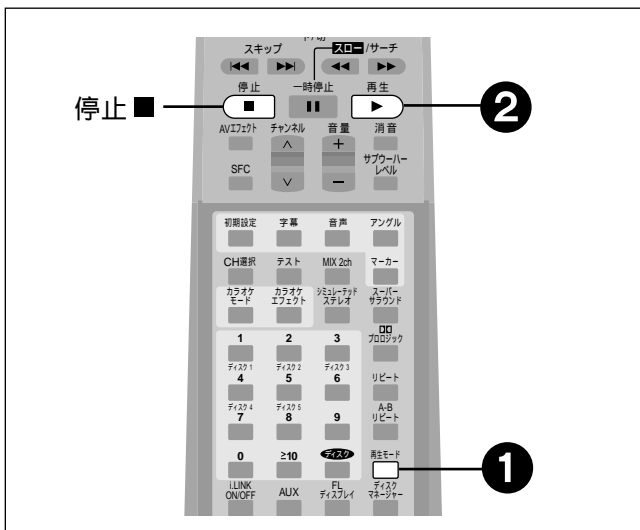
❸数字ボタンを押して トラックを選ぶ

■ 10 以上のトラックの選びかた

例）トラック番号 10：[≥10]→[1]→[0]
　　トラック番号 25：[≥10]→[2]→[5]

順不同に再生する (ランダム)

VCD　CD

1 枚のディスク内、または入っているディスク内の全トラックを、順不同に 1 度ずつ再生します。

1 枚のディスクだけをランダム再生するときは、ディスクを選び (上記手順 ❶、❷ 参照)、 停止状態にしておいてください。

停止中にリモコンの

❶[再生モード] を押して 再生の種類（“ RANDOM ”または“ RANDOM ” “ ALL DISC ”）**を選ぶ**

ALL DISC
RANDOM

押すたびに

PRGM：（プログラム⇒29 ページ）
↓
RANDOM：1 枚のディスクを順不同に再生
↓
RANDOM ALL DISC：5 枚のディスクを順不同に再生
↓
（切）：通常再生

❷[再生 ►] を押す

■ 解除するには

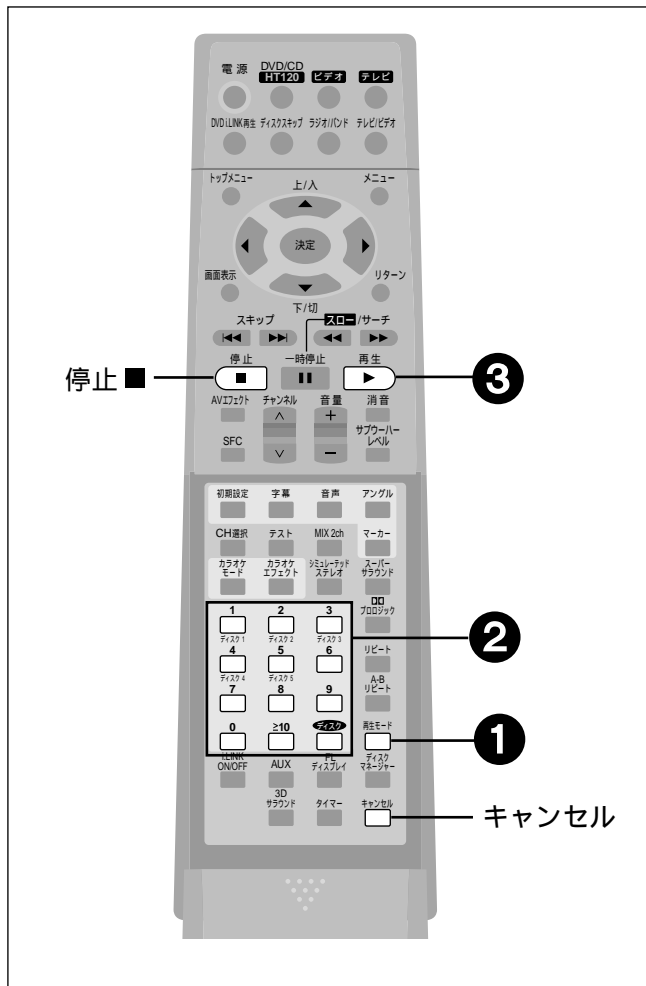
[停止 ■] を押す。再生も停止します。

お知らせ

“ RANDOM ALL DISC ”のときは、途中の DVD は再生せずに飛び越します。

好みの順に再生する (プログラム)

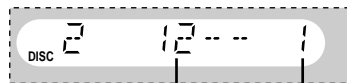
VCD **CD**

最大 24 トラックまで好みの順に再生します。

停止中にリモコンの

❶[再生モード] を押して
“ PRGM ” を選ぶ

押すたびに
PRGM⟶RANDOM⟶RANDOM ALL DISC
↑―――――― (切) ←――――――

❷ ① [ディスク] を押してから
数字ボタン([1]～[5])を押して
ディスク番号を選び

② 数字ボタンを押して
トラックを選ぶ

必要に応じて、①②の操作を繰り返してください。
同じディスクのトラックを続けて選ぶときは、①の操作は不要です。

❸[再生 ▶] を押す

お知らせ

- 電源を切ったり、トレイを開けたり、入力を切り換えたりすると、通常再生に戻ります。(ただし予約内容は記憶されています。)
- 実際には入っていないディスクやトラック、または DVD を予約した場合は、再生時に飛ばして、次に予約したトラックを再生します。

■ 通常再生に戻すには

停止させた後、“ PRGM ” 表示が消えるまで [再生モード] を押す。(予約内容は記憶されています。)
もう一度 [再生モード] を押して “ PRGM ” 表示にすると、前に予約した内容でプログラム再生できます。

■ 最後に予約したトラック番号を取り消すには

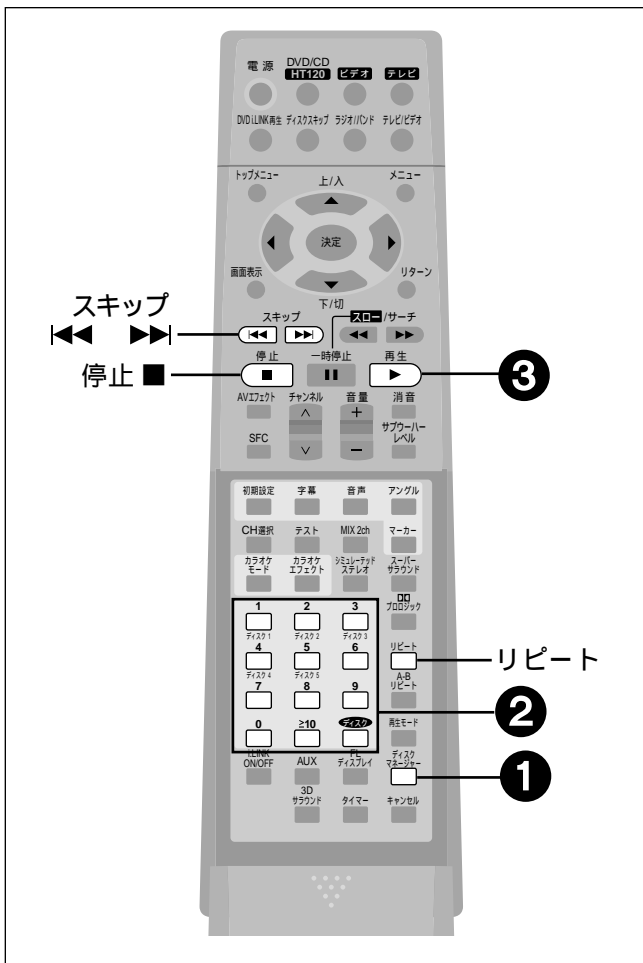
停止させた後 (表示窓に “ RESUME ” が点灯しているときは、[停止 ■]を押して解除してください)、[キャンセル] を押す。

■ 予約をすべて取り消すには

停止させた後 (表示窓に “ RESUME ” が点灯しているときは、[停止 ■]を押して解除してください)、[停止 ■] を押して “ PRGM ” 表示を消す。
“ CLEAR ” が表示されます。
“ CLEAR ” が出ないときは予約内容が取り消されていません。このときは一度再生した後、停止させてから [停止 ■] を押してください。

ディスクの再生方法を選ぶ（ディスクマネージャー）

VCD **CD**

1 曲（トラック）だけ、1 枚のディスクだけ、5 枚のディスクを連続してなど、いろいろな再生ができます。

お知らせ

- “ RANDOM ”、“ PRGM ”点灯中は使用できません。
- “ A ” または “ ALL DISC ” 点灯中にプレイバックコントロール付ビデオ CD を再生すると、メニューをOFFにして、ディスクをひととおり再生できます。
- 途中の DVD は、飛び越して再生します。

停止中にリモコンの

❶ [ディスクマネージャー] を押して モードを選ぶ

押すたびに

→ 1-TRACK　1トラック再生
↓
1-DISC　1枚のディスク全体を再生
↓
ALL-DISC　5枚のディスクを連続再生
↓
NORMAL　（切）：通常再生

❷ 再生するディスク、トラックを選ぶ

ディスクを選ぶとき
[ディスク] を押してから 数字ボタン（[1]〜[5]）を押して、ディスク番号を選ぶ

トラックを選ぶとき
数字ボタンを押して、トラックを選ぶ
[⏮] または [⏭] を押してトラックを選ぶこともできます。

❸ [再生 ▶] を押す

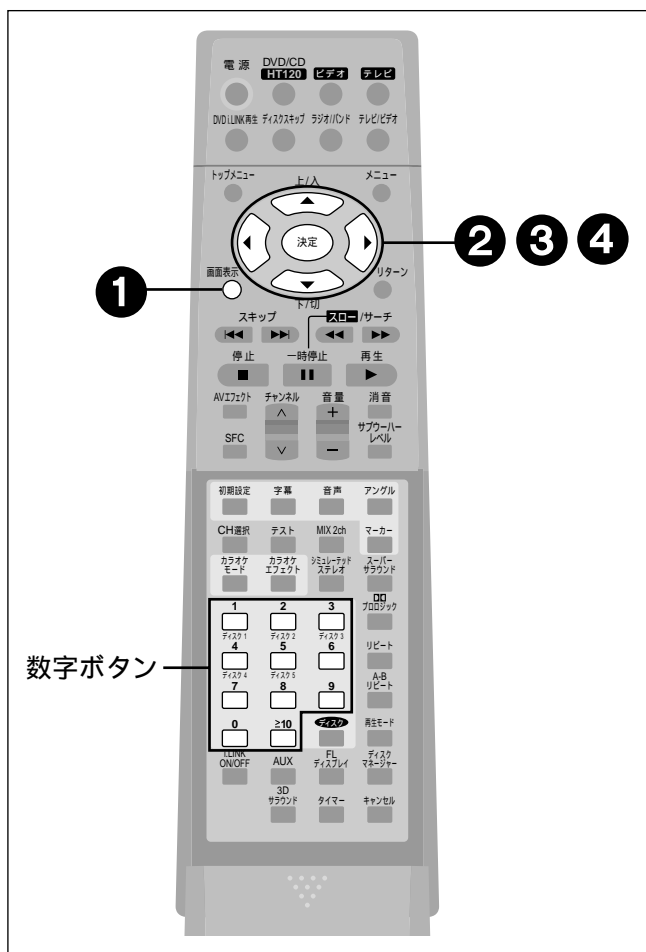
■ 再生中にディスクマネージャーを解除するには
[停止 ■] を押す。

■ 好みの 1 曲（トラック）だけ、好みのディスク 1 枚だけを繰り返すには
ディスクマネージャーの再生中に [リピート] を押す。

絵表示でディスクや本機の情報を変更する（GUI）

GUI 画面を使うには (基本操作)

DVD

GUI (Graphical User Interface（グラフィカル ユーザー インターフェイス）) とは、「絵表示などを使って操作する画面」のことを意味します。
本機では、ディスク情報や本機の情報などを表示する画面を「GUI 画面」と呼び、情報を確認しながら内容を変更できます。

■ GUI 画面を消すには

GUI 画面が消えるまで [画面表示] を押す。

■ GUI 画面の位置を変えるには

5段階の調整ができます。

1 [◀] または **[▶]**
で矢印アイコンを選ぶ
例）

2 [▲] または **[▼]** でGUI画面の位置を変える

お知らせ

- 表示内容はディスクによって異なります。
- ディスクや再生状態（停止中など）によっては操作できないものがあります。

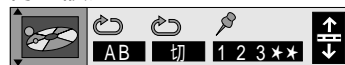
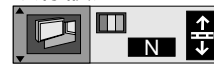
リモコンの

❶ [画面表示] を押して
テレビにGUI 画面を出す

押すたびにGUI画面が切り換わります。

❷（本機情報画面のみ）
[◀] または [▶]で、ハイライトを左端のアイコンに移動し、[▲] または [▼]で
メニューを選ぶ

押すたびに

再生設定

❸ [◀] または [▶] を押して
絵表示 (項目) を選ぶ

内容については32、33ページをご覧ください。

❹ [▲] または [▼] を押して
内容を変更する

数字ボタンで変更できるものもあります。
変更が実行されない場合は[決定]を押してください。

ディスク情報画面の表示例

アイコン	内　容
2	**タイトル番号** 番号を選び**[決定]**を押す
2	**チャプター番号** 番号を選び**[決定]**を押す
1:46:50	**経過時間** **数字ボタン**で指定した時間から再生開始 例）１時間４６分５０秒から再生するとき **[1]→[4]→[6]→[5]→[0]→[決定]**を押す
DD Digital 1 日 3/2.1 ch	**音声言語** (⇒右記ⓐ) 番号を選ぶとその音声で再生
DD Digital 1 日 3/2.1 ch	**音声属性** (⇒右記ⓑ)
Vocal 1 ＊ 切	**カラオケボーカル「入」「切」** (カラオケＤＶＤのみ) **ソロ**　切 ⟷ 入 **デュエット**　切 ⟷ V1+V2 ↕　↕ V2 ⟷ V1

アイコン	内　容
切 1 日	**字幕番号** 番号を選ぶと、その言語で再生（⇒下記ⓐ）
切 1 日	**字幕「入」「切」** 字幕の「入」「切」の選択
1	**アングル番号** 番号を選ぶとそのアングルで再生

ⓐ 音声／字幕言語

日：日本語	**伊**：イタリア語	**露**：ロシア語
英：英語	**西**：スペイン語	**韓**：韓国語
仏：フランス語	**蘭**：オランダ語	**＊**：その他
独：ドイツ語	**中**：中国語	

ⓑ 音声属性

LPCM／DDDigital／DTS：信号タイプ
k：サンプリング周波数
b：ビット数
ch：チャンネル数

シャトル画面の表示例

アイコン	内容
❚❚	**一時停止**
◀❙ ❙▶	**スロー再生** ◀❙：戻る ❙▶：進む
▶	**再生**
◀◀ ▶▶	**早戻し／早送り** ◀◀：戻る　▶▶：進む

お知らせ

- 早送り／早戻し、スロー再生の速度は5段階あります。
- シャトル画面両端の数値は早戻し／早送りの最大速度を表示しています。
- ディスクによっては、操作できないものもあります。

本機情報画面の表示例

再生設定

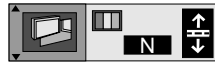
アイコン	内　容
	A-Bリピート再生（⇒25ページ） 再生中[**決定**]を押すたびに A点を指定→ B点を指定 ↑— 通常再生←┘
	リピート再生（⇒25ページ） **C（チャプター）←→ T（タイトル）** ↑→ **切（通常再生）**←┘
	マーカー（⇒26ページ） もう一度再生したいところにマークを付ける（最大5ヵ所） [**決定**]を押し、マークを付けたいところでもう一度押す **他にマークを付けるには** [▶]を押し、マークを付けたいところで[**決定**]を押す。 **マークを呼び出すには** [◀、▶]でマークを選び[**決定**]を押す **マークを取り消すには** [◀、▶]でマークを選び[**キャンセル**]を押す

表示設定

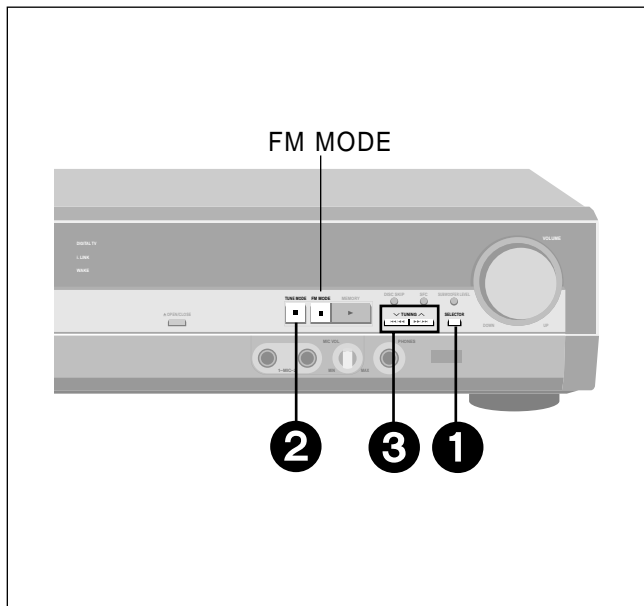
アイコン	内　容
	IPB表示 静止時に画像の種類（**I／P／B** ⇒62ページ）を表示する／しないを設定 **入←→切**

音声設定

アイコン	内　容
	ダイアログエンハンサー (ドルビーデジタル3ch以上のディスク)（⇒24ページ） 「入」を選ぶと、センターチャンネルのセリフの音量が上がる 入←→切

映像設定

アイコン	内　容
	画質モード **[▲、▼]** でお好みの画質モードを選ぶ **N：**通常画質 **C：**シネマ画質（⇒24ページ）

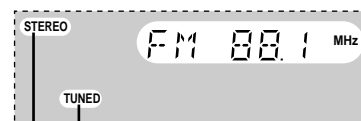
ラジオを聞く

本体の

❶[SELECTOR] を押して
“ FM ” または “ AM ” を選ぶ

押すたびに　DVD/CD→FM→AM→TV-ANALOG
↑　　　　　　　　↓
AUX ← VCR ← TV-DIGITAL

❷[TUNE MODE] を押して
“ MANUAL ” を選ぶ

押すたびに
MANUAL⟷PRESET

❸TUNING [∨] または [∧] を押して
放送局を選ぶ

正確に受信すると点灯
ステレオ放送を受信すると点灯

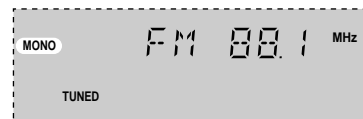
■ 自動選局するには

TUNING [∨] または [∧] を押したままにして、周波数表示が動き始めたら指を離す。
最初に受信した放送局で自動停止します。

お知らせ

周囲に電波妨害があると、放送局を受信せずに停止することがあります。

■ FM 放送で雑音が多いときは

[FM MODE] を押す。
本体表示窓に“ MONO ” が表示されます。

- モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。
- 通常は “ MONO ” を消灯させておいてください。(再度 [FM MODE] を押します。)

- AM の音声はモノラルです。
- 電波が受信しにくいときや、i. LINK 接続をしていて雑音が多いときは、屋外アンテナの利用をおすすめします。(⇒ 45 ページ)

放送局を記憶させて聞く

チャンネルに放送局を記憶させておくと、簡単な操作で聞けます。
FM、AM とも12 局ずつ記憶できます。

記憶させるには

準備

本体の［SELECTOR］または、リモコンの［ラジオ/バンド］で“ FM ”または“ AM ”を選んでください。

本体の

❶[TUNE MODE] を押して“ MANUAL ”を選ぶ

押すたびに
MANUAL⟷PRESET

❷TUNING [∨] または [∧] を押して一番低い周波数を選ぶ

FM：76.0 MHz
AM：522 kHz

❸[MEMORY] を押したままにして周波数表示が動き始めたら指を離す

記憶している間は“ PRGM ”が点滅します。
終了すると、最後に記憶した放送局で受信状態になります。

お知らせ

記憶した放送局は電源コードを抜いても、約 2 週間保持されます。

記憶させた放送局を聞くには

リモコンの

①[ラジオ／バンド] を押して“ FM ”または“ AM ”を選ぶ

②スキップ [|◀◀]、[▶▶|] を押してチャンネルを選ぶ

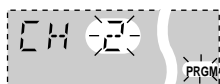
チャンネル[∧、∨]や数字ボタンで選ぶこともできます。
数字ボタンでチャンネル 10 以上を選ぶには
例）チャンネル10：[≥10]→[1]→[0]
　　チャンネル12：[≥10]→[1]→[2]

■ 1 局ずつ記憶させるには

1.[MEMORY] を押す。
2. TUNING [∨] または [∧] を押して放送局を選ぶ。
3.[MEMORY] を押す。

CH -1- PRGM

4. TUNING [∨] または [∧] を押して、記憶させるチャンネルを選ぶ。

CH -2- PRGM

5.[MEMORY] を押す。

他の局も記憶させるには以上の操作を繰り返してください。

■ 記憶させた放送局を本体で選ぶには

1.[SELECTOR] を押して、“ FM ”または“ AM ”を選ぶ。
2.[TUNE MODE] を押して、“ PRESET ”を選ぶ。
3. TUNING [∨] または [∧] を押して、チャンネルを選ぶ。

サラウンド効果を楽しむ

本機では、音源によっていろいろなサラウンド効果を楽しむことができます。
(下表を参照してください。)

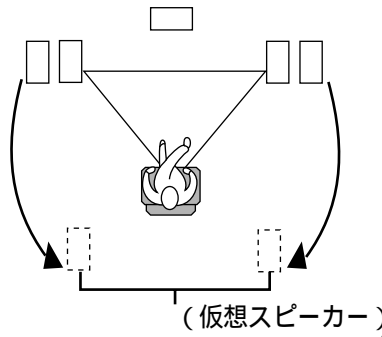
- ビデオデッキと接続する(⇒ 46 ページ)
- BS/CS(デジタル)チューナーと接続する(⇒ 46 ページ)
- i.LINK対応テレビと接続する(⇒ 55 ページ)

左記の効果と合わせて使えます。

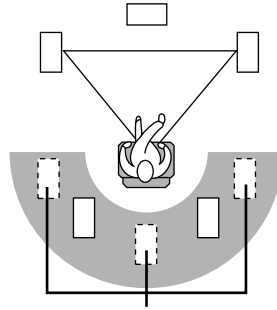
お好みに合わせて設定する効果

Ⓐ Virtual rear surround（バーチャル リア サラウンド）

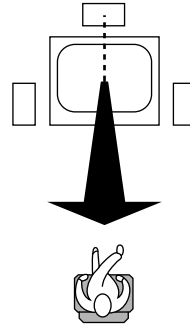
(⇒ 40 ページ)

- サラウンドスピーカーをフロントスピーカーに並べて設置している場合に使用します。
- サラウンドスピーカーの音声が後から聞こえてくるような効果※があります。

Ⓑ Multi rear surround（マルチ リア サラウンド）

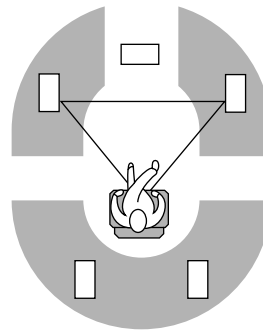
(⇒ 40 ページ)

- いくつものサラウンドスピーカーがあるかのような効果※を作り出し、映画館にいるような雰囲気を出します。

Ⓒ Center focus（センター フォーカス）

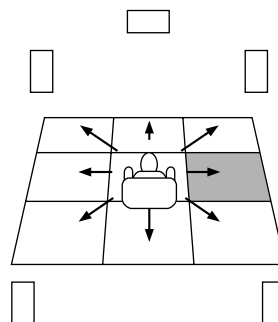
(⇒ 40 ページ)

- テレビの上から出ている音声がテレビの中から聞こえてくるような感じになります。
- センタースピーカーはテレビの上方に置いてください。

Ⓓ 3D enhanced surround（エンハンスト サラウンド）

(⇒ 40 ページ)

- フロントスピーカーとサラウンドスピーカーの音声の立体感が増し、上の方からも音が聞こえるような感じになります。

Ⓔ Seat position（シート ポジション）

(⇒ 41 ページ)

- 視聴位置を変えても、音声が元の位置と同じように聞こえます。

サラウンド効果の使いかた

ドルビーデジタル、DTS、ドルビープロロジック、スーパーサラウンド（MOVIEのみ）、AACは、40、41ページの効果と組み合わせて使うことができます。
組み合わせ方については36、37ページの表をご覧ください。

ドルビーデジタル、DTSを楽しむ

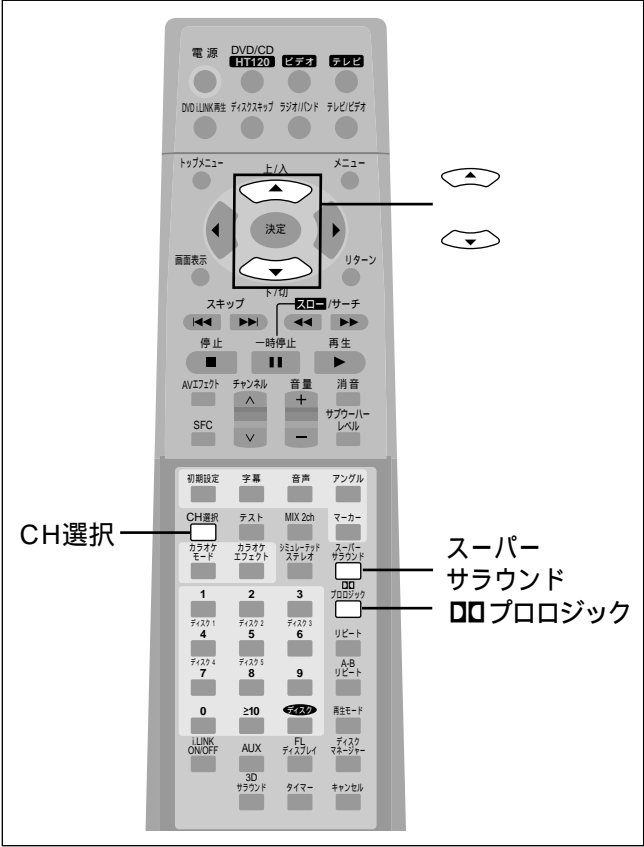
DVD

(ドルビーデジタル、DTS で記録されたディスクのみ)
本格的なホームシアターを楽しむことができます。
DVDにドルビーデジタル、DTSの信号が入っているときは、再生を始めると自動的に判別します。

ドルビーデジタル　ⅮⅮDIGITAL

DTS　DTS

お知らせ

- 複数の音声方式 (DTSとドルビーデジタルなど) がある場合は、音声を切り換えて選んでください。(⇒ 22 ページ)
- スピーカーの出力レベルを調整することができます。 (⇒ 42ページ)

ドルビープロロジックを楽しむ

(ドルビーサラウンドで記録された ディスク、ビデオテープ、CD)
臨場感のあるサラウンドサウンドを楽しむことができます。

リモコンの

[ⅮⅮ プロロジック] を押す

本体表示窓に
“ ⅮⅮ PRO LOGIC ” と
表示されます。

■ 解除するには
[ⅮⅮ プロロジック] を押す。

お知らせ

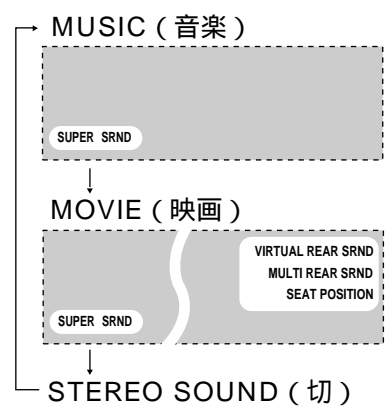
スピーカーの出力レベルを調整することができます。
(⇒ 42ページ)

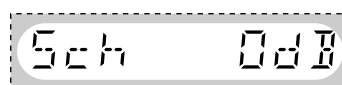
スーパーサラウンドを楽しむ

普通のステレオ音声に、サラウンド効果を付けることができます。**(ラジオ以外)**

リモコンの

[スーパーサラウンド] を押して、モードを選ぶ

押すたびに

■ 解除するには
[スーパーサラウンド]を押して、“ STEREO SOUND ” (切) を選ぶ。

■ サラウンドスピーカーのレベルを調整するには
1.[CH 選択] を押す。

2.[▲] または [▼] を押してレベルを調整する。
(－10 dB ～ ＋6 dB 範囲)

BSデジタル（AAC）を楽しむ

BS デジタルチューナー内蔵機器を光入力端子、または i. LINK 端子に接続して、AAC で圧縮された BS デジタル放送の音声を本機で楽しむことができます。
AAC の信号が入力されると、自動的に判別し再生します。

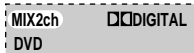
お知らせ

- 接続した機器のデジタル出力の設定が必要です。詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
- スピーカーの出力レベルを調整することができます。 (⇒ 42ページ)

MIX 2ch にする

ドルビーデジタルなどの 5.1 ch の音声を 2 ch に集約してフロントスピーカーから出力します。

リモコンの

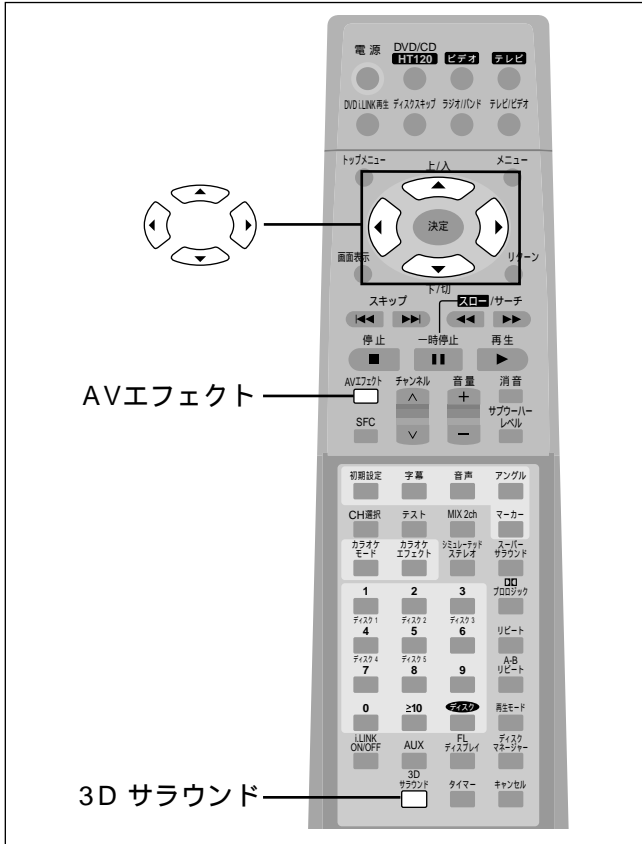
[MIX 2ch] を押す

MIX2ch DIGITAL
DVD

■ 解除するには
[MIX 2ch] を押す。

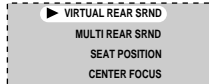
サラウンド効果ご使用について

- **ドルビーデジタル、DTSは、各音声方式で記録されたディスクでのみ使用できます。**
- **ドルビープロロジック、スーパーサラウンドおよびシミュレーテッドステレオは入力がラジオのときは使用できません。**
- **AACはBSデジタル放送の音声を受信中のみ使用できます。**
- **ドルビープロロジック、スーパーサラウンドおよびシミュレーテッドステレオはカラオケエフェクトを「入」にしたり、ヘッドホンやマイクを接続したりすると使用できません。**

お好みに合わせて効果を使う

ドルビーデジタル、DTS、ドルビープロロジック、スーパーサラウンド（MOVIEのみ）、AACと組み合わせて使うことができます。
組み合わせ方については36、37ページの表をご覧ください。
ただし、バーチャルリアサラウンドとマルチリアサラウンドを同時に働かせることはできません。

バーチャルリアサラウンドを使う

設置場所の都合でサラウンドスピーカーをフロントスピーカーの横に置いている場合に使用してください。
前面に設置したサラウンドスピーカーの音が、後から出ているように聞こえます。

▶ VIRTUAL REAR SRND
MULTI REAR SRND
SEAT POSITION
CENTER FOCUS

リモコンの

❶[AVエフェクト] を押す

❷[◀] または [▶]を押して
“ VIRTUAL REAR SRND ”を選ぶ

❸“ VIRTUAL REAR SRND ”点滅中に
[▲] を押す

■ 解除するには
上記手順❶、❷ のあと、**[▼]**を押す。
（“ ▶ ” 表示が消えます。）

マルチリアサラウンドを使う

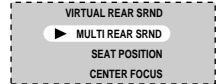
サラウンドスピーカーの数が増えたように聞こえます。

リモコンの

❶[AVエフェクト] を押す

❷[◀] または [▶]を押して
“ MULTI REAR SRND ”を選ぶ

❸“ MULTI REAR SRND ”点滅中に
[▲] を押す

VIRTUAL REAR SRND
▶ MULTI REAR SRND
SEAT POSITION
CENTER FOCUS

■ 解除するには
上記手順❶、❷ のあと、**[▼]**を押す。
（“ ▶ ” 表示が消えます。）

センターフォーカスを使う

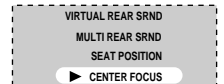
テレビの上方に置いたセンタースピーカーの音が、テレビ画面の位置から出ているように聞こえます。

リモコンの

❶[AVエフェクト] を押す

❷[◀] または [▶]を押して
“ CENTER FOCUS ”を選ぶ

❸“ CENTER FOCUS ”点滅中に
[▲] を押す

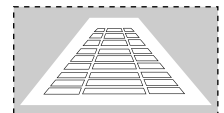
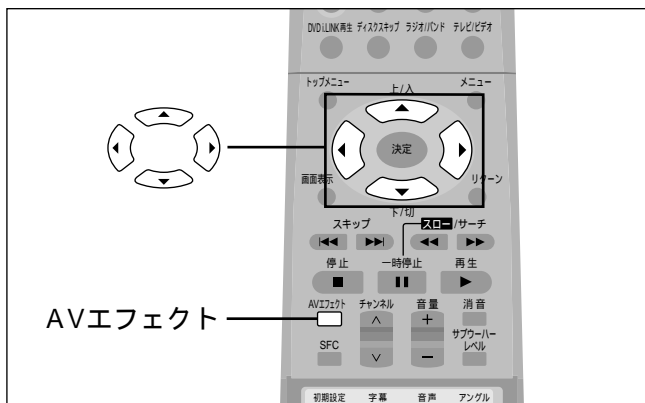
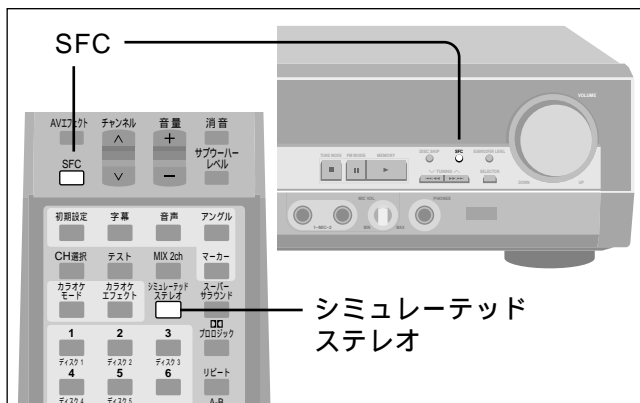
VIRTUAL REAR SRND
MULTI REAR SRND
SEAT POSITION
▶ CENTER FOCUS

本体表示窓
CENTER FOCUS1： 入（標準）
↓
CENTER FOCUS2： 入（効果大）
“ 2 ” を選ぶと、小さい音量のときでも会話がクリアに聞こえるようになります。

■ 解除するには
上記手順❶、❷ のあと、“ OFF ” が表示されるまで**[▼]**を押す。（“ ▶ ” 表示が消えます。）

3Dエンハンストサラウンドを使う

フロントとサラウンドスピーカーの上の方から音が聞こえてくるような感じになります。

リモコンの

[3Dサラウンド] を押す

■ 解除するには
[3Dサラウンド] を押す。

シートポジションを使う

室内の配置などによって、理想的な位置（中央）で視聴できない場合は、シートポジションを調整してください。部屋の中央で聞いているような感じになります。

リモコンの

❶[AVエフェクト] を押す

❷[◄] または [►]を押して " SEAT POSITION " を選ぶ

❸" SEAT POSITION " 点滅中に [▲]を押す

❹" ► " 点滅中に [◄] [►] [▲] または[▼] を押して 実際の視聴位置に近い位置を選ぶ

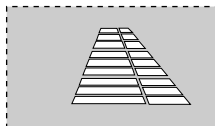
お知らせ

- バーチャルリアサラウンド（⇒ 40 ページ）および 3D エンハンストサラウンド（⇒ 40 ページ）が働いているときは、左右方向にだけ調整できます。
- 3D エンハンストサラウンド（⇒ 40 ページ）のときは、本体表示窓の表示が反転します。

3D エンハンスト サラウンドのとき

■ 解除するには

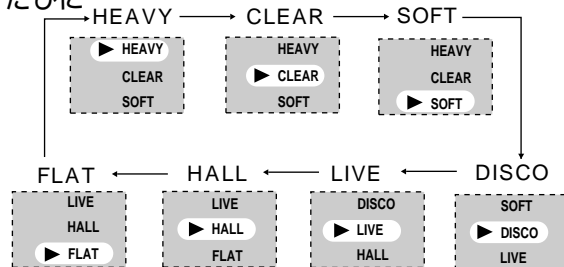
上記手順❶、❷ のあと、**[▼]**を押す。
（" ► " 表示が消えます。）

その他の効果を使う

SFC (サウンドフィールドコントロール)を使う

いろいろな効果を楽しむことができます。
どの音源でも行えます。

リモコンまたは本体の

[SFC] を押す

押すたびに

HEAVY（ヘビー）：ロックなど。パンチを効かせます。
CLEAR（クリア）：ジャズなど。高音部を鮮明にします。
SOFT（ソフト）：BGM など。ソフトな音にします。
DISCO（ディスコ）：ディスコのような長い残響音があります。
LIVE（ライブ）：ボーカルにつやを出します。
HALL（ホール）：大ホールのような音の広がりがあります。
FLAT（フラット）：SFC 効果を使わない状態に戻ります。

■ 解除するには

[SFC] を押して " FLAT " を選ぶ。

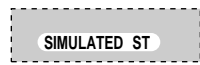
シミュレーテッドステレオを楽しむ

モノラル音声をステレオサウンドのようなイメージで聞くことができます。(ラジオ以外)

リモコンの

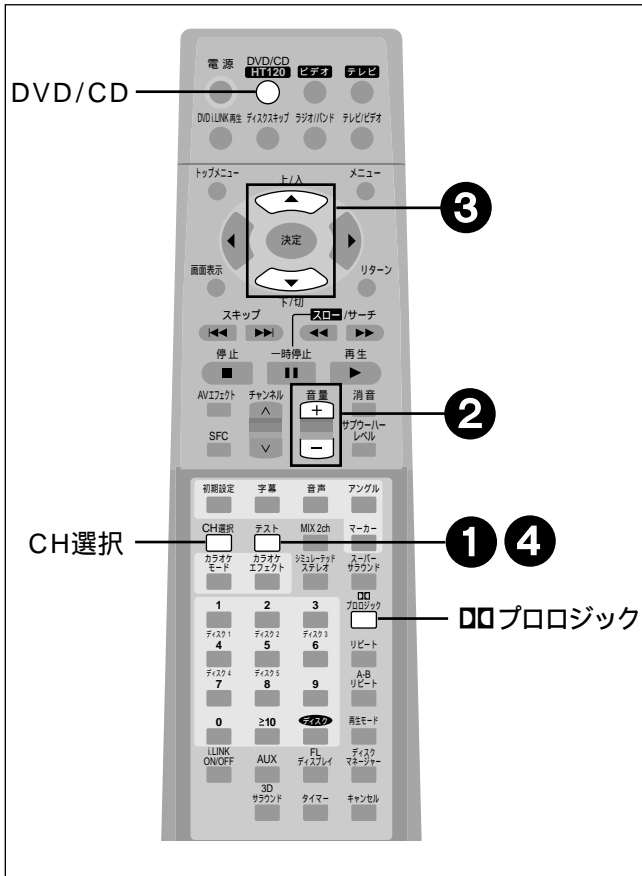
[シミュレーテッドステレオ]を押す

本体表示窓に " SIMULATED ST " と表示されます。

SIMULATED ST

■ 解除するには

[シミュレーテッドステレオ] を押す。

スピーカーの出力レベルを調整する

実際にソフトを再生してみて、各スピーカーのレベルにばらつきがあると感じるときは、視聴する位置に座った状態で、各スピーカー（サブウーハーは除く）からの出力が同じ音量になるように調整してください。
（ドルビーデジタル、DTS、AAC、ドルビープロロジック）

■ **再生中に各スピーカーを個々で調整するには**

1. [CH 選択] を押してスピーカーを選ぶ。
   ドルビーデジタル、DTS、AAC のとき
   L ⟶ **C** ⟶ **R**
   ↑ ↓
   LS ⟵ **RS**

   ドルビープロロジックのとき
   L → **C** → **R** → **S**
   ↑_____________|
2. [▲] または [▼] を押して調整する。

■ **各スピーカーの調整可変レベルは**

L、R：−16 dB〜0 dB
C、RS、LS、S：−10 dB〜+6 dB

準備

ドルビーデジタル、DTS、AAC の調整を行うときは
[DVD/CD] を押す。
ドルビープロロジック、スーパーサラウンドを「入」にしているときは解除してください。

ドルビープロロジックの調整を行うときは
スーパーサラウンドを「入」にしているときは解除してください。
入力をラジオ以外にして、[ⅅⅅプロロジック] を押す。

リモコンの

❶[テスト] を押して
テスト信号を出力する

（Lのとき）

次の順序で出力されます。
ドルビーデジタル、DTS、AAC のとき
L：フロント左スピーカー
C：センタースピーカー
R：フロント右スピーカー
RS：サラウンド右スピーカー
LS：サラウンド左スピーカー
※サブウーハーからは出力されません。

ドルビープロロジックのとき
L：フロント左スピーカー
C：センタースピーカー
R：フロント右スピーカー
S：サラウンドスピーカー
※サブウーハーからは出力されません。

❷[音量（+または−）] を押して
通常聞く音量にする

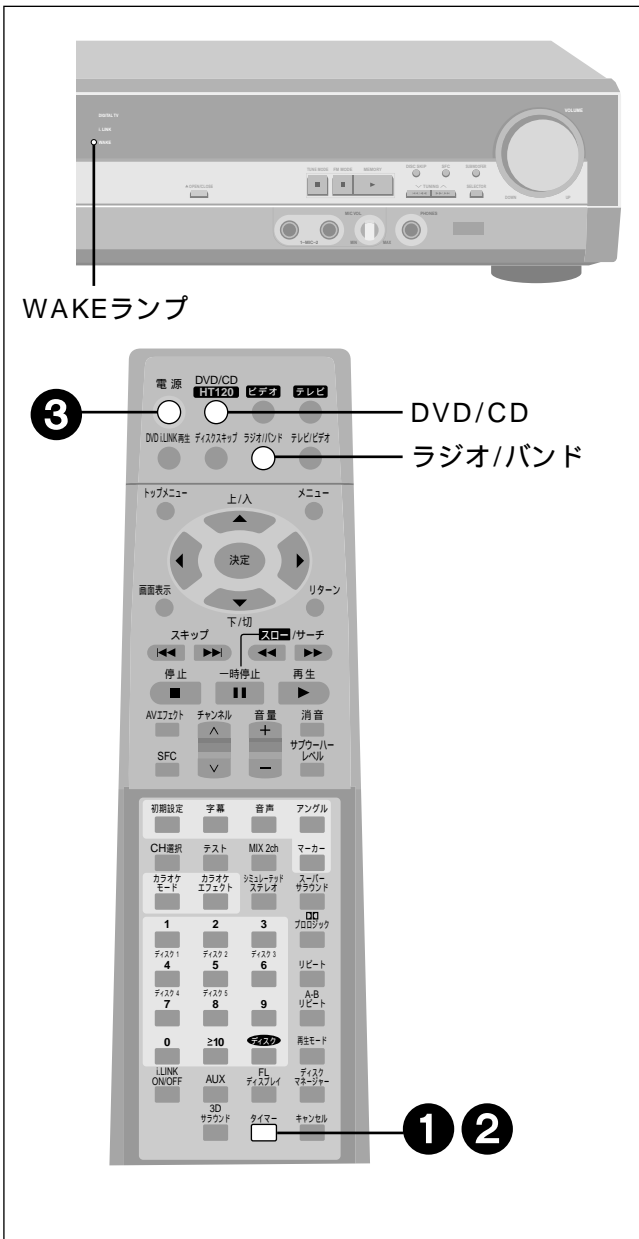
❸[▲] または [▼] を押して
各スピーカーのレベルが同じになるように調整する

❹[テスト]を押す
テスト信号が止まります。

- ドルビーデジタル、DTS、AAC を別に調整することはできません。

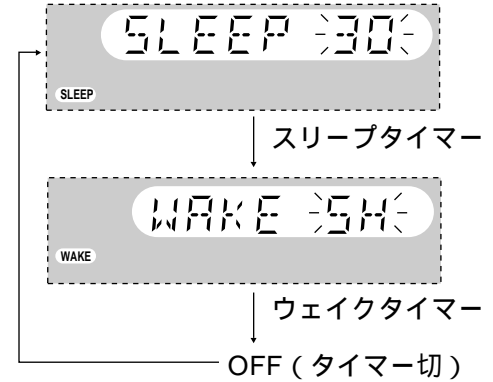
タイマーを使う

スリープタイマー
セットした時間に電源が切れます。30、60、90 分の設定ができます。
ウェイクタイマー
電源を切ってから一定の時間がたつと電源が入り、音楽 CD またはラジオの再生を始めます。
5 、7、9 時間の設定ができます。

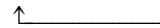
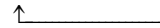
準備
- **音楽 CD のとき**
  [DVD/CD] を押して入力を“ DVD/CD ”にし、CD を入れる。
- **ラジオのとき**
  [ラジオ/バンド] を押して、“ FM ”または“ AM ”を選ぶ。

リモコンの

❶ **[タイマー] を押して**
“ SLEEP ” または “ WAKE ” を選ぶ

押すたびに

スリープタイマー
ウェイクタイマー
OFF（タイマー切）

❷ **表示点滅中に [タイマー] を長押しして**
時間を設定する

長押しするたびに

スリープタイマーでは
30→60→90（分）

ウェイクタイマーでは
5H→7H→9H（時間）

❸ **ウェイクタイマーのみ**
[電源] を押して
電源を切る

WAKEランプが点灯します。

■ スリープタイマーの残り時間や、ウェイクタイマーの設定時間を調べるには
[タイマー] を押す。

■ 解除するには
[タイマー] を押し、“ OFF ” を選ぶ。

お知らせ
スリープタイマーとウェイクタイマーは同時に使用できません。

一時的に消音する (ミューティング)

リモコンの

[消音] を押す

■ **解除するには**

[消音] を押す。

音量を最小“ VOL --dB ”にしても解除できます。

お知らせ

電源を切るとミューティングは解除されます。

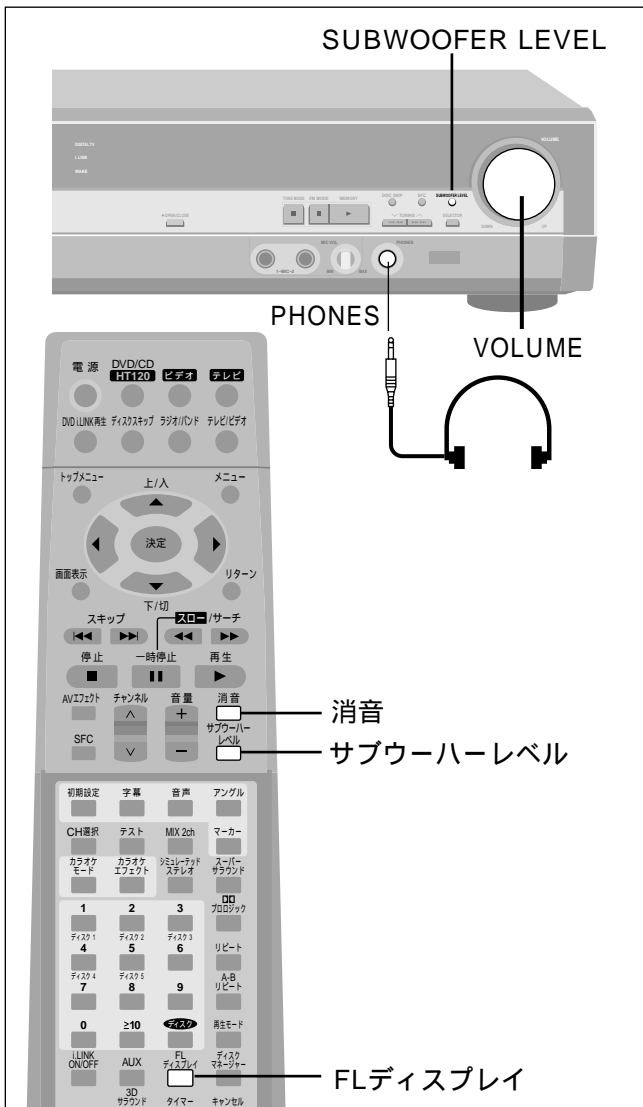
部屋を暗くして映画を楽しむときに

本体の表示窓とディスク表示ランプを消すことができます。

リモコンの

[FLディスプレイ] を押す

■ **元に戻すには**

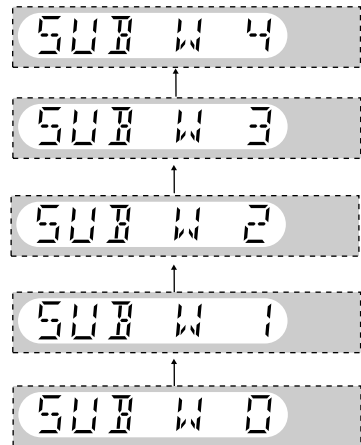
[FLディスプレイ] を押す。

低音を調整する

リモコンでは

[サブウーハーレベル] を押す

本体では

[SUBWOOFER LEVEL] を押す

押すたびに

初期設定は“ 4 ”です。

お知らせ

“ 0 ”にすると、サブウーハーから音が出なくなります。

ヘッドホンで聞く

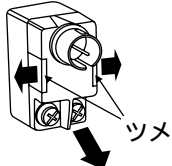
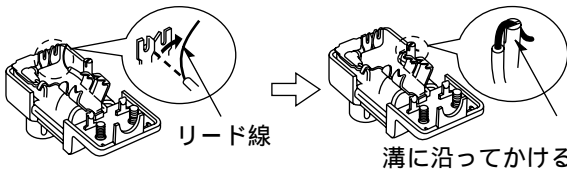
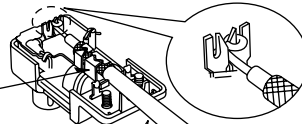
1. [VOLUME] を回して音量を下げる
2. PHONES 端子にヘッドホンを接続する
3. [VOLUME] を回して音量を調整する

ヘッドホン
- プラグタイプ：ステレオ大型 (M6)
- 推奨品：RP-HT400、RP-HT242 (共に別売り)

お知らせ

ヘッドホンを接続すると、音声は強制的にステレオ (2 ch) になります。

お願い

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

屋外アンテナの接続

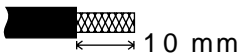
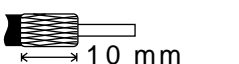
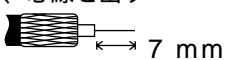
山間部や鉄筋コンクリート建のビルの中などや、i. LINK 接続をしているときに電波を受信しにくい場合は、屋外アンテナを接続してください。

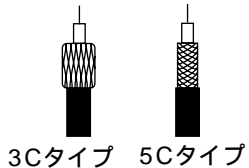
FM (テレビアンテナの利用)

アンテナ線（同軸ケーブル）を付属の FM アンテナアダプターに取り付けて、後面に接続します。
付属の FM 簡易型アンテナははずしてください。

■ アンテナ線の取り付け

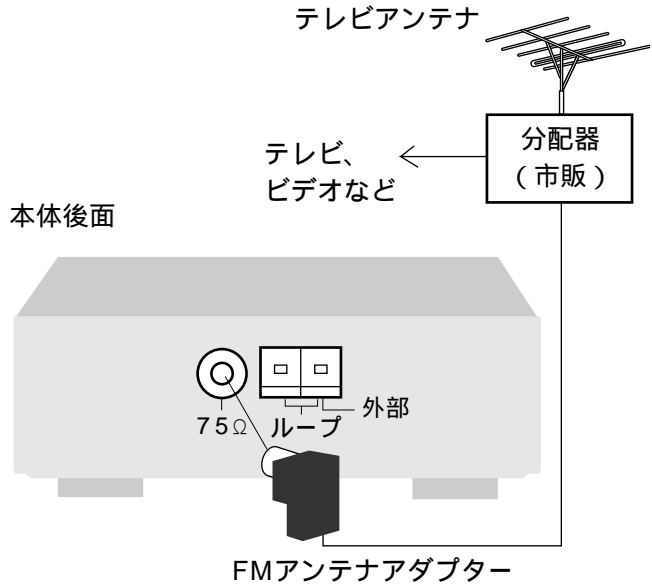
① 両側のツメを広げ、カバーをはずす

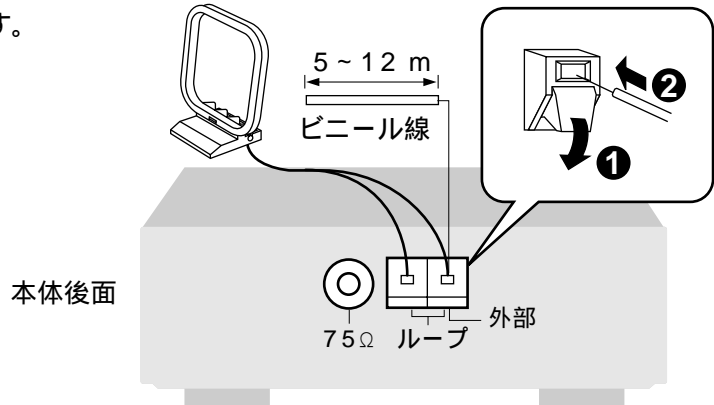
② リード線を横の棒にかける

③ 同軸ケーブルを取り付ける

直径約6 mmの3Cタイプ、または直径約8 mmの5Cタイプを使用してください。

3Cタイプの場合

1. 外側の黒いビニールを切り取る
2. アミ線を折り返す
3. 白いビニールを切り取り、芯線を出す

④ カバーを取り付ける

■ アンテナアダプターの接続

AM (市販のビニール線)

窓際などに、ビニール線を水平に取り付けます。
付属の AM ループアンテナも同時に接続しておきます。

ビデオやBS/CS放送を楽しむ

別売り品の品番は、2001年8月現在のものです。品番は変更されることがあります。

i. LINK 対応機器と接続するには⇒ 55 ページ

ビデオデッキと接続する

BS/CS（デジタル）チューナー（内蔵機器）と接続する

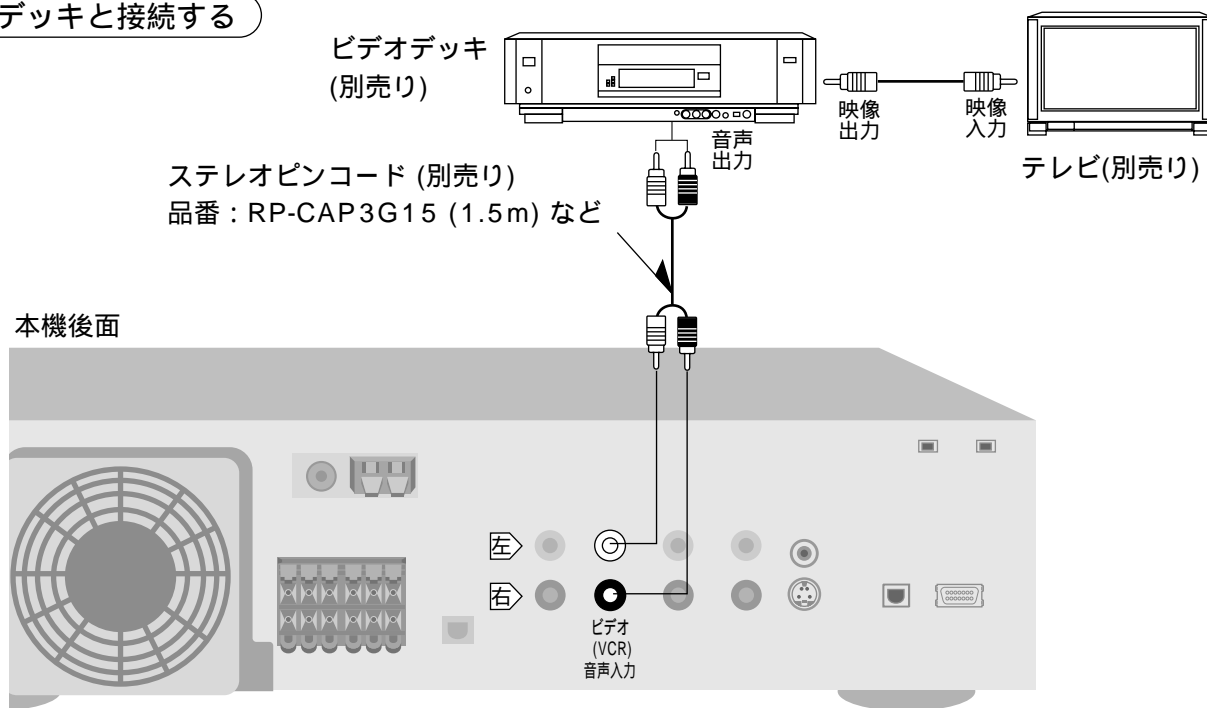
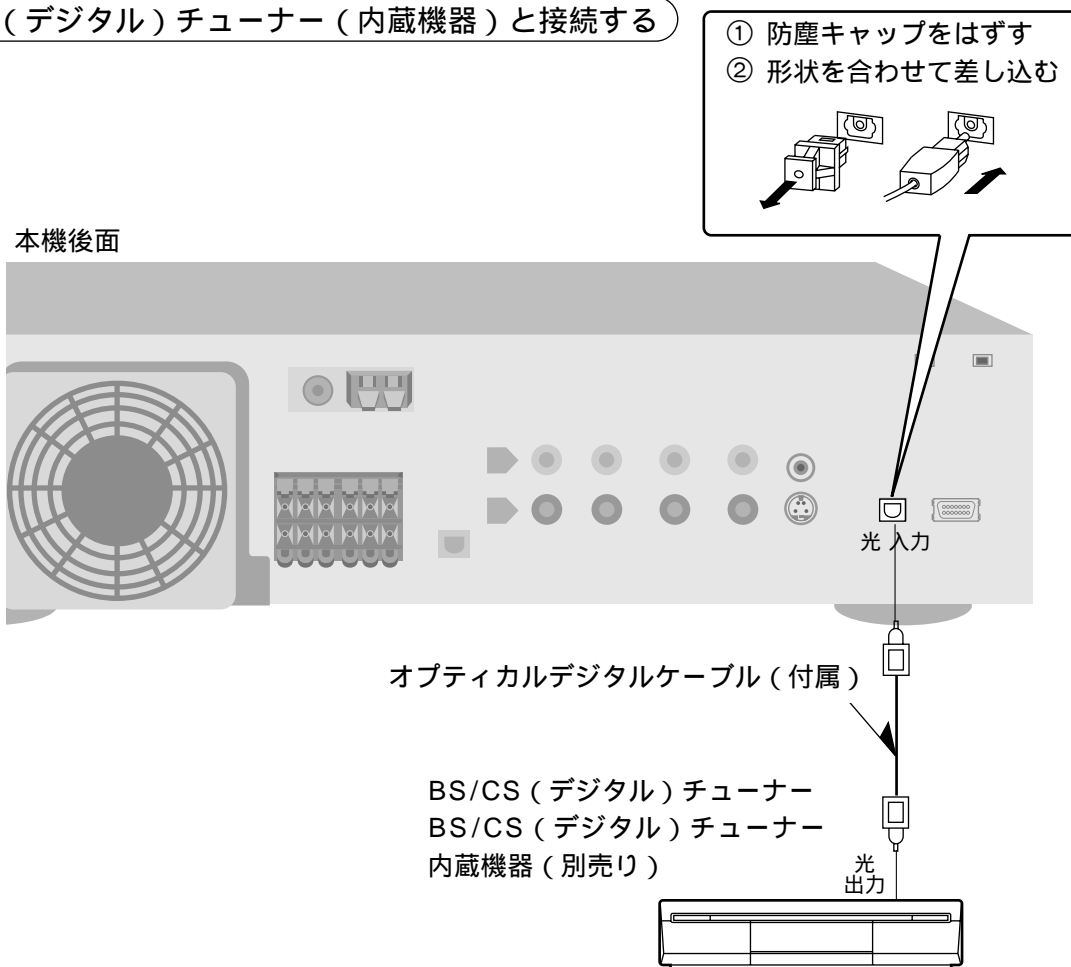
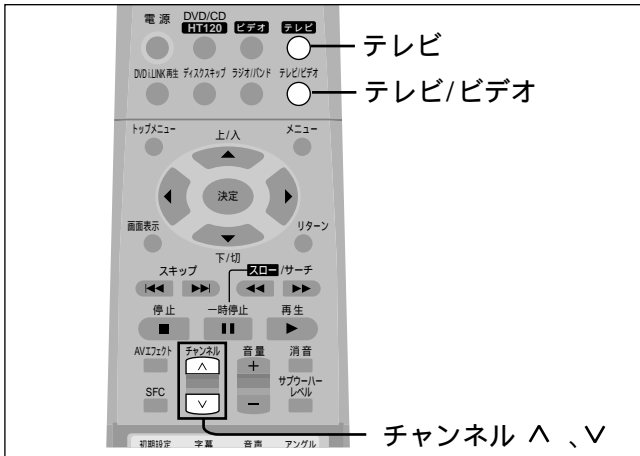
① 防塵キャップをはずす
② 形状を合わせて差し込む

本機後面

光 入力

オプティカルデジタルケーブル（付属）

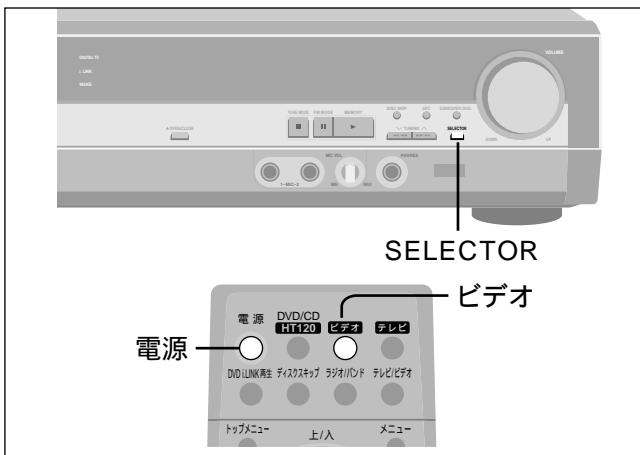
- BS/CS（デジタル）チューナー
- BS/CS（デジタル）チューナー内蔵機器（別売り）

光
出力

本機のリモコンでテレビを操作する

■ **TVチャンネルを切り換えるには**
[テレビ]を押した後
チャンネル [∧] または [∨] を押して
チャンネル番号を指定する

■ **テレビ/ビデオモードを切り換えるには**
[テレビ/ビデオ] を押す

お知らせ

- 本機のリモコンで操作できるのは、当社製のテレビのみです。(一部の機種では操作できないものもあります。)

ビデオを再生する

準備

- テレビとビデオの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 2 など)
- [電源] を押して、本機の電源を入れる。

1 本体の
[SELECTOR] を押して “ VCR ” を選ぶ

リモコンでは
[ビデオ]を押して “ VCR ” を表示させる

2 ビデオ側で再生を始める

- サラウンド効果を楽しみたいときは (⇒ 36、37ページ)

BS/CS（デジタル）放送を聞く

1 本体の
[SELECTOR] を押して “ TV-DIGITAL ” を選ぶ

i. LINK接続をして、i. LINKまたは光入力端子から音声信号が入力されているとき、DIGITAL TVランプが点灯し、音声が再生されます。

リモコンでは
[テレビ]を押すと、i. LINK 端子、光入力端子、テレビ(TV)音声入力端子の各端子からの音声信号を自動で判別し、“ TV-DIGITAL ” または “ TV-ANALOG ” が表示されます。もう一度押すと、“ TV-DIGITAL ” と “ TV-ANALOG ” が切り換わります。

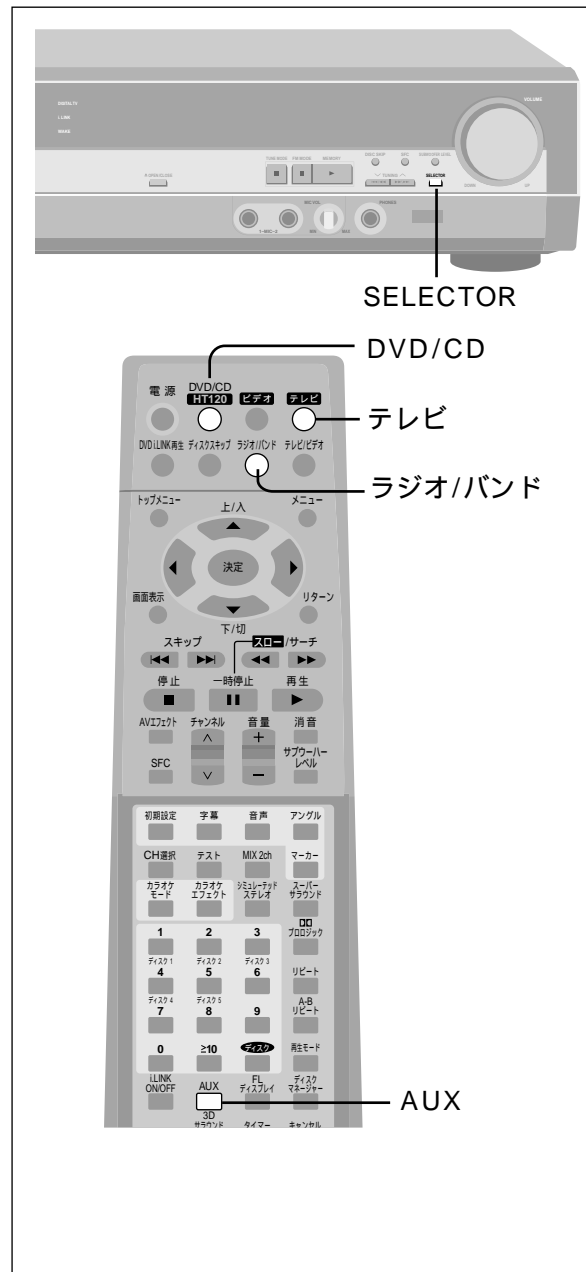
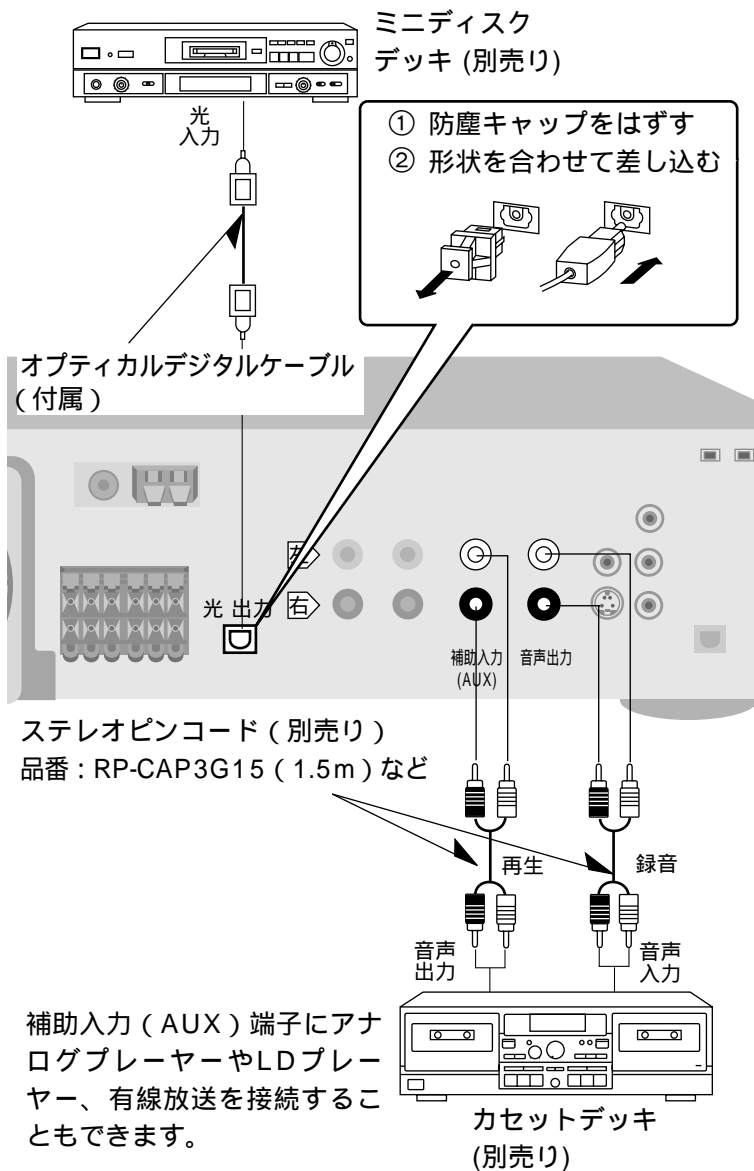
2 外部機器の再生を始める

お知らせ

- i. LINK 端子に別の機器を接続している場合は、光入力端子に接続した機器の音声を再生することができません。再生するには、i. LINK 端子に接続したコードを抜いてください。
- BS/CS チューナーの音量は他の音源より小さくなる傾向があります。
- 本機は AACデコーダーを内蔵していますので、AACで圧縮されたBSデジタル放送の音声を楽しむことができます。

その他の機器を楽しむ

その他の機器と接続する

補助入力（AUX）端子にアナログプレーヤーやLDプレーヤー、有線放送を接続することもできます。

お知らせ

テレビ（TV）音声入力、ビデオ（VCR）音声入力、補助入力（AUX）の各入力端子に接続した機器の音は、音声出力端子からは出力されません。

アナログプレーヤーを接続するには

フォノイコライザー (レコードの音声信号を増幅するアンプ) 内蔵のプレーヤーを補助入力 (AUX) 端子に接続してください。

推奨品：**アナログプレーヤー**（別売り）
　　[品番 SL-J8 (フォノイコライザー内蔵)]

フォノイコライザーを内蔵していないプレーヤーを接続するには、フォノイコライザーを通して、補助入力 (AUX) 端子に接続してください。そのまま接続すると音が小さくなります。

推奨品：**フォノイコライザー**（サービスルート扱い）
　　[品番 RFKZ0088KIT]

MD へ録音するときは

ドルビーデジタルや 96 kHz リニア PCM で記録されたディスクの音声を、そのまま MD などにデジタル録音することはできません。
DTS で記録されたディスクの音声、BS デジタル放送の音声をデジタル録音することはできません。

著作権保護がされていないドルビーデジタルや リニア PCM で記録されたディスクの音声をPCMに変換して、MD などにデジタル録音することができます。

初期設定の「音声」(⇒50ページ) は次のように設定してください。

“ PCM ダウンサンプリング変換 ”　⇒“ する ”
“ Dolby Digital ”　⇒“ PCM ”
“ DTS Digital Surround ”　⇒“ Off ”

再生する

1 本体の
[SELECTOR] を押して入力を選ぶ
“ AUX ”→カセットデッキなど
“ TV-ANALOG ”（テレビ(TV)音声入力端子）→テレビ

リモコンでは
カセットデッキなど：[AUX]→“ AUX ”
テレビ：[テレビ]を押す。
i. LINK 端子、光入力端子、テレビ(TV)音声入力端子の各端子からの音声信号を自動で判別し、“ TV-DIGITAL ”または“ TV-ANALOG ”が表示されます。もう一度押すと、“ TV-DIGITAL ”と“ TV-ANALOG ”が切り換わります。

2 外部機器の再生を始める

お知らせ
カセットデッキなどでカラオケを楽しむこともできます。

ミニディスクデッキなどに録音する

1 本体の
[SELECTOR] を押して
“ DVD/CD ”、“ FM ”または“ AM ”を選ぶ

リモコンでは
[DVD/CD] または [ラジオ/バンド] を押す。

2 ミニディスクデッキなどで録音をスタートし、音源の再生を始める

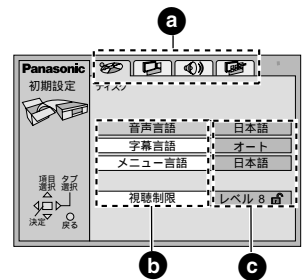
お知らせ
- “ TV-ANALOG ”、“ VCR ”、“ AUX ”の入力を選んでも、外部機器には録音できません。
- i. LINK端子、光入力端子に接続した機器から録音する場合は、[SELECTOR]を押して“ TV-DIGITAL ”を選んでください。録音機器は音声出力端子に接続してください。

基本設定について

初期設定を変更する

50ページの一覧表をご覧になり、必要であれば下記の操作で変更してください。
初期設定画面で設定した内容は電源を切っても残ります。

リモコンの

❶[初期設定] を押して
初期設定画面を出す

ⓐタブ（メニュー項目）
ディスク、映像、音声、画面表示で構成される初期設定のメニュー項目です。このタブを選ぶことで、各項目の詳細画面を呼び出します。

ⓑ設定項目
設定したタブ内の設定項目です。

ⓒ設定内容
設定項目の設定状態を表示します。

❷[◄] または [►] を押して
設定したいタブを選ぶ

❸[▲] または [▼] を押して
設定項目を選び、[決定]を押す
（設定内容画面が表示されます。）

❹[▲] または [▼] を押して
設定内容を選び、[決定]を押す
（手順2で選んだ画面に戻ります。）

■ 前の画面に戻るには
[リターン] を押す。

■ 初期設定画面を終了させるには
[初期設定] を押す。

初期設定一覧

設定方法については、49ページをご覧ください。日本語 のようにアミのかかった項目は、工場出荷時の設定です。

メニュー項目	設定項目	設定内容
ディスク［DVD］	**音声言語** 言語（音声）が選べます。	● 日本語　● 英語 ● オリジナル※1　● その他＊＊＊＊※2
	字幕言語 言語（字幕）が選べます。	● オート※3　● 日本語 ● 英語　● その他＊＊＊＊※2
	メニュー言語 メニューなど、テレビ画面に表示される言語が選べます。	● 日本語　● 英語 ● その他　＊＊＊＊※2
	視聴制限（⇒52ページ） 視聴が制限できます。	●レベル8　：すべてのディスクが再生可 ●レベル7～1：制限レベルの記録されているディスク（成人向けや暴力シーンを含むもの）が再生不可 ●レベル0　：すべてのディスクが再生不可 ● ロック解除● 暗証番号変更● レベル変更● 一時解除
映像	**TVアスペクト** お使いのテレビサイズに合った画面表示方法が選べます。（⇒13ページ）	● 4：3パン＆スキャン　● 4：3レターボックス ● 16：9
	スチルモード 静止画像の表示方法が選べます。	● オート　● フィールド　● フレーム
音声	**スピーカー設定**［DVD］ ディレイタイムの調整により、理想的な音空間を創ります。（⇒52ページ）	● マルチチャンネル
	PCM ダウンサンプリング変換［DVD］ 96 kHzのリニアPCMで記録された音声信号を48 kHz/16 bitに変換する／しないが選べます。（⇒51ページ）	● しない　● する
	Dolby Digital［DVD］ 「Bitstream」を選ぶと、デコードされる前の信号が出力されます。（⇒51ページ）	● Bitstream　● PCM
	DTS Digital Surround［DVD］ 「Bitstream」を選ぶと、デコードされる前の信号が出力されます。 「Off」を選ぶと光出力端子からDTSの信号は出ません。（⇒51ページ）	● Off　● Bitstream
	音声のダイナミックレンジ圧縮 ［DVD］（ドルビーデジタルのみ） 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	● 切　● 入
	早送り時の音声［DVD/VCD］ 早送りする時、音声が聞こえるようにするか、しないかが選べます。	● あり　● なし
画面表示	**画面メニュー言語** 初期設定画面の言語や、操作時にテレビ画面に表示される言語が選べます。	● 日本語　● English（英語）
	画面メッセージ 操作時の表示をテレビ画面に表示する、しないが選べます。	● 入　● 切

■ ディスクメニューについて

※1 “ オリジナル ”:ディスクの最優先言語が選ばれます。
※2 “ その他＊＊＊＊ ”：数字ボタンで言語番号を入力します。（⇒下記）
※3 “ オート ”：“ 音声言語 ”で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

選んだ言語がディスクに記録されていない場合や、言語があらかじめディスク内で決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。

■ スチルモードについて

フィールド：粗めの静止画像が表示されます。“ オート ”設定時にブレが生じるときに選びます。
フレーム　：画質のよい静止画像が表示されます。“ オート ”設定時に小さい文字や細かい絵柄がはっきり見えないときに選びます。

■ PCMダウンサンプリング変換について

しない　：音声コードでアナログ接続したとき
する　　：オプティカルデジタルケーブルでデジタル接続したとき。著作権保護のため、出力は48 kHz／16 bit以下に制限されます。

■ Dolby Digitalについて

Bitstream：ドルビーデジタルデコーダー内蔵の機器と接続するとき
PCM　　　：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき

■ DTS Digital Surroundについて

Off　　　：DTSデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき
なお、本機のスピーカーからDTSの音声が出なくなるので、外部機器を接続しないときは “ Bitstream ” を選んでください。
Bitstream：DTSデコーダー内蔵の機器と接続するとき

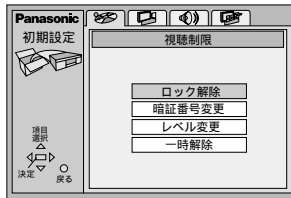
デコーダーを内蔵しない機器に接続する場合、必ず“ Dolby Digital ” を “ PCM ” に、“ DTS Digital Surround ” を “ Off ” に設定してください。
正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。

言語番号一覧表

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	オランダ	7876	ジャワ	7487	ドイツ	6869	ベンガル（バングラ）	6678
アイマラ	6588	カザフ	7575	スウェーデン	8386	ナウル	7865	ペルシャ	7065
アイルランド	7165	カシミール	7583	スロバキア	8375	日本語	7465	ポーランド	8076
アゼルバイジャン	6590	カタロニア	6765	スロベニア	8376	ネパール	7869	ポルトガル	8084
アッサム	6583	ガリチア	7176	スワヒリ	8387	ノルウェー	7879	マオリ	7773
アファル	6565	韓国（朝鮮）語	7579	スンダ	8385	ハウサ	7265	マケドニア	7775
アフリカーンス	6570	カンナダ	7578	スペイン	6983	ハンガリー	7285	マライ（マレー）	7783
アブハジア	6566	カンボジア	7577	ズールー	9085	バシキール	6665	マラッタ	7782
アムハラ	6577	キルギス	7589	セルビア	8382	バスク	6985	マラヤーラム	7776
アラビア	6582	ギリシャ	6976	セルボクロアチア	8372	パシュト	8083	マルタ	7784
アルバニア	8381	クルド	7585	ソマリ	8379	パンジャブ	8065	マダガスカル	7771
アルメニア	7289	クロアチア	7282	タイ	8472	ヒンディー	7273	モルダビア	7779
イタリア	7384	グアラニー	7178	タタール	8484	ビハール	6672	モンゴル	7778
イディッシュ	7473	グジャラト	7185	タミル	8465	ビルマ	7789	ヨルバ	8979
インターリングア	7365	グリーンランド	7576	タガログ	8476	フィジー	7074	ラオ	7679
インドネシア	7378	グルジア	7565	タジク	8471	フィンランド	7073	ラテン	7665
ウェールズ	6789	ケチュア	8185	チェコ	6783	フェロー	7079	ラトビア（レット）	7686
ウォロフ	8779	ゲール（スコットランド）	7168	中国語	9072	フランス	7082	リトアニア	7684
ヴォラピュック	8679	コーサ	8872	チベット	6679	フリジア	7089	リンガラ	7678
ウクライナ	8575	コルシカ	6779	ティグリニア	8473	ブータン	6890	ルーマニア	8279
ウズベク	8590	サモア	8377	テルグ	8469	ブルガリア	6671	レトロマンス	8277
ウルドゥー	8582	サンスクリット	8365	デンマーク	6865	ブルターニュ	6682	ロシア	8285
英語	6978	ショナ	8378	トウイ	8487	ヘブライ	7387		
エストニア	6984	シンド	8368	トルクメン	8475	ベトナム	8673		
エスペラント	6979	シンハラ	8373	トルコ	8482	ベロルシア（白ロシア）	6669		
オーリヤ	7982			トンガ	8479				

視聴制限（設定方法⇒49ページ）

お子さまなどに見せたくないDVDがそのまま再生されないようにできます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

- レベル7以下を選んだときは数字ボタンで暗証番号（4ケタ）を入力し、[決定]を押し、もう一度[決定]を押してください。（ロックがかかります。）
  間違った数字を入力してしまったときは、[決定]を押さない限り[キャンセル]または[◀]を押すと取り消せます。
- 制限レベルが記録されていないディスクを制限したいときは “ 0 すべて不可 ”を選んでください。
- ロックすると正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変更できません。**暗証番号は忘れないでください。**

■ 制限内容を変更するには（レベル7～0のとき）

まず数字ボタンで暗証番号（4ケタ）を入力し、[決定]を押してください。

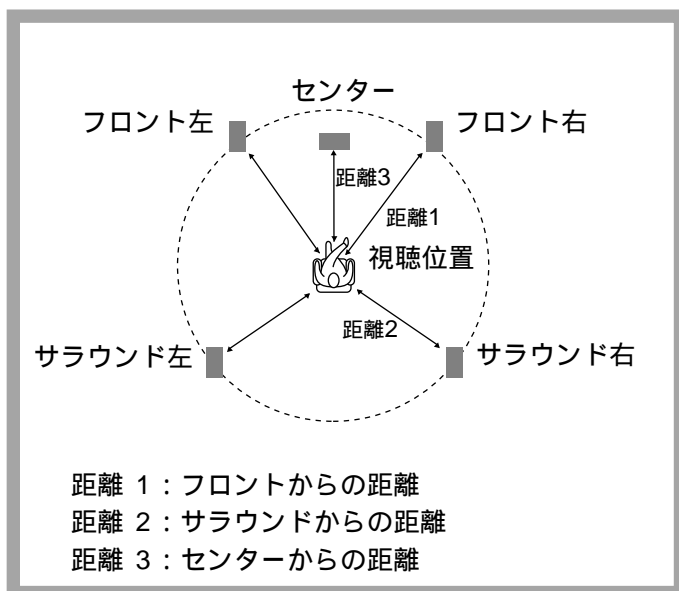
ロック解除　：制限を解除してレベル8に戻す
暗証番号変更　：暗証番号を変更する
レベル変更　：制限レベルを変更する
一時解除　：一時的に制限を解除する

- “ 一時解除 ” を選ぶと、電源を切る、トレイを開ける、ディスクを換える、または入力を切り換えるまでレベル8の状態が続きます。

操作によって異なる画面が出ることがありますが、そのときは画面の指示に従ってください。

ディレイタイムの算出方法

スピーカーを置く位置によって、各スピーカーから音が届くタイミングが異なります。この差を補正するために、センターとサラウンドスピーカーから音が届くまでの時間 (ディレイタイム) を調整します。ドルビーデジタルの DVD のときに有効です。

1 [◀] [▶] [▲]または[▼]を押して項目を選び、[決定]を押す
2 [▲] または [▼] で数値を変更し、[決定]を押す

センターのディレイタイム

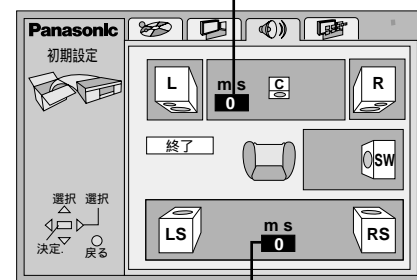
距離 1≦3：0 ms
距離 1＞3：下記の設定

距離の差	設定値
約 50 cm のとき	1.3 ms
約 100 cm のとき	2.6 ms
約 150 cm のとき	3.9 ms
約 200 cm のとき	5.3 ms

サラウンドのディレイタイム

距離 1≦2：0 ms
距離 1＞2：下記の設定

距離の差	設定値
約 200 cm のとき	5.3 ms
約 400 cm のとき	10.6 ms
約 600 cm のとき	15.9 ms

スピーカー設定のテレビ画面

テレビ画面一覧

テレビに映し出される映像は、ソフトとテレビ (画質モード) との関係で以下の画面になります。

テレビ (画質モード) / ソフト	4 : 3	16 : 9 (フルモード)	16 : 9 (ズームモード)	16 : 9 (オートモード)
ワイドソフト (パン＆スキャン指定あり)	左右が切れた画面	フル画面	上下が切れた画面	フル画面
ワイドソフト (パン＆スキャン指定なし)	レターボックス (上下に黒い帯)			
4：3 のソフト	フル画面	左右にのびた画面	上下が切れた画面	フル画面 (左右に黒い帯)
4：3 のソフト (レターボックス)	レターボックス (上下に黒い帯)	左右にのびた画面 (上下に黒い帯)	フル画面	左右両端がのびた画面 (上下に黒い帯)

- ソフトや画質モードの呼びかたはメーカーにより異なる場合があります。
- パン＆スキャンとは、ワイドソフトの両側 (または片側) をカットしてテレビ画面全体に映し出すことです。
- レターボックスとは、ワイドのソフトを再生するときに、画面サイズの不足分を埋めるために、画面の上下に黒帯を入れたものです。

i. LINK 対応機器と組み合わせて使う

i. LINK について

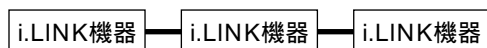
■ i. LINK（アイリンク）とは

デジタル音声信号やデジタル映像信号、接続した機器を操作する信号を同時に転送できるデジタルインターフェイスです。
i. LINK という名称は、IEEE1394※の呼称です。i. LINKとi. LINKロゴ“ i. ”は商標です。

※米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格

データの転送速度は現在、100 Mbps/200 Mbps/400 Mbps があり、転送速度は i. LINK 端子の周辺にそれぞれ S100、S200、S400 と表示されます。本機では最大 400 Mbps の転送が可能なため、S400 と表示しています。
また、i. LINK は直接つないだ機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせず機器を接続することができます。
このように簡単に接続でき、高速で大量のデータを転送できる i. LINK は、今後さまざまなデジタル AV 機器やパソコン周辺機器に採用され、デジタルネットワークを実現するようになると考えられています。

■ i. LINK の接続

i. LINK 対応機器は i. LINK ケーブル（付属）を使って接続します。
最大17台まで接続することができます。

- i. LINK 端子が3つ以上ある機器の場合は、途中から分岐してツリー型に接続することができます。
  ツリー型で接続する場合は、最大63台まで接続することができます。

データは接続したすべての i. LINK 対応機器に流れます。
操作する i. LINK 対応機器との間に別の i. LINK 対応機器が接続されていても、データのやりとりや操作ができます。

お願い

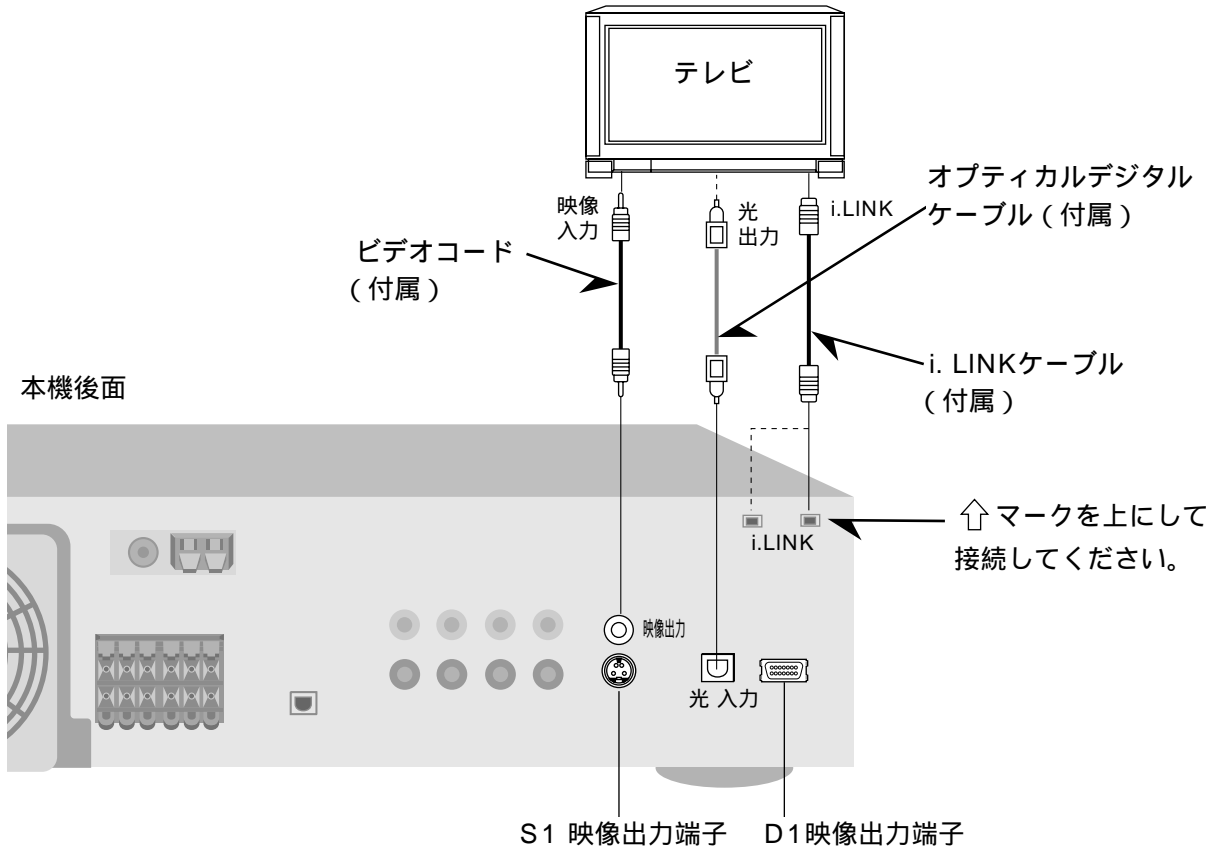
- 接続がループ（輪）にならないようにしてください。データを送信した i. LINK 対応機器に同じデータが戻り、誤作動を起こします。

- 最大転送速度が異なる機器を接続した場合などに、転送速度が遅くなることがあります。
- i. LINK 対応機器と接続してご使用中は、接続している機器の i. LINK ケーブルをはずしたり、接続したり、電源を入／切したりしないでください。映像・音声が乱れる場合があります。
- i. LINK 対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継できない機器があります。接続する i. LINK 対応機器の取扱説明書もご覧ください。本機は電源「切」の状態でもデータを中継できます。（i. LINK 設定が「切」のときは、中継できません。⇒ 57 ページ）

接続する

■ **BS デジタルハイビジョンテレビ**

品番：TH-36D100、TH-36DH100、TH-32D100
TH-42PM50/S、TH-50PM3/S
（2001年 8月現在）

上記以外の i.LINK対応テレビは、本機とi.LINK接続してもテレビから本機を操作したり、DVDワンタッチ再生（⇒ 57 ページ）**はできません。10ページの方法で接続してください。**

お知らせ

- i. LINK 端子は 2 つあります。どちらに接続してもかまいません。
- S1 映像出力端子、D1映像出力端子を使って映像を出力することもできます。（⇒ 11 ページ）
- i. LINK で接続した機器から本機を操作できます。（⇒ 56 ページ）
- ハードディスクビデオレコーダー（品番：NV-HDR1000）など他の i. LINK対応機器の音声を本機で楽しみたいときは、上図の接続をし、テレビ側と接続してください。くわしくはテレビの説明書をお読みください。

接続した機器から本機を操作する

i. LINK 接続したテレビから、本機を操作することができます。
テレビ画面に アンプ または DVD の操作パネルを表示させ、テレビのリモコンを使って操作します。
以下の操作ができます。(詳しくはテレビの説明書をご覧ください。)

例）センターフォーカス 1 を選択するには、次のような順に選びます。
アンプ 操作パネルで「AV エフェクト」を選ぶ→「センターフォーカス」を選ぶ→「1」を選ぶ

アンプ

項目	操作	設定
セレクタ	● DVD/CD ● VCR ● TVアナログ ● 外部入力 ● TVデジタル ● FM/AM※	※「FM/AM」は接続した機器からの操作では選べません。
音場操作	● オート（⇒下記）	
	● マニュアル	● AV サラウンド ドルビープロロジック スーパーサラウンド ムービー スーパーサラウンド ミュージック シミュレーテッドステレオ ノーマル ● SFC（音場モード） フラット ディスコ ヘビー ライブ クリア ホール ソフト
AV エフェクト	● センターフォーカス	● オフ ● 1 ● 2
	● シートポジション	● オフ ● ポジション設定
	● バーチャル	● オフ ● マルチリア ● バーチャルリア
カラオケ	● モード	● オフ ● モノラルL ● ボイスミュート ● モノラルR
	● エフェクト	● ON/OFF ● キーコン ● ラウンジ ● エコー ● コーラス それぞれレベルを選べます。

DVD

下記の各ボタン操作			
[|◀◀]	[❚❚]	[▶▶|]	**ディスク選択**（ディスク 1〜ディスク 5）
[◀◀]	[▶]	[▶▶]	**メニュー表示**
	[■]		**トップメニュー表示**
			画面表示（GUI 画面表示）
			リターン（ビデオCDメニュー表示）

アンプ DVD
どちらの操作パネルからも操作できます。

電源 入／切
音量調節 ＋、－
消音

BS デジタル放送を楽しむときに

「音場操作」を「オート」に設定にしておくと、各番組のジャンル情報に合わせて、表の部の設定が最も適切なものに自動的に切り換わります。
SFC（音場モード）：最も適切なものに切り換わります。
スーパーサラウンドムービー：スーパーサラウンドムービー の効果が現れるような 2 チャンネル音声の番組のときに「入」になります。

お知らせ

- 音場操作のオート設定が働かないジャンルの番組もあります。
- 2台のテレビを同時に i. LINK接続している場合は、どちらのテレビから本機を操作するかを設定する必要があります。テレビの i. LINK接続設定で、操作する方のテレビは本機を「使用する」に、操作しない方のテレビは本機を「使用しない」に設定してください。

本機でできる操作

接続した機器の音声を聞く

1 本体の

[SELECTOR] を押して
“ TV-DIGITAL ” を選ぶ

リモコンでは
[テレビ] を押して、“ TV-DIGITAL ” を選ぶ。

“ TV-DIGITAL ” を選ぶと、DIGITAL TVランプが点灯します。

2 接続した機器の再生を始める

i. LINK 設定

リモコンの

[i. LINK ON/OFF] を押す
押すたびに
「切」←――――→「入」
i. LINK ランプ消灯　i. LINK ランプ点灯
電源「切」のときも点灯しています。

切: i. LINK を使った操作や、本機を中継して接続されている機器間のデータのやりとりができません。

入: i. LINK を使った操作や、本機を中継して接続されている機器間のデータのやりとりができます。

独立モード: i. LINK 接続をしたままで、本機を独立した状態で使用することができます。
他機器からの操作は受けつけませんが、本機を中継して接続されている機器間でデータのやりとりができます。
[i.LINK ON/OFF] を押しつづける。
i. LINK ランプが点滅します。

DVD ワンタッチ再生

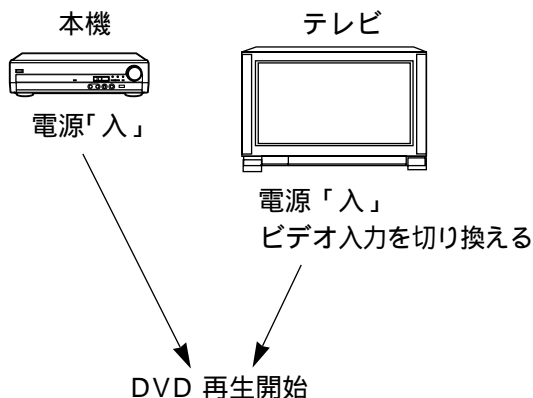
ボタン1つでネットワークを操作し、DVD を再生します。

準備： 次の設定をテレビ側で行う必要があります。
- i. LINK 接続設定（機器接続設定）
- ビデオ入力の設定（アナログ接続設定）

詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

[DVD i. LINK 再生] を押す
右の動作が自動的に行われます。

お知らせ

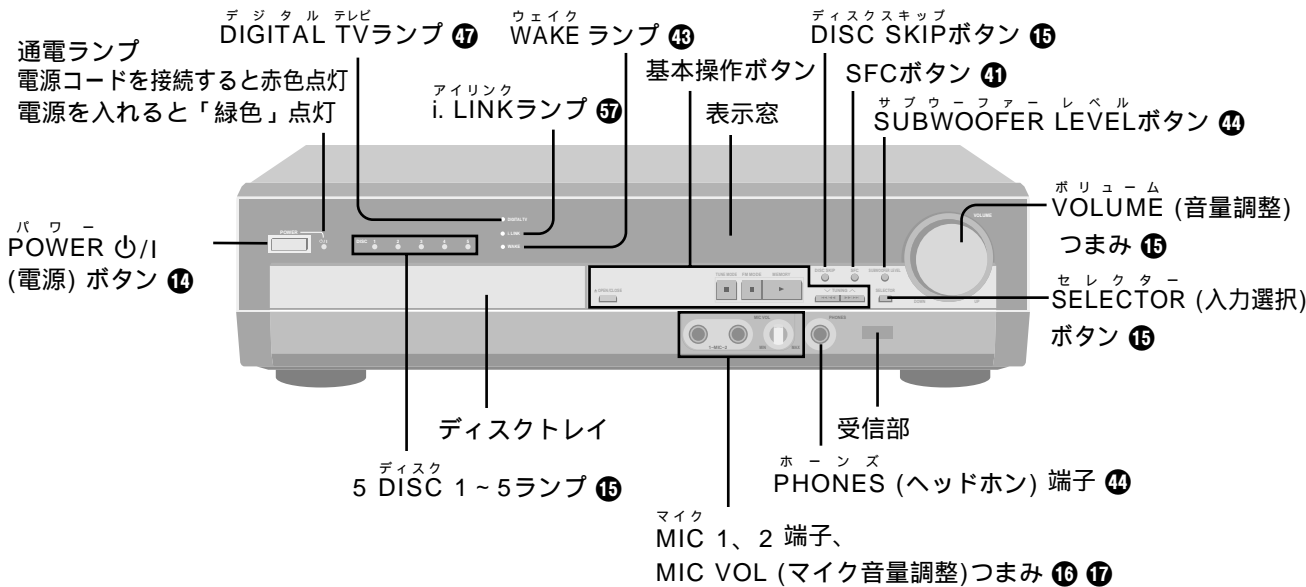
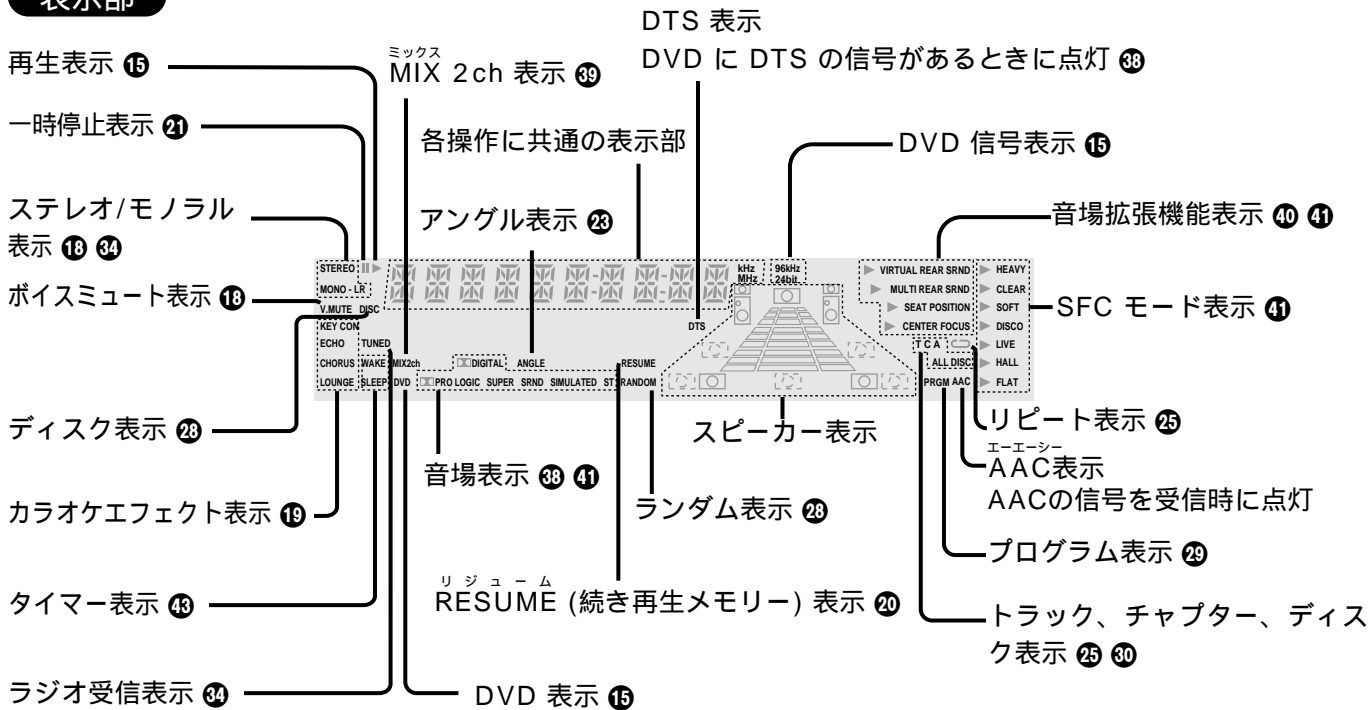
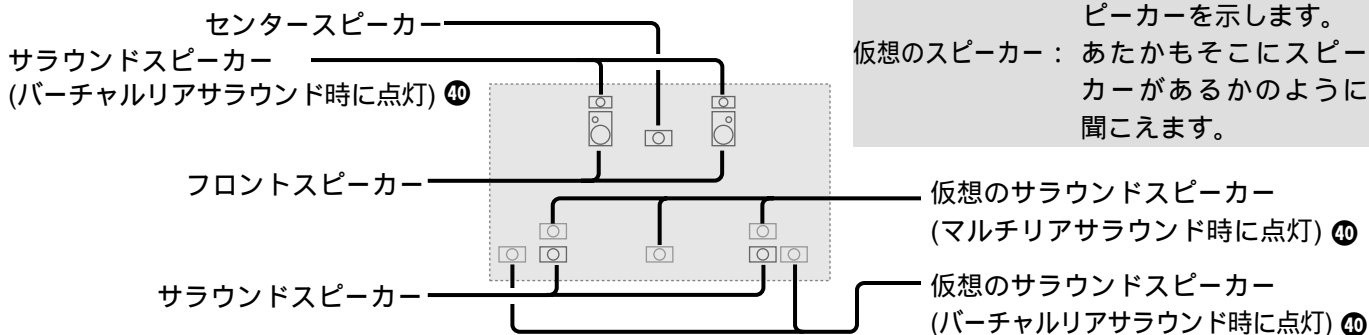
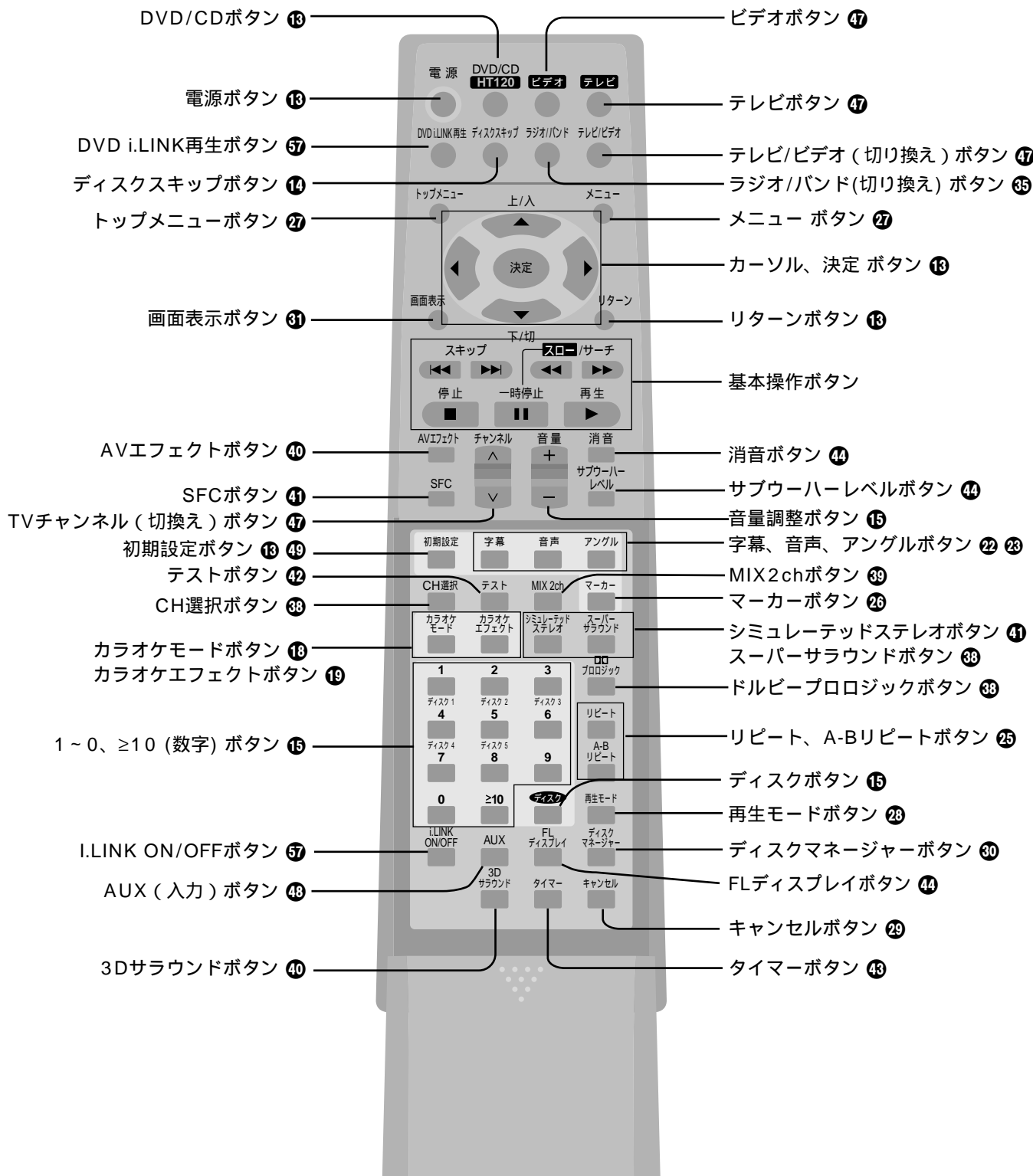
テレビで映像を見るには、ビデオコード（付属）を接続してください。
（i. LINK ケーブルだけでは、映像は映りません。）

各部のなまえ

⓻ などの数字は、参照ページです。

操作部

表示部

■ スピーカー表示について

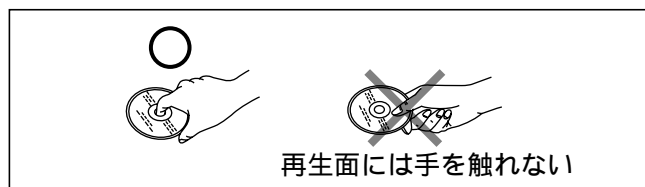
点灯	：実際に音の出ているスピーカーを示します。
仮想のスピーカー	：あたかもそこにスピーカーがあるかのように聞こえます。

リモコン リモコンのボタン名称が本体と同じ場合は、ボタンの働きも同様になります。

必要なとき

使用上のお願い

ディスクについて

これらのマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
(機器の故障の原因になります。)

■ 持ちかた

再生面には手を触れない

■ 汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。
推奨品：クリーニングクロスVUA7091
（サービスルート扱い）

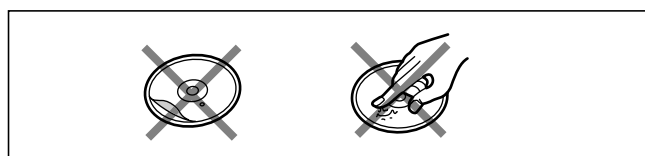
再生面 (光っている面)

内側から外側へ

■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷したディスクは使わない

ディスクの保管

■ 次のような場所に置かない
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

お手入れ

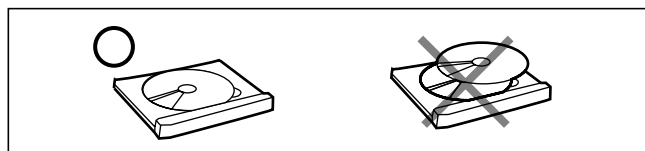
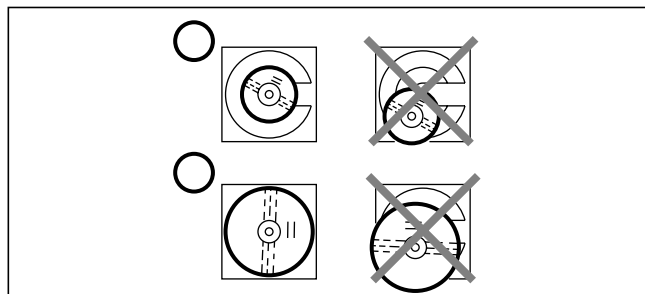
■ 本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

本機を移動するときは

1. ディスクをすべて取り出す
2. [POWER ⏻/I] を押して電源を切る
3. 電源プラグを抜く

ディスクメカの故障防止のために

- トレイには、1 枚のディスクを入れる

- ディスクは、図の位置に正しく置く

- シングルディスク（8 cm ディスク）アダプターを使わない
- 水平なところで使用する
  本機の下に雑誌などを置いて、傾けて使用しない
- トレイが動いている間や、ディスクを入れたまま本機を移動しない
- トレイにディスク以外のものを入れない
- クリーニングディスク、そりの大きなディスク、割れたりヒビの入っているディスクを使わない

主な仕様

■ **アンプ部**

実用最大出力（全高調波ひずみ率　10 %）

		総合出力　300 W
フロント L/R	1 kHz	36 W×2（6 Ω）
センター	1 kHz	36 W（6 Ω）
サラウンド L/R	1 kHz	36 W×2（6 Ω）
サブウーハー	80 Hz	120 W（6 Ω）

定格出力（全高調波ひずみ率　1 %）

		総合出力　240 W
フロント L/R	1 kHz	30 W×2（6 Ω）
センター	1 kHz	30 W（6 Ω）
サラウンド L/R	1 kHz	30 W×2（6 Ω）
サブウーハー	80 Hz	90 W（6 Ω）

入力感度/入力インピーダンス
- AUX　250 mV/10 kΩ
- MIC　0.7 mV/600 Ω

■ **ディスク部**

<ディスク>
- DVD VIDEO
  - 8 cm/12 cm　片面、1 層
  - 8 cm/12 cm　片面、2 層
  - 8 cm/12 cm　両面、2 層 (1 層/片面)
- CD/ビデオCD　8 cm/12 cm

<ビデオ>
- 信号方式　NTSC
- 出力レベル
  - コンポジットビデオ　1 Vp-p (75 Ω)
  - S-ビデオ　Y　1 Vp-p (75 Ω)
  - S-ビデオ　C　0.286 Vp-p (75 Ω) (NTSC)
- コンポーネント映像出力
  - Y出力レベル　1 Vp-p (75 Ω)
  - C_B出力レベル　0.7 Vp-p (75 Ω)
  - C_R出力レベル　0.7 Vp-p (75 Ω)
  - 出力端子　D端子

<オーディオ>
- 標本化周波数
  - CD　44.1 kHz
  - DVD　48 kHz/96 kHz
- 量子化　16/20/24 ビット直線
- ワウ・フラッター　測定限界以下
- デジタルフィルター　8 fs
- D/A コンバーター　デルタ-シグマ DAC
- ピックアップ
  - 光源：　半導体レーザー
  - 波長：　CD/ビデオCD　790 nm
    DVD　658 nm

■ **FM チューナー部**

受信周波数帯	76.0～90.0 MHz (100 kHz ステップ)
実用感度	16.3 dBf (1.8 μV、IHF ’ 58)
アンテナ端子	75 Ω (不平衡型)

■ **AM チューナー部**

受信周波数帯	522～1629 kHz (9 kHz ステップ)
実用感度 (S/N 20 dB)	500 μV/m

■ **i.LINK 部**

通信方式/端子	IEEE 1394/4ピン×2
通信速度	S400

■ **本体総合**

電源	AC 100 V　50/60 Hz
消費電力	145 W
寸法 (幅×高さ×奥行)	430×114×368 mm
質量	約 8.6 kg

電源ボタンスタンバイ ⏻ 時の消費電力
- i.LINK設定「入」時　4.2 W
- i.LINK設定「切」時　3.5 W

高調波ガイドライン適合品

■ **スピーカー部**

<SB-AFC80-S>
(フロント L/R、センター、サラウンド L/R)

型式	1 ウェイ　1 スピーカーシステム バスレフ型
フルレンジ	8 cm コーン型
インピーダンス	6 Ω
許容入力	60 W (MUSIC)/30 W (DIN)
出力音圧レベル	79 dB/W (1.0 m)
再生周波数帯域	80 Hz～22 kHz (−16 dB) 110 Hz～20 kHz (−10 dB)
寸法 (幅×高さ×奥行)	88×158×105 mm
質量	約 0.8 kg

<SB-W70-S> (サブウーハー)

型式	1 ウェイ　1 スピーカーシステム バスレフ型
ウーハー	17 cm コーン型
インピーダンス	6 Ω
許容入力	180 W (MUSIC)/90 W (DIN)
出力音圧レベル	80 dB/W (1.0 m)
再生周波数帯域	42 Hz～1.5 kHz (−16 dB) 46 Hz～900 Hz (−10 dB)
寸法 (幅×高さ×奥行)	173×315×300 mm
質量	約 4.0 kg

注)
1　この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2　全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

用語解説

映像についての用語

フレーム

動画の 1 コマ 1 コマのこと。
たとえばテレビでは、1 秒間に 30 コマ (静止画像)を連続して映し出すことで、動きのある映像を作っています。

1 フレーム

フィールド

1 フレームの映像情報を 2 つに分けたもの。
通常のテレビでは、このフィールドを順次に映し出すことで 1 フレームを構成しています。

1 フィールド

フレームスチル/フィールドスチル

動画を一時停止して静止画像にすることをスチルといいます。
フレームスチルでは、 2 フィールドを交互に映し続けるため画面にブレを生じますが、画質はよくなります。
フィールドスチルでは、映像情報が半分のため画質が荒くなりますが、画面のブレはありません。

I/P/B

DVD で採用されている映像方式（MPEG 2）では、1 画面 (フレーム) を、以下の 3 つのピクチャータイプに分け、デジタル信号に符号化しています。

I: I-Picture (フレーム内符号化)
基準の画面であり、単独で画面を構成します。画質がもっとも良く、画像調整する場合はこの静止画面が適しています。

P: P-Picture (前方向予測符号化)
過去の Picture (I または P) から算出される画面。

B: B-Picture (両方向予測符号化)
前後の Picture (I または P) の比較から算出されるもので、画像情報がもっとも少ない画面です。

デジタル音声についての用語

デコーダー

DVD などに符号化して記録した音声データを、通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ドルビーデジタル

ドルビーラボラトリーズが開発したデジタル音声記録方式。圧縮率が高く、1 枚のディスクに大量のデータを収録できます。

デジタル シアター システムズ
dts (digital theater systems)

DTS 社が開発したデジタル音声記録方式。音質を重視し、圧縮率を低くしています。

サンプリング周波数

サンプリングとは、デジタル信号を作るためアナログ信号を一定の時間間隔で細かく刻み、1 つ 1 つの波の高さを数値化することです。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、これが多いほど元の音を精密に再現できます。

パルス コード モジュレーション
PCM (Pulse Code Modulation)、リニア PCM

音楽 CD などで一般に使用されているデジタル信号方式。DVD は容量が多いため、CD 以上のサンプリング周波数を用いたリニア PCM 信号を収録することができます。

Bitstream (ビットストリーム)

5.1 ch などの音声データを各チャンネルにデコードする前のデジタル信号。

その他の用語

トラック

CD、ビデオ CD の小さな区切り。

チャプター

DVD ビデオの小さな区切り。CD などのトラックに当たります。

タイトル

DVD ビデオの一番大きな区切り。

プレイバックコントロール (PBC)

バージョン 2.0 のビデオ CD で使われている再生方式。メニューを選びながら再生するなど、対話形式で操作できます。

BSデジタル放送

デジタル信号の圧縮技術によって従来のBS放送より多くの情報を送ることができるようになり、デジタルハイビジョンや多チャンネル放送、データ放送などが楽しめます。
また、電子番組ガイドを使ってお好きなジャンルの番組を検索したりすることもできます。

Q & A (よくあるご質問)

	Q (質問)	A (回答)	参照ページ
他の機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーを接続したい。	現在、アンプの“ フォノ ”または“ プレーヤー ”端子に接続している場合は、フォノイコライザーアンプ (サービスルート扱い、品番：RFKZ0088KIT) が必要です。 そのまま接続すると、増幅機能がないため音が小さくなります。	48
	有線放送を接続したい。	本機の“ 補助入力 (AUX) ”に接続します。	48
	他のスピーカーを接続したい。	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属のスピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、音の特性などが悪くなるほか、故障の原因にもなります。	–
	BS/CS チューナーを接続したが、音が小さい。	BS/CSチューナーの音量は他のソースより小さくなる傾向があります。	–
ディスクについて	海外で購入した DVD などのビデオディスクを再生したい。	DVD ビデオディスクにはリージョン番号があり、プレーヤーとその番号が合致していないと再生できません。 また、PAL 方式で記録されているディスクは再生できません。	7
	DVD の映画をビデオにダビングしたい。	ほとんどの DVD ディスクにはコピーガードがかけてあり、ダビングすることはできません。	–
	DVD の音声が小さいようだが。	DVD の音は一般に他のソフトの音より小さく感じられます。もし、音量を上げて聞いた場合は、再生後に必ず下げておいてください。他のソフトに切り換えたときに突然大きな音が出る場合があります。	–
その他	引っ越しするのだが、そのまま使えるか。	東日本、西日本に関係なく使えます。	–
	SUBWOOFER（サブウーハー）が効かないが。	SUBWOOFER は、そのソフトに含まれている低音の成分によって効果が異なります。また、ヘッドホンでは十分な効果で聞くことはできません。	–
	長時間使用していると本体が熱くなるが大丈夫か。	大丈夫です。 ただし、本体の上に物を置いて放熱を妨げることはしないでください。特に、通風孔はふさがないでください。	–

故障かな！?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなとき	ここを確認・処置してください	参照ページ
システム全体に共通	電源が入らない	● 電源プラグが抜けていないか確認してください。	12
	音が出ない。	● 音量が最小になっていませんか。［VOLUME］で調整してください。 ● ミューティング（消音）になっていないか確認してください。 ● スピーカーが正しく接続されているか確認してください。	15 44 9
	音の位置が定まらない。または左右が逆になる。	● スピーカーコードの（左）（右）⊕ ⊖ を確認し、正しく接続してください。	9
	演奏中に「ブーン」という低い音が出る。	● 電気器具の電源コードや蛍光灯が本機の近くにある場合は、離してください。	ー
	演奏中に音が出なくなった。	● スピーカーコードがショートしていませんか。その場合はいったん本機の電源を切り、接続を直してからもう一度電源を入れてください。	9
	パネルの照明が消えている。	● リモコンの［FLディスプレイ］を押して表示窓を点灯させてください。	44
	“ERROR”が表示される。	● 間違った操作をしたためです。もう一度、操作方法を確かめてください。“OPT ERROR”が表示されたときは、オプティカルデジタルケーブルが接続されているか確認してください。	ー
	“F□□”が表示される。	● □□は数字を表します。 トラブルが生じました。お買い上げの販売店にご相談下さい。	ー
	サブウーハーから音が出ない。	● サブウーハーレベルが“0”になっていないか確認してください。	44
	i. LINK 対応機器から操作できない。	● i. LINK 設定が「切」になっていないか確認してください。	57
ラジオ	FM がよく受信できない。雑音やひずみが多い。	● FM 簡易型アンテナの向きや位置を変えてみてください。 ● テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っている場合は切ってみてください。 ● 送信所が遠い場合、鉄筋ビルの中など、または i. LINK 接続中は電波が弱くなります。テレビのアンテナを利用したり、また、音にひずみが多い場合は、より高感度のアンテナが必要になる場合もあります。	12 ー 45
	AM がよく受信できない。雑音が多い。	● AM ループアンテナの向きや位置を変えてみてください。 ● テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っている場合は切ってみてください。 ● アンテナ線の近くに電源コードや i. LINK ケーブルがある場合は離してください。 ● 受信状態が改善されない場合は、屋外アンテナを設置する方法もあります。	12 ー ー 45

	こんなとき		ここを確認・処置してください	参照ページ
ディスク	演奏できない。 ディスクを入れても曲数などが表示されない。	▶	● ディスクが表裏逆に入っていませんか。 ● 規格外のディスクを使っていませんか。 ● ディスクがひどく曲がったり傷ついたりしている場合は使用できません。 ● 寒いところから急に暖かいところへ持ってきたときなどに、レンズ部に露が付く場合があります。1時間ほど待ってください。	15 60 ー ー
	特定の箇所が演奏できない。	▶	● ディスクが汚れている場合は、柔らかい布でふき取ってください。	60
	DTS の音声が聞こえない。	▶	● 初期設定の「DTS Digital Surround」の設定が " Off " になっていませんか。" Bitstream " に設定しなおしてください。	50
	" DVD U11 " が表示される。	▶	● ディスクが汚れています。柔らかい布でふいてください。	60
	" DVD H□□ " が表示される。	▶	● トラブルが生じました。電源を切ってから、電源プラグも抜いてください。しばらくしたら、もう一度、電源プラグを差し込み、正常に動作するか、確かめてください。 それでも、直らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	ー
	" DISC/TAKE OUT " が表示される。	▶	● トラブルが生じました。トレイが自動的に開きますので、ディスクを取り出して、トレイを閉じてください。 しばらくの間、ディスクをチェンジしている音がしますが、すぐに正常に戻ります。	ー
	視聴制限の暗証番号を忘れた。	▶	● 次の操作で本機をお買い上げ時の状態に戻して、制限を解除することができます。 停止状態で、本体の [■] を押しながら、リモコンの [≥10] を押す。 表示窓に " INITIALIZE " が表示され、テレビ画面には " オールクリア " と表示されます。	ー
	初期設定で変更した好みの言語や字幕にならない。	▶	● ディスクによっては初期設定を変更して音声言語や字幕言語の設定をしても、ディスクの言語設定が優先されるため、好みの設定どおりにならない場合があります。	ー

リモコン	リモコンが働かない。	▶	● 乾電池の ⊕ ⊖ が逆に入っていませんか。 ● 本機との間に障害物はありませんか。 ● 電池が消耗している場合は、新しい電池と取り替えてください。	6 ー 6

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！

●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、DVD ホームシアターサウンドシステムの補修用性能部品の最低保有期間を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

修理を依頼されるとき

64～65ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品名	DVD ホームシアターサウンドシステム	お買い上げ日	年　月　日
品番	SC-HT120	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

•お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
•携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
•最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）
FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**
365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

●お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

拠点	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

拠点	所在地	電話番号
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	(0243)34-1301

首都圏地区

拠点	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	(025)286-7725

中部地区

拠点	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	(059)255-1380

近畿地区

拠点	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	(078)272-6645

中国地区

拠点	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	(083)986-4050

四国地区

拠点	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	(089)971-2144

九州地区

拠点	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	(0997)53-5101

沖縄地区

拠点	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0501

必要なとき

よくお読みください

スピーカーについてのお知らせ

- 本機のスピーカーは、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム <防磁設計（EIAJ）> ですが、設置の仕方によっては、テレビに色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが起こるような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

※<防磁設計（EIAJ）> とは（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット シンボルマーク

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

愛情点検　長年ご使用の DVD ホームシアターサウンドシステムの点検を!

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ **このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。**

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　　）　－	品番	SC-HT120
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　AVCネットワーク事業グループ

〒 571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT6049-S
F0801HT0